(日刊)　昭和三年八月三日第三種郵便物認可　昭和九年十月十九日　夕刊　(金曜日)　第一萬二百四十七號　(一)

満洲日報

十月十八日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村本武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

根本方針に異論無く　警告附で原案承認か
機構案と樞府側の意向

【東京十八日發國通】在滿機構改革案に對し樞密院側の意向を綜合するに、大體滿洲の現狀よりみてその根本方針には贊成の模樣である、而して改革案は豫算の臨時議會通過後樞府の御諮詢を奏請することになつてゐるが、樞府が既に根本方針に對して贊成の意向に傾いてゐる以上、假令深刻な質問が出るとしても結局は對滿政策に萬遺憾なきを期すやう警告附で原案を承認するであらうと觀られてゐる

警官代表待機

【東京十八日發國通】警官陳情隊は十七日午後七時合宿より引揚げたが、市内に分宿し警官として恥ぢぬ行動により初志を貫徹するに努力するやう待機中であると

貴衆兩院の見解
政府の措置態度非難

【東京特電十八日發】在滿機關改革問題は遂に十七日の閣議において原案通り強行する事に方針決して來るべき臨時議會に提案する筈であるが、貴衆兩院とも該問題に對する政府の態度を非難する向多く
一、事態を紛糾惡化せしめた政府の無力、無統制
一、官紀の弛緩
一、日滿國交並に諸外國に及ぼせる惡影響
一、改革案作成に對する手續上の失態
など政府の責任を追及せんとし、殊に拓務省及び關東廳の態度に對し兼攝拓相としての岡田首相の責任を飽迄糺彈せんといきまいてゐる模樣で、貴衆兩院各派の態度は大體左の如くである

政友會　閣議決定案を強行するなら遷延の必要はなかつた、現地の鎭撫策を講ずる事なくして今更既定方針で邁進するといふは政府の無力無統制を内外に暴露したもので、拓務省及び關東廳を充分納得せしめ得なかつた事は政府の重大なる失態であると共に、兩者の反對運動は拓相としての岡田首相の重大な責任である

民政黨　原案強行後の成行は憂慮に堪へざるものがある、政府は責任を以てこの事態を平穩に解決し官紀を保持し治安の維持に力むべきである、十九日若槻總裁の歸京を待つて正式に態度を決定せんとしてゐる

國民同盟　内部には政府案を支持するものと、之に反對せんとするものとの二派が對立してゐる實情にあつて、黨としての態度は俄に決し難い模樣

貴族院　現地關東廳において隱忍自重、不祥事件の發生を避け帝國の威信を保ち滿洲國の治安に力め、一日も速かに文治の實現を期すべきである、また軍部も今後特に注意し輿論に背馳せざる明朗なる政治を行ひ日滿親善の實を擧ぐべきである

首腦部辭表
受理せず
拓務省極力慰撫

【東京十八日發國通】閣議決定原案に不滿の關東廳首腦部が辭表を取纏めるに至つたに對し、拓務省は既に岡田拓相より新機構に投合努力し極力廳員を鎭撫するやう訓電が發せられたので、右辭表は受理せず、菱刈長官は寧ろ積極的に新機構運用に協力を力說するものと期待してゐる

今後一切の運動停止
大場局長の聲涙共に下る訓示
關東廳員最後の會合

機構問題に關する前後三ケ月に亘る關東廳全職員の必死の運動は遂に慘敗し、中村、大場、日下三局長は總辭職を決行、水谷文書課長以下全課長はこれに殉じ、寂寥たる關東廳では十八日午前十時三十分廳内會議室で約七百名の職員いづれも憂色深く集合し、大場、日下、中村三局長以下各課長また悲壯の思ひを秘めて列席、關東廳の最後的會合は行はれたが、大場警務局長は三局長を代表し

我々はこゝ三旬に亘りあらゆる手段を盡し上下一致の信念をもつて必死の努力を續け主張の透徹に向ひ一路邁進したるにその甲斐もなく、すべてを諒解されつゝも今閣議においてかくもむざむざ踏みにぢられるに到つたことは遺憾至極のことである

と聲涙ともに下るの報告を行ひ、さらに

閣議で決定の今日官吏たるの身分として最早絕對に兎角の論議を挿さむべきでない、こゝに一切の運動を停止し諸君は飽迄も職務に精勵し世間の非難を買ふが如き輕擧妄動の行爲なきを希望す

と訓示すれば、全廳員は血涙を飲み滿場肅として聲無く同五十分悲壯なる會議を終つた

總辭職を決行
關東廳委員强硬態度

會議を終つた三局長、水谷文書課長は長官應接室に入り最後的重要打合せに移つたが、一方第一應接室では杉浦法院長、下田檢察官長、安永旅順、御影池大連、山口金州、巨瀨子窩の各民政署長その他管下各方面の部局長は

扉を固く

閉し、密議を凝し、また判任官以下の中堅大部分を含む機構問題委員は第二應接室において今後の態度につき協議を開始したが、關東廳全職員の態度

自薦他薦運動
噂に上る顏ぶれ
新機構の陣容

機構改革實施の曉殆ど總てが新設又は改變される滿洲關係の政治機關の首腦部を繞る獵官運動は、最近問題があまりに殺氣立つてゐるため多少遠慮され氣味であつたが、裏面では自薦他薦の潜行運動が續けられてをり、試みに早くも下馬評に上る人達だけを拾ひあげても左の如く、娘一人に婿八人の賑やかさで何人が金的を射止めるか、興味深いものがある。

拓務省　改革案實施と共に拓務省の所管事務中滿洲關係のもので殘るのは殆ど全部移民事務くらゐのもので殆ど全部對滿事務局に移管され、局課は多分廢合されまいが屋臺骨が益々小さくなる、そこで專任拓相だけについていへば岡田首相は臨時議會前にでも置きたい意向で内々人選してゐるらしいが、政府は組閣方針の喰ひ違ひから貴族院にまだ挨拶して居らず貴族院側も御預けを食つたかたちでゐるから差しづめ貴族院から入閣すると見て間違ひあるまい、貴族院から取るとすれば第一黨たる研究の岡部長景子、酒井忠正伯、公正の岩倉道倶男あたりが順序であり、殊にこの連中は現内閣の中心勢力たる官僚系閥僚と結んでゐる事情もあつて可能性多く、就中岡部子の呼聲が高いその他研究の青木大御所が推してゐるといはれる兒玉秀雄伯(研究)や齋藤前首相が推薦するだらうと噂される八田滿鐵副總裁(研究)柴田善三郎氏(同成)のほか大井成元男(公正)菅原通敬氏(同成)等も話題に上つてゐる、次官は固辭し松井部長が遂に入る相が銓衡するだらうが、多分坪上

對滿事務局　對滿事務局總裁は林陸相兼任に決つたが、事務局の機構を大にすれば却て種々の不便を伴ふとの見地から次長(勅任一等)は滿洲現地の新事態に正しい認識を有つ局長級から選ぶことになつてなり、いづれ
坪上貞二(拓務省事務次官)松井春生(内閣資源局總務部長)青木一男(大藏省理財局長)北島謙次郎(拓務省殖産局長)竹内可吉(商工省工務局長)安井英二(内務省地方局長)
諸氏のうちより岡田首相と林陸國同總裁の拓相說は國同の岡田内閣に對する變な態度から生れたものらしくどうかと思はれる

だらうと傳へられる、次長の下には關係各省より有望の事務官を拔擢することになつてをり、縮小される關東廳若手連から誰が引拔かれるか相當興味がある

行政事務局　駐滿大使館行政事務局の總長(勅任一等)に誰がなるかは在滿邦人が最も注目するところであるが、現在のところ十河信二氏、大藏公望男や前掲の坪上次官、松井春生氏らが有力視されてゐる、總長は大使(軍司令官兼任)の下にはあるが、半ば獨立的性質を有ち滿鐵、電々等の監督、附屬地の一般行政、州知事の命令監督など重大責任の直接擔當者となるので、現地の實情に精通した有力者から愼重物色することになつてゐるがこの見地より十河氏や大藏男の呼聲が高く、殊に十河氏は軍部とよいため有利の立場にある(氏は目下鎌倉に悠々自適してゐる)次に總長の下に置かれる總務、警務、監理(いづれも二等)の三部長のうち問題の警務部長は憲兵司令官の兼任となり、監理部長は大村關東軍交通監督部長の兼任とすることに内々關係方面の諒解が成立してゐる模樣である、なほ事務局各課には關東廳高等官も多數入るであらう

關東州廳　關東州廳の官制は大體知事(一二等)のもとに部長を置き、うち一名は勅任とすることを得ることになつてをり、中央では恐らく極力關東廳の現首腦部に知事就任を懇慂すべく、多分日下内務局長が御影池大連民政署長が交涉を受けるのではないかと觀測される、然し關東廳は隨分と縮小されるので、多數の役人は親類續きの各官署や大連市役所に轉替せねばならず、秋風落莫たるものがあらう。
(寫眞上より、岡部長景、八田嘉明、十河信二、大藏公望、日下長太、御影池辰雄諸氏)(東京一記者)

政府成行を憂慮
辭職の報頻々傳はり

【東京特電十八日發】紛糾を重ねた機構問題は十七日の臨時閣議で原案強行に一決今や問題は現地と拓務省の鎭撫工作に集中し岡田首相は菱刈長官に現地慰撫を電命すると共に十七日夜拓務省員の蹶起を戒め林陸相も亦菱刈司令官に善處を電命して上京中の塚田關東軍參謀を急遽歸滿せしめて内滿呼應して萬全の鎭撫策を講ずる事になつた、而して拓務省は或は坪上次官、生駒管理局長、田中政務次官、手代木參與官等の外、強硬分子二三名は辭職を決行する事あらんもと大體において早くも鎭靜に歸しつゝあり、然るに現地にては三局長以下々級官吏に至る迄辭職の報頻々と傳はり政府をして一方ならぬ危惧と憂慮の念を抱かしめて居る

今後專ら省内の强硬派鎭撫
拓務首腦部の對策

【東京特電十八日發】十七日夜岡田拓相から訓示を受けた拓務省首腦部はこれまで關東廳の主張を支持して原案反對を固執して來た關係上何らか態度を決定する必要あり同夜深更まで拓相官邸において凝議したが、既に岡田拓相より關東長官に對して廳員慰撫の電命を發した後であるから、今後は專ら省内の强硬論を鎭撫するに努めることを申合せた、同省内判任官連も一先づ高等官側の動靜を見た上で態度を決することになつた

岡田拓相
省員に訓辭

【東京十七日發國通】岡田兼攝拓相は十七日午後七時より拓務省全員に對し次の如き訓辭を爲したが、その訓辭後坪上次官より「本日は拓相の訓辭を聽取するに止められたき」旨希望し省員の發言なく平靜に散會した

在滿機構改革については曩に九月十四日の閣議に於て成案を決定したるところに基き準備中のところ昨日及び今日の閣議に於て更に現地の情況その他諸般の關係につき種々考究を重ねました、その間諸君は國家の爲め熱心にこの問題を研究し屢々その所見を私に進言せられたのでありまして諸君の愛國の至情は深くこれを諒としますが、政府は愼重審議した結果最終的に決定した方針に依つてやつて行く事にしまして、斯くの如く政府の方針が決定しましたから諸君はこの際政府所定の方針に從ひ各自の職分を盡されん事を希望致します、官紀の嚴正は現内閣の特に重要視するところで諸君はこの點に特に留意せられたいのであります

拓務政務官
辭表提出

【東京特電十八日發】拓務省政務次官田中武雄、同參與官手代木隆吉兩氏は十八日午前九時半首相官邸に岡田首相を訪問し辭意を表明した、追つて辭表は十八日中に杉田秘書課長より首相の手許に屆けられる事となつた

臨時議會に期待
貴衆兩院に運動
齋藤州民代表歸連談

州民代表として政府に陳情すべく上京中であつた齋藤茂一郎氏は十八日入港の扶桑丸で歸連して語る

我々は政黨その他各方面を歷訪して充分各地の狀況を說明し大いに實情を納得せしめた、岡田首相にも面接し約一時間に亘り意見を交換したが、吾々の主張に對し首相は今回の機構改革は命令系統の整理を行ふものであつて從來の拓務省の仕事が對滿事務局の手に移つただけのことだのに何故現地で騷ぐのかその眞意が判らないと言つてゐた、この會見の空氣によつて見ても政府はその體面上からも原案を覆へすものではないことが明かに看取されたので、吾々の今後の對策としては臨時議會に期待するより方法がないものとしその後我々は貴衆兩院の各方面に對し極力運動して來た

駐滿大使館の
意見

【新京電話】在滿機構改革問題が原案通り可決されたに對し駐滿大使館當局は原案可決は當然の歸趨である、たゞ遺憾に思ふのは中央が何故にもつと早く決定しなかつたかである、中央が速かに解決したならば機構問題をめぐる現地の紛糾を未然に防ぎ得たのではないかといつてゐる

臨時議會前
拓相專任
貴院から銓衡か

【東京十八日發國通】紛糾を重ねた在滿機構改革問題は政府の原案強行決定で大體一段落を告げるに至つたが、之を契機として專任拓相設置が問題となるべく順序よく進めば臨時議會前に實現するであらう、而して專任拓相は大體貴族院から銓衡することゝなるであらうと觀られてゐる

大連特務機關
愈よ活動を開始す
岡田少佐等けさ着任

(寫眞は岡田少佐)

新設された關東軍大連特務機關首腦部の陣容は土肥原少將以下旅順要塞司令部參謀堤不夾貴中佐、滿洲國軍政部顧問關東軍司令部附岡田菊三郎少佐、ハルピン特務機關員岡田猛馬氏等に決定したが、堤參謀、岡田少佐並に岡田猛馬氏は相携へて十八日午前七時四十分着列車にて新京より一路來連、遼東ホテルを本部として既に活動を開始した、岡田少佐は語る

事務所は關東倉庫内に置くことにした、今日から早速仕事を始める、しつかりやるよ、機構問題も既に閣議で決定を見たことだ、何時までも軍警對立して醜態を内外に曝す可き時期ではあるまい、陸軍としては既定方針通り斷乎たる決意で進んでゐるのだ、之に關し十九日關東軍から正式聲明がある筈だ

土肥原機關長
二十日頃着任

【奉天電話】關東軍を代表して大連に特務機關を新設することになつて土肥原奉天特務機關長は十七日夜十時半着列車で歸奉したが、十八日午後一時より在奉官民有力者三十名を特務機關に招致し對滿國策に關し種々意見の交換を行つたが二十日頃赴連の豫定である

大連民政署員
對策協議

御影池大連民政署長は十八日午前十時頃關東廳局課長所屬官署長會議出席のため旅順へ向つたが、これに先だち民政署各課長、主任級全員は貴賓室に集合、留任慰撫には絕對に應じ得ずとし全署員の强硬な反對意向傳達方を御影池署長に依賴した、而して署長歸任を待つて更に全署員集合の上今後の對策協議に入るものと見られる

たゞ一途
總辭職決行

はいづれも強硬事態既に茲に至りその主張するところは遂に全面的の敗北につき一切の運動を停止する時に到達した、今日吾々の執るべき態度はたゞ一途 ありとする意見が強調され或は三局長以下關東廳首腦部總辭職に殉じ總辭職を決行せんとする色は益々明瞭となつた

ほんこん丸船客

【門司特電十八日發】二十日入港ほんこん丸主なる船客諸氏
陸軍大學幹事少將小畑敏四郎、同教官中佐山内正文、砲兵大佐北島驥子雄、旅順市長米岡規雄、滿洲國鹽務科長山梨武雄、滿洲國官吏堀尾正朗、レイボルト商會主任今井武光、能勢陽太郎、上海香港銀行ハルピン支店長エル・マッケンジー、米國宣教師マリー・イーアン、同コアダラー、各等滿員

人事

▲川越茂氏(天津總領事)十八日入港扶桑丸にて來連
▲村上敏藏氏(三菱顧問)同上
▲米澤泰長氏(銃彈防具研究所長)同
▲齋藤茂太郎氏(辯護士)同上
▲大阪石輪製造業松原一郎氏以下一行六名　同上來連
▲堀尾成章氏(南滿鑛業重役)同上歸連
▲小見山十五郎氏(九州日報相談役)同上來連
▲斯波隨性氏(滿洲開教總長兼關東別院輪番)十八日出帆はるびん丸にて離連
▲日笠芳太郎氏(本社編輯顧問)同上東京へ
▲五百旗頭佐一氏(本社記者)亡父の遺骨を携へ鄉里の姫路へ
▲兒島卯吉氏(大連製氷重役)同上内地へ
▲堤不夾貴中佐(旅順要塞參謀)十八日午前七時三十分着列車にて來連、遼東ホテル投宿
▲岡田菊三郎少佐(滿洲國軍政部顧問)同上
▲岡田猛馬氏(ハルピン陸軍特務機關員)同上
▲梅田潔氏(梅田合名會社長)同上ヤマトホテル投宿
▲清水賢雄氏(滿鐵々道部次長)十八日午前九時發はとにて北行
▲岡田一房氏(滿鐵々道部運轉主任)同上
▲秋田豐作氏(鐵路總局運輸課長)同上
▲猪子一到氏(滿鐵々道部輸送課長)同上
▲中村英城氏(滿鐵々道部工務課主任)同上
▲本田忠男氏(關東廳高等警察課長)同上
▲石井純一氏(滿洲國監察院事務官)同上歸任
▲鵜飼敏文氏(滿洲國司法部人事課長)同上
▲長崎市立商業學校生徒六十六名十八日午前六時二十分着列車にて來連、イワキホテルに投宿
▲日本橋小學校生徒一行百六十五名　旅順見學に行き、午後六時二十分大連驛歸着の豫定
▲林博太郎伯(滿鐵總裁)十八日午後四時二十分發列車にて西脇秘書役滯同新京へ
▲澤田節藏氏(新任伯國大使)同上北行

蛇角

◇
兄貴が兄貴の見幕で强硬に主張した、すると弟は「兄貴橫暴!」とこれに反抗した。
◇
氣の弱い父親が「まあ〳〵」と双方宥めたが、兄貴が第一承知しない、弟も憤然として猛り立つ。
◇
困つた父親は、結局「仕方がない」と、兄貴の言分を通した。
◇
で、弟は不平滿々、自ら家を逃ン出るといつて居る。
◇
だが元々親子兄弟の仲だ、弟よ此の場合家出してはいけない。
◇
昔、唐人は巧い事をいつた、兄弟牆に鬩げば外侮りを受く、と。
◇
機構騷動の顚末を、斯う解釋してはいけないだらうか。
◇
事態の成行き深憂に堪へず、適宜なる解決法なきやを思ふ。

哭くな青春 (16)
三上於菟吉
吉邨二郎畫

瞬間、向ふの二人が、くるりと振り返つた。

二人の面上には、隱しきれない、奇妙な微笑が浮んでゐた。

さつきが言ひかける先に、良子は、連に言つた。

「ね、さうでせう?かうしてゐればいいさ、わたしは云つたんだわ」

「さうさ。お前は、仲々頭がいいよ」

と佐野は言つた。

さつきは、不思議なやり取りを聞かされて、ぼんやり、突つ立つた。

良子は、さつきを見て、笑ひながら說明した。

「わたしたち、今夜は、とても退屈で、とても貧乏だつたのよ。アパートを出て、銀座へ來ては見たのだけれど、お茶を飮むお金もないし、三四度、行つたり來たりしても、誰にも會はないし、どうしようかつて、この人が、ふから、何處か、すばらしく立派な窓の前に立つてゐませう。さうすれば、後を通る人が皆、窓に映るから。誰か知つた人が、通りかゝりもたびれないし、人目にも立たないし、名案でせう、――つて言つたのよ。この人は、そんな馬鹿らしいことがつて、笑つたのだけれど、矢張りあなたが掴まつた。あなたは、今夜はひどくおめかしをしてゐるし、樂しさうな顏つきをしてゐるし、わたし達二人に、何かおごる資格は充分ありさうだわ」

「何しろ、この人には、かなひませんよ。さう云ふことにかけては、とても智慧があるんだから、――」

するを佐野稹は、妙に陰氣な微笑を浮かべて、

良子は、下唇のつき出た顏を、しやくらせて、

「そんな事を言つたつて、お金が無くなつた時、どうにか工面して來るのは、何時もわたしぢやなくつて?」

と、昂然と肩をそびやかすのだつた。

銀座の人人(その一)

さつきが、電話を借りようと思つて、行きつけの喫茶店、フロイラインの方へ行つた時、その隣の、貴金屬座の飾窓の前に、紺色つぽい洋裝の娘が、華奢な身體つきの、合背廣の青年と並んで立つてゐるのが、目に這入つた。

さつきは、咄嗟に、見覺えのある人達だと思つた。もう少し近づくと、山瀨良子と言ふ、文學少女と、かなり前に、帝大の英文科を出た後、活動寫眞の研究に從事してゐる、佐野稹だと解つた。

二人は、すばらしい眞珠やダイヤの裝身具が、燦然と輝いてゐる窓に、喰ひ入るやうにひつついてゐた。

――あの人達は、何だつて、貴金屬座の窓などを覗き込んでゐるのだらう。――

凡そ、意味ないことだと、さつきは思つた。

山瀨良子にしろ、妙齡の女性であるからには、貴金屬に興味を持つのは、自然かも知れない。また、佐野稹にしても、映畫研究者のことで、最近流行の裝身具に、研究的な瞳を注ぐことも必要であるにはあるだらうが、しかし、さつきには、彼と彼女が、あまりに熱心に、飾り窓を覗き込んでゐる姿が、はつきりしなかつた。

あの窓の前に立つには、その人たちは、あまりに、貧乏で、あまりに切羽詰つてゐるのを、さつきはよく知つてゐた。

彼女は、二人の背後に近づいた。聲をかけようと思ふと、その

果然！關東州內の全警察官も總辭職
各署夫れぐ大會で態度決定
州外各署も續々合流

在滿機構問題に對する關東廳の主張は葬られ、現地の情勢は重大危機に直面した即ち關東廳局課長が十七日夜總辭職に決定したのを導火線として廳下五千の警察署員の動向は最も注目されてゐたが、十七日夜から十八日朝にかけ大連五署ではそれぞれ極秘裡に署員大會を開き全署員の總意を纏め十八日午前十時までに既に大連、小崗子、沙河口、水上、消防の五署は署長以下巡査に至るまで一名も洩れなく總辭職をなすことに態度決定し各署巡査級はこの旨を巡査新制委員會本部に通達した

先づ大連署では午前八時寺田署長全署員を講堂に集め自決を表明する悲痛な挨拶を述べ、署長としての

態度を 全署員の前に明かにし、これに續いて午前九時から同署國武警務主任以下各主任警部及び警部補級の監督者が署長室に會合、進退問題に就き悲壯な協議を行つた結果、議論抜きにして滿場一致總辭職を議決し更に同署巡査級も同時刻署內に於て委員會を開き、巡査四百の出所進退を協議したが、之れも最初の申合せ通り一名も洩れなく連袂

總辭職 をなすに決定した、更に沙河口、小崗子兩署は既に十七日夜署員大會を開き總辭職を決議し水上、消防兩署も十八日朝各署と行動を共にする重大決意を表明した、この結果十八日午前十一時から大連警察署講堂に於て市內五署聯合會議を開き各署員の連絡を密にし近く行動を起す重要な打合せを行つたが、これによつて十九日開催の豫定である全滿署員代表大會に臨むこととなつた、かくて各警察署總辭職の

飛報は 續々巡査新制委員會本部に達し不氣味な空氣に蔽はれてゐるが、正午までに本部に達した署長以下辭職決定の警察署は瓦房店署、普蘭店署、貔子窩署、金州署、旅順署の五署でこれで關東州內の警察署は完全に總辭職と決定した譯で又た新京、奉天、安東等の主なる警察署を始め廳下二十餘の警察署全員も一蓮托生總辭職の擧に出づるものと見られ事態いよいよ重大視されて來た

八時全署員は講堂に緊急臨時會合を行ひ愈々最後的協議を遂げたが午前十一時より關東廳における部局長會議の結果を待ち進退を決するものと觀らるゝが、仄聞するに官吏の本分として何分の沙汰あるまでは無論公務執行に當り規定の所信に向つて邁進する模樣である

旅順民政署にても午前八時から安永署長、平井庶務課長は署長室にて協議し部局長會議の結果を直に全署員に對し安永署長より傳達する筈である

辭職の外途無し 大場警務局長談

大場關東廳警務局長は十七日深更左の如く語つた

十七日の閣議で吾々の主張が全然覆されるが如き決定を見るに至つては最早辭職の外は無い、岡田首相からは長官を經て慰撫の電報があつたが最早如何とも出來ない、部下職員に對しては極力慰撫するつもりであるが、果して聽き入れて呉れるかどうか、今日の情勢では甚だ疑問である、顧みれば昨年着任以來大使館警務部問題、其他文官警察に關する重要問題が續出し今日遂に機構問題で切腹するに至つた、自分は文官警察と心中するために滿洲に來たものといへやう

と感慨無量の態であつた

全滿署長會議 二十二、三日頃大連で

關東州內警察署長は機構改革問題に對する上下の責任を負ひ辭職を決定したが、今なほ州外署長の間に未決の向もあるので、全滿署長會議の申合により最後まで行動を共にすべく、來る二十二、三日頃大連に全滿署長會議を開き進退を決する筈である

決心を固めて自重 新京署員は靜觀の態度

【新京電話】關東廳五千の警官の望みも空しく十七日閣議に於いて在滿機構問題に對し原案強行の決定をみたが五千の辭表を託した總ての希望を瞬間に失つた關東廳管下にはさすがに一抹の憂色が漂つてゐるが關東軍の

膝元 たる新京においては閣議決定と共に今日までの總ての運動をピタリと中止、靜かに次に來るべきものを官吏として待つと云ふ飽くまで國家本位に進むべく十八日は早朝より高山新京署長は大場警務局長より自重せんことを望む旨の指令によつて閣議によつて國策として決定を見た以上徒らに動くは官吏として執らざる所であつて

須く 靜觀の態度を持すべきで信念に於て變りはないが悔を後世に貽すことは潔しとしない旨を訓示し警察官としての本分をつくすことを希望する所あつたが署長としての腹は勿論當初の言明通りでたゞその時期を待つのみであるとの悲壯なる色が漲り署員側も事茲に立ち至つた以上徒らに策動するは寧ろ本懷とする所にあらずとなし何れも自重的態度を持することになつた

態度は變更せず 奉天署は今夕大會開催

【奉天電話】奉天署では十八日午前九時各主任、三筋會巡査代表等約三十名參集協議したが吾々としては閣議決定によつて何等態度に變化を來すべきでない、更に鞏固なる團結あるのみであるとの意見に一致を見た、十八日には目下來奉中の杉山參謀次長を瀋陽館に訪ひ意見の開陳をなさんとしたが會見出來なかつた爲空しく引揚げた、なほ十八日午後六時から奉天署員大會を開き種々協議すると

殘された問題は 警官總辭職の時期如何
臨時議會直前說が有力

十九日開催の豫定である全滿署員代表大會は目下御巡狩中の滿洲國皇帝警衛の都合上一兩日延期されるやも知れない事情にあるが何れにしても二十日前後には大會開かれる

運びに 至るべくその結果廳下五千の警察官の動向が確定される、關東州內の十署既に總辭職と決定し州外各署もこれに追隨する情勢下にあるのでこの結果廳下五千の警察官の總辭職期が目下のところ注目されてゐる、此の點は種々議論の分れるところであるが一部急進派は臨時議會の直前決行し政府に對し政治的責任を究明すべしと唱へ、これに贊成する向も尠くなく、延いて中央政局に重大影響を齎すものと憂慮されてゐる、なほ警察官の

辭表は さきに各署に於て取纏めて關東廳に提出、現在大場警務局長の手許に保留されてゐるが、巡査新制委員會本部では全滿代表大會直後、全滿警察署長、警部級並に警部補級は適當時期を狙ひ大場局長に對し菱刈關東長官に提出方を要求することになるべく、この結果長官の

態度は 頗る注目されてゐるが、長官が辭表を受理せざる場合といへど辭職決行には何等かはりないといふ意見が一般にみなぎつてゐる、長官が辭表を受理せざるに強ひて辭職することは職務放棄の官吏服務規律に反することゝなり、懲戒免の手段に出づるやとも見られてゐるが、警察官側では「懲戒免恐るゝに足らず」となしどこまでも總辭職斷行の決意を固めてゐる

旅順兩署員の態度協議

旅順警察署では十八日午後一時全署員大會開催の筈なりしも十七日の閣議決定が遂に強行せらるゝに至つたゝめ豫定時間を繰上げ午前

人の情けに背いて不運な男死を選ぶ
一巡査の隱れた篤行

十八日午前六時敷島廣場大連ホテルの十五號室で親身も及ばぬ温かき一巡査の情にそむいて自殺を企てた男があつた、此の男は原籍福岡縣糸島郡雷山村字有田六三七山口正太郎(三)といひ十七日午後六時頃しよんぼりとした

姿で 前記大連ホテルに來り一泊する旨を告げたが、嘗て夫婦連れで滯在した事もあり顔なじみの同ホテルでは別に不審にも思はず十五號室に案內した、その夜は夕食を攝つたまゝすぐ就寢した模樣で服毒は十八日午前六時頃と思はれるが、服毒後二時間位たつた後苦しさに堪へ兼ねた山口はベルを押して助けを求めたので女中が行つてみると

既に すつかり毒が廻つて虫の息を續けてゐる有樣に早速同ホテルでは敷島廣場警察官派出所に屆け出たものである、同派出所で一應取調べの上直に大連聖愛醫院に擔ぎ込み應急處置を施したが頗る重態で此處一週間位が最も危險であると、なほ山口が殘して居た大連水上警察署有友巡査宛ての遺書によつて長い間のかくれてゐた同巡査の美德が計らずも發見されるに至つた

有友巡査は在滿警察官の中でも劍道にかけては最も優れた腕の持主であり、本年五月東京に於いて行はれたオール滿洲對鐵道省の劍道大試合の際派遣された時、歸りの船の中で門司から山口と知り合ひになり、彼が田畑を賣り妻を殘し悲壯な

決心 で滿洲で一旗上げようとする雄心に動かされて、大連上陸後有友巡査は大和町の自分の官舍に彼を宿泊させ爾後二十日間全く親身も及ばぬ溫き情によつて就職の口を探し求めた末漸く某運送店に月給六十圓で就職させ、その上下宿屋までも探してやるといふ親切をつくしたが、彼も一時は同巡査の恩に感じて一心に働き出し、やがて鄕里から妻を呼び寄せたが、六十圓の收入では足らぬところから妻を濱速町の食道樂へ仲居として住み込ませた、ところが本紙が嘗て報じたやうにこの妻は四日も經たぬ中に泥醉の

結果 或る男に操を奪はれたので、山口は以後全く自暴自棄となり逢坂町某樓に通ひつめ挽へ娼妓金龍といゝ仲になつて、それ以後といふものは又元のルンペンに返り、一方これも本紙の報じた如く佐賀縣藤津郡濱町村島マツ(二五)の就職をマツの鄕里と親類關係にあつたので大連に呼び寄せたのが、偶でマツが歸る家を忘れて十月一日大連署の厄介になつたといふやうな失態を起し、あれやこれやの惡運が重なり、今まで有友巡査から受けた厚い恩に對しても全く申譯ないといふ責任觀念から此の擧に出たものと見られてゐる

普蘭店驛で貨車脫線顚覆
下り線不通となる

【普蘭店電話】十八日午前十一時頃普蘭店驛構內北部ポイント附近工事中の箇所にて上り二百八十六號列車の機關車より十三輛目の石炭貨車二輛が下り線方向に脫線顚覆し乘務員その他に死傷なし、復舊には七、八時間を要する見込み原因はバラスの敷込みが未完成のカーブの箇所を徐行の信號あるにも拘らず普通の速度で通過したものらしい

斯波隨性氏離連

本派本願寺滿洲開教總長兼關東別院輪番斯波隨性氏は昨年六月赴任以來健康すぐれぬため京都に引揚げ靜養すべく十八日出帆はるぴん丸にて離連した

林滿鐵總裁

林滿鐵總裁は滿洲國皇帝陛下の奉天御巡狩御召列車に供奉するため十八日午後四時二十分發列車で新京に赴くが、陛下の新京御歸還をお送り申上げた上二十一日朝歸連

明日のお菓子祭

明十九日忠靈塔境內に於て施行される大連菓子商組合のお菓子祭には百數十軒の菓子商より寄贈のお菓子袋が澤山集つて居るので一般參詣者に分配する由

天氣予報

十九日

南西の風晴

滿潮(午前六時五五分 午後七時三五分)
干潮(午前零時一五分 午後一時一五分)

各地濕度(十八日午前十一時)

大連	一八	奉天	二二
旅順	一七	新京	一〇
營口	一四	新義州	一三

今日の小洋(十一時半) 金百圓につき百九圓三十五錢

〝北滿の義人〟
〝日本人は此處にあり〟のレコードけふ入荷

滿洲事變に、事實小說に、又歌に全國的にその名を謳はれる北滿の義人村上久米太郎氏の義擧をたゝへるべく本社が熱血詩人佐藤惣之助氏に委囑して作詞した「北滿の義人」別名「日本人は此處にあり」は既報の如くコロンビアの手によつて新進作曲家古關裕而氏作曲、奧山貞吉氏編曲、中野忠晴氏獨唱、コロンビア・オーケストラ伴奏の下に吹込み製作中であつたが、十八日入港定期船によつて入荷、即日市內各蓄音器店より發賣することとなつたが歌詞、歌曲共に義烈輝く日本魂をたたへる莊嚴を極めたものであるから必ず一般家庭より歡迎を博することであらう

いよいよ竣工した本社新京支社々屋
首都新京中央通の一偉觀

滿洲事變を契機として滿洲が世界注視の的となり殊に滿洲帝國出現以來は政治、經濟、文化各方面を通して內外のニュース益々頻繁となつて來た事實に鑑み我社は言論報道機關としての

職責 を盡すため各地通信網の整備社內設備の充實等については凡ゆる努力をなしつゝあり、現に我社の一大偉力となるべき三臺連結高速度輪轉機の增設工事は着々進捗しつゝあり本年內にはこれが設備を完了する豫定であるが一方滿洲における各種ニュースの中心地たる新京が國都に定められて以來滿洲帝國政府各機關を

初め 我關東軍司令部、海軍部、大使館、關東廳等の各官衙こゝに集結せられ全滿洲の政治的核心經濟的樞軸を形成し來つた事實に鑑み我社新京支社を擴張し通信聯絡の完備、印刷工場の新設をなす事となり去る昭和八年六月同市中央通り四十四番地(彌生町通)に適地をトし同年十月二十二日基礎工事に着手し同年中に該工事を終り本年新春解氷期に入ると共に四月十二日より社屋新築に

着手 去る十月十日を以て全部竣工するに至つた、依つて新京支社では本月十六日同新社屋に移轉したが新社屋の概要は左の通りである

敷地は新京目抜きの場所たる中央通りの南端東側彌生町角にて表通りに面する二百九十坪にて其建坪は地下室十二坪餘、一階百三十五坪、二階百三十二坪餘の鐵筋コンクリート二階建で一階は通信部、印刷部の兩事務室應接間二、印刷工場倉庫等、二階は通信、印刷營業部員の宿舍採字室、校正室等を有し凡ゆる近代的設備の整つたモダン洋館である

而して右建築設計者は大連の建築技師として

斯界 に令名ある工學士橫井謙介氏、また工事請負者は奉天青葉町碇山組主碇山久氏であるが同氏は明治四十一年以來滿洲に於て土木建築工事請負業者として知られ各種の土木建築工事を完成してその堅實さを認められて居る人である(寫眞は竣工した社屋)

橫井工學士談

我社新京支社建築設計の任に當つた橫井工學士は語る

大體において大連本社の樣式に型どつた近代式の手法によつたものですが出來るだけ明調を加へて均整のとれる事を心掛けました何分二階が重い活字を以て滿されて居る工場に當てられたのでその點充分苦心致しました現在は二階ですが將來何時でも三階にする事が出來ます

碇山氏の談

同じく工事請負の碇山氏は語る

解氷と同時に工事にかゝりましたが何分本年は降雨が多かつたので豫定より約一ケ月ばかり遲れました、然し幸ひその後工事も順調に進み何等の故障なく無事竣工を見たのでホッとして居る處です

新社屋の修祓式
けふ午後一時から執行

【新京電話】據て中央通り四十四番地に位置をトし工事中の本社新京支社はこの程竣工を見たので十六日支社事務所を舊社屋より移轉し十八日工場の試運轉を行ひ同時に午後一時から新京神社神官によつて修祓の式を行ひ支社員一同參集祝酒を酌んで社の前途を祝した

親鸞聖人 (23)

鳳雲篇　吉川英治作　山村耕花畫

啞の世（十二）

さもあれ今の吉光の前自身なり有範の家庭といふものは、謙譲にして清粗な、足るを知つて不平を思はない生活を持して、ひたすら精神の位置を、信仰と、子の愛育とに置いて、いはゆる世間の名聞利慾からは遠く離れて住み澄ましてゐたのであつた。

で——朝にも夕べにも、この館の持佛堂には、一刻のあひだ、有範夫妻のたのしげな念佛の唱名がもれる。

又、それに慣つて、若い郎黨の侍從介も、顔をあらひ、口を漱ぎ、太陽を禮拜して、

「……」

黙然と念佛する。

下婢も、さうであつた。

乳母もさうであつた。

水を汲み、使に走る童僕までが、それを習ふやうに至つて、この古館は、何か、燦然たる和樂につゝまれてゐるかのやうに他人からも羨ましく見えるのであつた。事實六波羅殿の榮耀も、小松殿の豪華も、この草間がくれの夫婦の生活にくらべれば、その平和さにおいて、幸福さにおいて、遙かに、及ばなかつたに違ひない。

雁がわたる——秋は深み行く。

仲秋の夜だつた。

「兄上、ちさばかり、酒瓶に美酒さげて参りました」

宗業が訪れた。

やがて、範綱も見える。

十五夜ではあり、かう三名の兄弟がそろふと、ぜひ共、一献なければなるまい。吉光の前は、高坏や、膳のものを用意させて、自分も十八公麿を抱いて、圓かな月見の席につらなつてゐる。

わざと、燭は燈さずにある。すすきの穂の影が、縁や、其處此處にうごいてゐる。廂から射し入る月は燈火よりは遙かに明るかつた。

杯のめぐるまゝに、人々の舌には微醺がたゞよふ。——詩の話和歌の朗詠、興に入つて盡きないのである。

と、思ひ出したやうに、

「さう〳〵」

吉光の前へ向つて、宗業が云つた。

「六波羅の探題から、なんぞ、お許様へ、やかましい詮議だては、ありませんでしたか」

「いゝえ……」

吉光の前は、顔を横に振つて、

「べつに、六波羅役人から、左様なことは申して參りませんが？……何ぞそのやうな噂でもあるのでございますか」

「いや何、私の取り越し苦勞です

——と云ふわけは、お従弟の鞍馬の遮那王どの。たうとう、山を下りて、關東へと、身をかくしてしまはれたといふ事です」

「えつ……遮那王殿が」

「油斷をしてゐた爲、だしぬかれたと、平家の人たちは、地團太をふんでなります。さうでせう、謀叛氣がなければ逃げるはずはありません。怨然と、あの稚子が、姿をかくしたのは、まだ、少年ではありますが、明らかに、源家の挑戰と見られる」

「でも、まだ十六歳の小冠者が、どうして、逃げ了せませう。……傷ましいことでございます」

彼女は、ふと、月にかゝる雲を見た。ひそかに心のうちで禱つてゐた從兄弟の失踪に、また幾人の血につながる者たちが哭くのではないかと戰慄した。

そして、氣がつくと、自分の膝に戯れてゐた十八公麿が、いつのまに、月の光の中を、他愛なく、這ひまはつて、縁へ出てゐた。

映畫　北滿の落花　とシモノーフ將軍

日露戰役で皇國のため北滿の花と散つた横川、沖等六烈士の勇壯美談は「北滿の落花」と題して財團法人ハルビン六烈士事績保存會で現地を背景に、淺岡信夫主演、日露滿三國人の協力により十四卷のトーキーとして完成された、當時ロシヤ武官アファナシエフ將軍（二烈士の軍法會議裁判長）メデーク將軍（憲兵司令官）シモノーフ將軍（銃殺指揮官）は今尚は現存してゐるが、シモノーフ將軍は各將軍を代表して去る十五日入京した

當時大尉だつたシ將軍も六十歳を超え當時を回想しつゝ六烈士の自若たる態度を激賞し、その後刑場附近には決して立寄らぬと言ふ（寫眞は當時を偲ぶシ將軍の指揮と現在のシ將軍）——東京發

ナチスに惱む天才チエリスト　大フオイヤーマンの　歎きの『チゴイネルワイゼン』

今秋樂壇の最後を飾る大天才エマヌエル・フオイヤーマン氏の來連は單に今秋の最大收穫であるのみならず滿洲音樂史に

特筆さるべきものであるが、氏の來連に先立つてその人となりを語つて見やう、フオイヤーマン氏はカザルスと共にチエリストとして世界樂壇の最高地位にありポーランド、コロメアの生れ、十三歳で既にステーヂに立ち、十八歳の時にはドレスデン・フイルハーモニーの獨奏者として活躍してゐたといふ天才で本年三十三歳である。今までシコラ、ホルマンストウビン等以外にはチエロの大家といふものを迎へたことのないわが樂壇にとつては正に珍客といふべきである、彼は例のナチスのユダヤ人排撃に遭ひ、ベルリン高等音樂院教授の地位を奪はれたがこれを知つた學生達が揃つて退學を申し出て師と

行動を共にしたいといふことで、これによつても如何に彼が人氣があるかといふことが判るチエロの獨奏といふと重々しくて如何にも地味なもののやうに思はれてゐるが、フオイヤーマン氏はヴアイオリンでさへ、一寸簡單には彈けないサラサーテの「チゴイネルワイゼン」をチエロで易々として彈いてのける程の素晴らしい腕を持つてをり、またチエロを歌はせる點で我々を十分に樂しませてくれる、我が

樂壇に重きをなしてゐる新響の齋藤秀雄、大村卯七氏等は共にフオイヤーマン氏に師事した人々である

關八州男伊達　大河内、志波作品

「水戸黄門」に次いで日活の大河内傳次郎が着手する主演作品、志波西果監督とのコンビは假題「血染仁義」を「關八州男伊達」と十三日題名が本極りとなつた、カメラは谷本精史が直にロケハンを開始したが、大河内は「三度笠」に次ぐ三尺物である

池田富保監督　日活の専属と決定

日活にフリーの立場から入社してゐた池田富保監督は浪曲トーキー「佐渡情話」でヒツトしたので十三日正式に日活専属と決つた

二硫化炭素を用ひ林檎害虫は驅除出來る

農林省兩技師試驗の成功

近く入禁解除運動を起す

農林省の滿洲苹果の內地輸入禁止は約三割見當の增收を豫想せられてゐる折柄とて滿洲における當業者の死命を制する問題として、數ケ月に亘り農林省、關東廳、滿洲果實販賣組合等の間に種々折衝が重ねられた結果農林省では八月中旬、上遠、尾上兩技師を滿洲に派遣現地調査に當たらしめてゐたが約五十日間に亘る兩技師の調査研究により問題の姫心喰蟲は二硫化炭素の燻蒸により完全に驅除し得るのみならず、林檎の本質をそこねるものでないことが判明過般兩技師は歸京した、この結果デッドロックに當面した輸入禁止問題も大體本年中に解禁可能の曙光を見出すに至り販賣組合ではこれが解禁を促進すべく全面的活動を開始することゝなり、田邊理事長は十七日新京に向ひ滿洲國を通じて解禁要請をなす一方千葉理事は二十日上京農林省を始め各方面に問題の好轉を懇願することゝなつたなほこの解禁豫想により從來屏息狀態にあつた南洋方面の取引も圓滿に行くものと見られ、當業者間は活況を呈するに至つた

奉天の本年度建築費二千萬圓を突破す

戶數にして三千五百戶

【奉天電話】事變以來急速に膨脹し發展しつゝある奉天の建築界を顧みると昨年度二千戶の建築に對し本年は九月末日の調査によると三千戶を突破する狀態で今後十、十一月を合すれば三千五百戶に達する見込みで今これを工費別にすると

關東軍	百五十八萬圓
關東廳	十五萬七千圓
奉天省	三萬五千圓
奉天市政公署	一萬三千圓
滿鐵地方事務所	八十二萬三千圓
同鐵道事務所	二十七萬二千圓
鐵路總局	四百六十九萬六千圓
奉天鐵路局	十四萬九千圓
その他官公署特殊會社	百七十二萬一千圓
奉天市民間	五百九十二萬六千圓
奉天工業地	百四萬圓

計一千六百四十一萬五千圓であるなほ昨年の奉天市民間建築費は三百九十八萬二千圓であるが本年は二千百萬圓以上の空前絕後の好景氣を示してゐる

〃石鹼關稅引下げは日滿兩國の利益

關稅減收にはならぬ〃

內地石鹼業陳情に來滿

滿洲國政府では來る十二月關稅の全面的改正を斷行し來年度から實施するが、この關稅改正に先立ち現在滿洲國を唯一のお得意とする大阪石鹼同業組合から松原石鹼合名會社長松原一郞氏以下一行六名が關稅引下げ運動のため十八日入港の扶桑丸で來連ヤマトホテルに投じたが語る

現在滿洲國の石鹼輸入高年額二百萬圓の內殆ど全部私達が輸出して居るが、滿洲國の關稅は支那政府時代の高率關稅を踏襲したものが多く化粧石鹼は三割を課せられてなり洗濯石鹼は二割であつたものが現在一割となつてゐる、關印方面への進出を阻まれ滿洲を唯一のお得意としてゐる我々としては化粧石鹼の三割を一割に洗濯石鹼の一割を五分にして戴き輸出の促進に努めたい、關稅を引下げることによつて滿洲國の關稅收入が減少するものではなく却つて增加する現に昨年洗濯石鹼に對する關稅二割を一割に引下げてから昭和八年上半期の洗濯石鹼輸入高十八萬圓が昭和九年度上半期には四十二萬圓と倍額以上に上り關稅收入は增加してゐる、關稅引下げによつてのみ日滿ブロック經濟の理想は實現されるので現在の如き障壁のため右の理想實現は阻まれ他方密輸を促進して市場は攪亂され正道を歩く業者が苦境に陷つてゐる有樣である

なほ一行は二十日新京へ向ひ財政部大使館等の當局者に陳情する筈（寫眞は陳情一行）

金融合作社理事

候補者內定す

全滿に於ける金融合作社工作は滿洲國財政部によつて着々進捗しつゝあるが、今回左記合作社を設立することゝなり目下準備中であり又これ等合作社擔當の理事候補者も第一回金融合作社理事養成所修了者中より內定しており近く合作社成立の上は正式任命を見る筈であるが、理事氏名及び擔當合作社左の如し

▲奉天省　懷德（武長謙吉郞）昌圖（見山忠助）本溪（村井清）綏中（福島繁作）海龍（町田知法）黑山（岡本茂夫）義縣（井原峰生）營口（奧村秀夫）梨樹（木藤格之）法庫（川手等）▲吉林省　九臺（佐藤嘉雄）長春（高城貞雄）双陽（中島誠）伊通（丹羽正雄）阿城（仁科正克）依蘭（尾關行良）樺川（田中虎之助）▲黑龍江省　訥河（今田益市）綏化（播本秋一）巴彥（秋葉博）海倫（小泉末太郞）富裕（川村英男）

松花江本年度貨物輸送高

【ハルビン十七日發國通】松花江航業聯合局所屬各汽船の本年度貨物の輸送高は六十七萬噸その主なる貨物は大豆三十萬噸、石炭十七萬噸、食糧雜貨八萬噸、麥粉七萬噸、雜貨五萬噸其他である、昨年度に比較すると輸送貨物は二割五分以上の增加を示してゐる、尙右貨物の輸送による利益金は概算二百萬圓の由又各船舶は來る十一月一日迄に全部ハルビン埠頭に集結して本年度の航行を終り冬籠りすることになつてゐる

縞三綾、綿ネル、綿縮み輸出減少の原因

全般的統制が必要

【東京十六日發國通】縞三綾、綿ネル、綿縮みの輸出が近年漸次衰退傾向にあるためこれが統制の衝に當る日本綿織物工業組合聯合會では右三綿布の有力輸出市場たるエジプトの情勢を調査すべくカイロの日本商品館宛に實情調査を依頼中であつたがこの程三綿布の衰退原因を報告して來た、それによればこれが理由として

一、生產販賣の量統制のため市價は一定以下を維持してゐること從つて類似品の輸出が旺盛で從來の右綿布の消費地盤が蠶食されて來たこと

一、縞三綾の類似品に關しては最近ロシア綿布の進出が殊に目立つてゐる

尙ほその報告によれば部分的の統制は類似品、模造品の出現を促した感があるので綿布の統制はこれを全般的に行ふことの必要なるを附言してゐるのは目下各部分の生產乃至販賣の統制實施中の際とて注目されてゐる

銀輸出稅增徵の結果

上海標金急騰す

一躍、一千二十二元

【上海特電十八日發】上海標金市場は前日に引續き異常の波瀾相場を現出し寄付九百七十九元と奔騰して寄り高値は一千二十二元の新値を示現し九百九十七元に止め爲替市場もノミナル

【上海十七日發國通】國民政府の銀輸出稅增徵は果然本日に至り爲替標金市場に異常の亢奮を捲き起し標金は昨日引値九百五十元から一躍九百七十三元五角に急騰し爲替市場も銀弗が先安見込みから支那側思惑筋の買煽りと一般實需筋の思惑で急騰し今朝の百二十四圓（銀行賣り）が正午には百二十五圓に反撥、引跡氣配も銀軟弱を示し午ら百十八圓臺から百十二圓を唱へるなどます／＼波瀾性を昂めてゐる

上海標金の奔騰で鈔票稀有の大暴落

去月來昂騰の一途を辿りつゝあつた大連錢鈔市場の鈔票は十五日支那國民政府の銀輸出稅引上を動機として頭打ち商狀となり十六日に配は百二十七圓臺を唱へ翌日安を豫想されてゐたが十八日前場入報は四圓方の反落をみせ十七日の休日中も上海標金の奔騰から現物氣の海外市況は休日前に比し紐育銀塊八分一高、孟買銀塊十六分一高午ら倫敦銀塊は現物先物共一片方の暴落米支爲替二弗七五仙安、米日爲替三仙安、上海標金は二十元方高の九百七十九元五に寄り日本向爲替は百十八圓臺に寄り當市は前日止値より五圓五十錢安の百二十六圓に寄りアト上海標金は一千二十元と奔騰し、上海日本向もノミナル午ら百十二圓臺を入れ更に市場では機構問題に關する前途不安の念も加はり人氣ます／＼惡化し安値は百二十四圓五十錢まで突込み引際やうやく下げ一服の商狀となり百二十六圓三十錢に止めたが十六日の高値百三十六圓六十錢より十八日の安値百二十四圓五十錢と二、三日中十一圓方の慘落は稀有の波瀾相場を演じた譯で錢鈔市場では十六日までの建玉につき增證據金四百圓を追徵することになつた

錢鈔市場の增證追徵

大連錢鈔市場では鈔票相場の變動甚だしきを以て十八日正午從來の建玉に對し增證據金四百圓を追徵することになつた

麥粉市場の活況

入荷は多いが荷捌良好

十月一日より十日に至る大連港の小麥粉輸入高は八十萬三千三十三袋に達し依然濠洲粉が首位を占め五十四萬三千四十一袋と全輸入高の六十七パーセントを示してゐるが、米加粉は一袋も姿を見せず皆無であつた、これが仕出地別左の如し（單位千袋）

仕出地別	數量	百分比
日本粉	二三九	三〇、〇
濠洲粉	五四三	六七、五
上海粉	二〇	二、五
計	八〇三	一〇〇、〇

以上の如き濠洲粉が引續き多量入荷したにも拘らず奧地方面の荷捌が引續き良好であつたため荷捌高は五十一萬八千袋と好成績なりしため埠頭在高も順調で、十日現在に於て百六十一萬七千袋を示した、なほ上旬市況は九月末買氣沸騰した後を受けて偶々海外材料反落、銀軟弱に問屋側沈默し最盛期を控へたることゝて荷捌良好なりしも殆どすべて期近買に終始し先物は濠洲粉安を入れ買漁る向もあつたが一般に商內不振市場は大保合を呈してゐた

見本市と同行して見た熱河諸都市の商況（4）

……朝陽の將來は如何

山下特派員記

朝陽の將來はどうなるであらうか。一時的なブームを見せただけで、さしたる事もなく凋落して行くのではないだらうかとは最近屢々耳にする言葉である。といふのは鐵道も旣に凌源までは假營業を開始し、熱河への入省者は此處に一泊する必要がなくなつた、このことは本年八月入省許可事務の取扱が廢止されてからはなほ更のことゝなつて、一時の樣に熱河へ志すものは、必らず此處を宿場として、入省手續を濟まさねばならぬ必要もなくなつたので、寧ろ藥稍に赤峰への分岐點として發達もせうが、朝陽は單なる通過驛に止るのではないかといふのである。

◇

入省許可制に就いては、過般新聞紙上にその復活が報道された事實もあるが記者の聞き訊した處によると、現在許可事務は復活し居らず、入省者は許可を受くることなしに自由に朝陽を通過してゐる只許可制廢止以來當地には浮浪者が激增し、錦州に於ける領事館裁判の八割までは、それ等の浮浪者であるといふ有樣である、比較的治安の確立してゐるこの地方ではあるが、國境に近く思想系統の犯罪者の流入にも備へねばならぬから、當地において復活運動の起つてゐる事は事實である

最初入省許可制が實施された當時は、內地側資本の進出を封ずるものゝ樣に誤解された事もあつたが、寧ろ事實は歡迎してゐる旨を軍方面では述べてゐた

◇

當地は事變後治安の確立に見るべきものがあり、殊に日滿人間の融合は、協和會等の努力に依つて實績を收めて、非常によく統制され、軍方面も日滿人兩者の融合とその經濟的發展については、何くれとなく後援してゐる。

人口は本年七月末現在、日滿人總計一三、〇〇〇名、日本人一〇〇名、最近の動態に增減はない、寧ろ小學生數に於ては本年四月末二十七名、同九月末五十一名と著增し、人口增加を類推すべき節がある。土着民も治安の定まると共に增加してゐる一般滿人側の景況は、大體錦州の場合と同樣で、日本人側の商賣が壓倒的優勢であることも同じである。

◇

地理的に云つて當地は、蒙古、チヤハル方面の貿易徑路が東漸すれば、非常に形勝の地位にあり、土地の人々も此點に着眼し、蒙古貿易を開拓するものは朝陽であるとしてゐる、しかし同方面には平津貿易の根強いものがあつて、天津から喜峰口、平泉を經て、赤峰に入る雜貨類は內地品四、外國品六の割合でないかと推定される、毛皮類、豚毛等の土產品は灤河の舟運に依つて或は塘山經由天津へ殆ど外商の手に依つて引取られる狀況で、これには相當額の運輸が想像されるが、現在の日本商品は關稅を拂つて尙ほ之れと競爭出來るのであるから、奉天を中心圈とする日本商品の進出を土地の一般商人は非常に待望してゐる。

◇

現在當地方が集散する近傍の土產品は矢張り毛皮類が一頭地を拔き山羊皮、綿羊皮、羊毛、狗皮、猪鬃、猪毛、牛皮、馬皮、羊絨、駝毛等年產額最低馬皮の三〇〇張から、山羊皮は三〇、〇〇〇張、綿羊皮二〇、〇〇〇張、狗皮五、〇〇〇張、羊絨二五、〇〇〇斤、猪毛三〇、〇〇〇斤に及んでゐる。

しかし之等は未だ日滿方面に充分搬出されてはゐない。之は輸出機關などの設備もない爲に、規格が非常に粗雜な事にも依る、例へば天津方面に出る毛皮類は土着人は之を朝露に打たせ、小砂をかけてキリ／＼揩り込んだ上、之をはたいて重量を增し市場に送るのであるが、買手の外商は、チヤンとこの事を心得てゐて、割安の値段で引取るので、結局賣れても砂代だけの運賃を損してゐる。その點生產組合でも作つて規格を嚴重にする事が何よりも急務とされる。

◇

棉作は錦縣程の被害は無いらしく、土地側の說明では成績たさの事である、一方雜穀としては大豆、高粱、包米、芝麻、蕎麥、小豆等があり大約二十萬石との事であるが、之は靈廳島經由大連へ或は錦州から營口、奉天、大連等へ出てゐる。

◇

日本商品として輸入されてゐるものは人絹類、メリヤス類、化粧品、護謨製品、沓下、織物類等である。

これは同地の見本展で滿商が示した傾向であるが、三時から五時までの短時間であつたが、協和會等の手廻しもよかつた故か、約三百名の滿商が、熱心に參觀し、就中、日本人絹の安さと良さには可成心を動かした模樣である。他に當地方に於て進出の著るしいものは所謂雜貨であつて、何でも滿人には雜貨が安いといふ先入觀があつて、新品より割高のものでも平氣で買ふ事があるといふ話。

◇

日本商品進出の爲に此處に殘された問題は、金融機關が中央銀行一つしかない事で爲替取引に於て不便であること、今一つは取引に於て小口注文の煩に日本商側が堪へない事で、共同仕入、共同販賣といふ樣な形式が望まれてゐる、幸ひに當地では日滿貿易商會が生れ、日滿貿易の斡旋機關として活動してゐるのは將來大いに期待される。（寫眞は朝陽）

採木公司の流筏

三十八萬尺締

【安東十六日發國通】滿洲の土建界活況に鴨綠江採木公司では本年度は原木伐り出し四十五萬尺締（一尺締は一尺角の長さ十二尺）を目標に奧地へ輕鐵敷設など馬力をかけてゐたが、今春來の降雨水害に流筏意の如くならず昨今早くも上流長白地方は氣溫降下作業停止期も近づいたので結局本年度の流筏總量は三十八萬尺締程度と觀測されるに至つた

米價當分は保合

大連米穀同業組合の發表による十五日現在大連市內白米小賣標準値段は左の如くで前旬來保合を續けてゐる、目先觀は新米出廻期に入りながら出廻は順調を缺きつゝあり、既に古米もストックは殆ど皆無の狀態であるから出廻期ながら、當分は、この保合圈內を出でざるものと觀測される十五日現在小賣値段左の如し

無檢查特等（撫順新米）一叺金八圓四〇錢▲同（鐵嶺新米）同八圓二〇錢▲無檢查物同七圓八〇錢

大連商工案內

大連商工會議所の年刊大連商工案內九年度版は漸く刊行の運びに至り十六日一齊に發賣された

正金支店長會議

正金大連支店では十八日より在滿各支店長を招致し定例支店長會議を開いた

黃塵

◇…年久しい大連驛問題だつたがいよ／＼來春から着手して二箇年で完成することになつたことは芽出たい。

◇…山條總裁の一喝がなければ當然日本橋畔に聳え立つてこゝ何年來每日數萬の人を吞吐したであらうが。

◇…同時に大連市西漸の勢ひから取殘され、ぼつ／＼不自由が叫ばれ出す頃であるかも知れぬ。

◇…「急がずば濡れざらましを旅人の後より霽る、野路の村雨」

◇…幾年か不自由な思ひをした驛だから、遲れただけの事があつたと思はせるやうな便利な、いゝ建物を建てゝ欲しいものだ。

市況（十八日）

特產

銀價慘落に大豆昂騰

今朝の定期は大豆は銀價慘落に奧地筋賣も利かず昂騰を辿り、豆粕は銀安を眺め邦商買に昂騰、豆油は南支筋買に昂騰を呈し、高粱は銀安のため强調を告げた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三百七十車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　八千五百箱

▲高粱（强調）單位厘

▲豆油（昂騰）單位錢

出來高　十萬五千枚

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	三五四〇	三五七〇
出來高	二百車	
普通大豆（袋込）（裸物）	三四七〇	三四八〇
出來高	五車	
豆粕	一一八〇	一一八〇
出來高	五萬枚	

豆

けさ大豆は十六日後場の氣配に引續き銀價の慘落を眺め奧地筋賣も利かず七錢乃至八錢方高と昂騰を辿つたが▲銀の慘落程度に比し七、八錢方の昂騰振りではなほ氣配物を思はせるが、銀安に內地側の採算も引合ふべく今後相當買氣强を見せるであらう、當日の出來高は三百七十車と良好を呈す▲豆粕は邦商買に昂騰を告げ、豆油も南支筋買に昂騰、高粱は銀安のため强調▲現物大豆は七錢方高と昂騰を見せ十六日前場に比し十二錢方高である、三井三〇、三菱二〇に油坊筋一五〇と二百車の出來高

銀

休日中上海市場は標金九百七十元臺と奔騰し當市現物氣配は百二十七圓見當を示し▲早くもけさの暴落が豫想されてゐたが果然海外は倫敦銀塊一片安、上海標金九百七十九元五と二十元高を入れ▲鈔票は休日前より五圓方安に寄り安値は更に一圓五十錢安の百二十四圓臺と突込み大波瀾相場を演じたが上海安につくか海外につくかと問題視してゐたが今の處完全に上海についた譯である▲二、三日の內に十圓安は稀有の相場であるが目先下げ一服の模樣であすの海外安で落したところは寧ろ好個の買場とみる向きが多い

株

休日明けの大阪定期は諸株共保合なるも東京短期の新東は二圓方低落▲日產も一圓五、六十錢安と軟弱を入れ當市は五品五十錢安、土木一圓四十錢安と低落した▲機構問題は軍部案通り決定をみたので拓務省及び現地方面に可なり動搖をみるべしと懸念され▲更に北鐵問題も未だ難關ある模樣となつたので株界も警戒人氣になつたらしい▲當分成行きを靜觀して陽發相場を待つ外あるまい

錢鈔

上海標金奔騰

鈔票瓦落

海外市況は當市休日前に比し倫敦銀塊一片安、先物一片安、紐育銀塊八分一高、孟買銀塊十六分一高、米英クロス二仙四分一高、米日爲替二仙安、米支爲替二弗七五仙安、滙申九四圓、滙煙九三圓五〇、大洋九五圓、滙水百十九圓臺より百十六圓二分一、上海標金は二十元方高に寄りアト更に三、四十元高と奔騰を入れ當市鈔票は五、六圓方の慘落を演じた

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高期近二千七百十三萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金百三十四萬圓）（銀對洋三萬六千圓）

株式

新東日產低落

五品軟弱

北濱定期の前場寄は大株二十錢高、大新十錢高、鐘紡四十錢高、鐘新十錢高引は保合、東京短期の新東は二圓搦み安、日產一圓六十錢安、土木を入れ當市の五品五十錢安、新東二圓九十錢安、一圓四十錢安、日產一圓八十錢に引けた

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品　寄	二〇六	二〇八
五品　引中	二〇六	二〇八

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水々	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
電乙	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同二新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇羅取引

代行	二九八	二九五
商取	二〇二	二〇三

◇爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代渡	代引日步
五品	一〇〇	一〇〇	一〇	一、五
新豆	[illegible]	一〇〇	渡一〇	逆一、五
錢鈔	[illegible]	—	渡一〇	逆一、五

市場電報（十八日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊、同先物、紐育銀塊、孟買銀塊、スチール、アナコンダ、英米爲替、米日爲替、米支爲替 [illegible]

神戶日米

第一回、第二回、第三回 [illegible]

棉花

●米棉　現物、十月、十二月、一月、三月、五月、七月 [illegible]

●印棉　ベンゴール、ブローチ [illegible]

大阪株式

銘柄：大株、大新、鐘紡、鐘新、日糖、郵船、滿鐵、滿鐵新、東株、東新（短期）、大新、東新、鐘新、日產、滿鐵新、帝人 [illegible]

東京株式

[illegible]

大阪期米

神戶限米

東京期米

當限、中限、先限 [illegible]

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

印度麻袋

綿筋直積、青筋直積、爲替相場 [illegible]

商品

麻袋崩落

綿糸布釘付

●麻袋　產地休會なるも當市は鈔票の大奔落に買物影を潛め各限五厘方安と低落した

銘柄	約定期	値段	枚數
綫筋	十月限	四〇、五	一〇〇
同	同	四〇、四	一〇〇
同	同	四〇、三	二〇〇
同	十一月限	三九、八	一〇〇
同	同	四〇、〇	二〇〇

出來高　七萬枚

●綿糸　米棉十ポイント高先九高を入れ當市は氣乘薄見送る

●綿布　休會大阪三品は全然釘付商狀

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十二月限	二一、一五	[illegible]

出來高　五十梱

株式出來高（十六日）

電々	[illegible]	無
滿鐵	[illegible]	無
同二新	[illegible]	無
大新	[illegible]	渡一〇逆一、五
東新	[illegible]	無
鐘新	[illegible]	無
日產	[illegible]	無
土木	[illegible]	[illegible]

定期	八〇枚
延	三、二五五枚
羅	三三〇枚
合計	三、六五五枚

手形交換高（十八日）

金　一、三〇三枚　[illegible]
銀　九六九枚　[illegible]

爲替相場

鮮銀

倫敦向電賣（一圓）一志二片、紐育向電賣（金百圓）、同上海電賣（百弗）、同賣（銀百圓）、日本向電賣（同）、同十日拂買（同） [illegible]

奧地相場

錢鈔

金票對奉天票（現物）、國幣對鈔票（現物）（奉天）、國幣對金票（現物）、金票對國幣（先物）、開原國幣對金（現物）、新京國幣對金（現物）、哈爾國幣對金票（現物） [illegible]

發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社　滿洲日報社
代表電話　編輯局・營業局・廣告部・印刷所
支社　東京・大阪・新京・奉天

陸軍當局と連絡して　現地警官の動搖鎭撫
首相、農相と善後策協議

【東京特電十八日發】政府の原案強行一決の公報に關東廳首腦部はもちろん全廳員は辭職を決行する一方、拓務首腦部に於ても田中政務次官、手代木參與官は遂に辭表を提出し、省内にも依然不滿の聲高く、政府が庶幾することさき鎭撫平靜は急速に望み難き有樣であるため、岡田首相は十八日午後零時半後藤内相を招致し善後策を協議、根本對策として〃拓務省ならびに現地關東廳首腦部の辭表提出は單にこれまでの行懸りからの責任感から出發せるものであるから、條理を盡くして慰留すれば翻意するに違ひない〃、〃現地警官の動搖は陸軍當局とも十分連絡をとつて鎭撫する方針で臨む〃の二項を決定、表面樂觀を裝ひつゝも事態の鎭靜策に焦慮してゐる

鎭靜に歸したる場合
責任追究せず大體不問に附す
鎭撫工作と政府の方針

【東京特電十八日發】政府は今回の鎭撫工作を以て現地警官の反對運動は鎭撫し得るものと確信して居るが、鎭靜に歸したる場合には警官の今回の行動は官吏の職分に鑑み妥當を缺いて居るが、これは感情の昂揚して居る際の事であり敢て責任を追究するにも及ぶまいとの見地より大體不問に附し、政府としては飽くまでも鎭撫を第一とし、彈壓は最惡の場合の策となし警官側が政府の親心を無視して依然反對運動を續けるにおいては斷乎たる措置に出て官紀の肅正を計る事になつて居る

辭表受理せず
廳員を新機構に投合せしめる
菱刈長官に激勵訓電

【東京十八日發國通】在滿機構改革原案執行に決定したので拓務省では善後處置につき坪上次官、生駒管理、北島殖產、高山拓務三局長以下首腦部は十七日夜岡田兼攝拓相の訓示後拓相官邸に居殘り二時間に亘り協議した結果

一、當面の問題としては速かに省内を纏め官吏の身分に立ち返つて平靜に歸せしめることに全力を注ぐこと

一、首腦部の責任問題は鎭靜後に考慮すべきである

一、現地の鎭撫については菱刈長官に全力を盡して貰ふ

と云ふことに意見一致したが坪上次官は深く責任を感じてゐるので省内及び現地の鎭靜を待つて辭表を提出するものと見られ尙ほ局長中にも辭表を出すものがあるかも知れぬ、なほ關東廳職員が辭表を取纏める事になつたとの報道に對し拓務省では閣議決定直後兼攝拓相より關東長官に對し新機構に投合努力し廳員を極力慰撫するやうにとの訓電を發してゐるので右辭表は受理せぬ事となつて居り一方菱刈長官をして寧ろ積極的に新機構の圓滑なる運用準備に努力するやう力說激勵せしめる事となつてゐる

各民政署長　慰撫に努力

御影池大連民政署長始め各民政署長は十八日午後三時より會議を開き種々協議の結果各部下の極力慰撫に努め職務に精勵することに決定、午後四時過ぎ散會した

辭表を取纏め　けふ改めて提出
關東廳内の一般職員

豫て上司に提出されてゐた關東廳一般職員の辭表は却下に決定、それ〲本人に返却したが關東廳内各局課代表者は十八日午後三時から會議室に參集鳩首協議の結果、今後一切の外部的運動を停止する事に申合せ更に今回の全般的運動は寧ろ我々下級官吏に出でたものにしてその責任は上司のみの辭職に負はする事はその本意に反すると爲し飽迄一蓮托生の態度を執るに決し辭表は十九日中に改めて取纏め連袂辭職の擧に出づることゝなつた、辭表を提出後上司より何分の沙汰あるまではその職務に精勵することを申合せ右に對し一般市民にその不安誤解を除去するために近く聲明書を發表するに決定午後四時散會した、一方廳内雇傭員等は午後四時から會議室に會し協議の結果判任級の總辭職に連袂して總辭職を決定した

拓務省職員　態度纏らず

【東京特電十八日發】拓務最高幹部並に強硬分子の辭職は、不可避的であるが十八日午前午後に亘り幾組かに局課長等以下分れて進退を協議してゐるが「拓務省は關東廳の監督官廳たる關係上、關東廳とは別個に進退を決すべし」とする論と「關東廳と步調を一にし來つた以上進退も共にすべきだ」との論對立し、大勢既に去つた爲め容易に決定を見さうもない

〃軍との提携を希望〃
關東軍聲明を取止め
西尾參謀長、所信を披瀝す

【新京電話】在滿機構問題は或種の危機を豫想せしめ成行頗る注目されてゐるが十七日の閣議に於て原案通りその可決を見、少くとも同問題に關しては關東軍としての態度は[illegible]の形式により所信貫徹の軌道に乘つた事とて今更豫定されてゐた關東軍としての聲明は最早改めて發表する必要なしとの見解でこれを取止め西尾參謀長談の形で關東軍としての所信を披瀝し軍としてはあくまで縱の統制により對滿國策を强調すべく關東廳側が今日までの經緯に拘泥することなく國策遂行に協力するにおいては双手を擧げて協調の上進む方針であるとして十八日午後三時西尾參謀長は在京記者團に對し左の如く語つた

此度閣議において既定方針に變化なきことを再び確定せられたる以上新たに軍の所信を披瀝することはこの際差控へることゝした、關東廳側としても恐らく閣議決定の精神を理解しこれまでの昂奮からさめて、その運動を停止するに至るものと信じてゐる、萬一依然として妄動を繼續するものがあらばこれは恐らく一部の者の臨時議會を目標とする政治的策動なりと思はざるを得ない、又かう云はれても仕方があるまい、關東廳側が速かに官吏の本分に立ち返り縱の統制を恢復して現狀の收拾に當り速かに今日の狀態から脱却し吾々と手を携へて國策遂行の一途に邁進し非常時日本の直面せる難局の打開に努力することを希望して止まない

米當局の軍縮方針
比率主義を維持
大艦巨砲主義固執

海軍々縮ロンドン豫備會議の再開も近づいたのでアメリカではノーマン・デヴイス代表は更に强硬論の巨頭海軍作戰部長スタンドレー提督を加へて代表部の陣容を整へその傳統的海軍政策の基調である比率主義の維持、大艦巨砲主義を貫徹すべく最大の努力を拂はんとして居る。

而して更に兩代表の渡英決定と共に、豫備會商對策の根本方針の決定が傳へられて居るが、その内容は

一、ワシントン及びロンドン兩條約に規定された日英米三國間の五・五・三の比率は飽迄これを支持する、但し軍備縮小の根本精神に基き最高限度二〇%の海軍力の一律縮減を主張する

二、主力艦に就いては排水量三萬五千噸、備砲口徑十六インチの現狀維持を主張するが、各國の要求を考慮して、三萬二千噸、十四インチまでの低下を承認する用意がある

三、航空母艦及び爆擊機の廢棄は潛水艦の全廢と併せて考慮する

四、巡洋艦に於ては一萬噸八インチ型艦の存續を主張する

といふのである、天引二割問題は日本に取つて艦齡超過艦の點において非常に不利なものであるがこれは全體的の關係に於ては同樣であるから省略して、以下他の諸點に就て檢討する。

×

以上アメリカの根本方針は、ワシントン、ロンドン兩會議を通じて一貫して主張されたところで、特に異つた點を擧げれば航空母艦と潛水艦とを交換的に廢棄しやうといふ點である。この主張を一貫して居る根本方針は比率維持と大艦巨砲主義とで、これはアメリカ現海軍の戰略的の根本要求に出づるものである、卽ち比率主義は對英、對日作戰に於て、また大艦巨砲主義は渡洋作戰に於て何れもその根幹を爲して居るものである。

×

「海軍條約の締結はアメリカ海軍に取つて、各國の援助を得て艦隊法を制定したと同樣の效果を齎した」と海軍當局が快心の叫びを發した通り、現行の比率主義軍縮條約は、アメリカに對して世界最强力の均整艦隊を與へんとして居る。それが完成さるゝのが卽ち一九三九年で、この時においてアメリカの海軍力は實質においてイギリスに對してパリテイ以上の勢力を有するに至り、大西洋にイギリスを押へ、太平洋に日本を壓し得る世界霸權が完成するのである。

また三萬五千噸、十六インチの主力艦は、パナマ運河を通過し得るものとして、アメリカが持ち得る最大限度の大きさである、この主力艦に加ふるに二萬噸級の航空母艦群を中心とし、これに配するに一萬噸八インチ巡洋艦を以つてしたる、所謂輪型陣による渡洋作戰は、太平洋及び大西洋に有力なる根據地を有せざるアメリカ海軍が、十數年の苦心の末に案出した鐵壁の陣容である。

然るにこれに對し、日本は絕對的に比率主義を破棄、總噸數主義を主張し、イギリスは巡洋艦において英米パリテイ反對小艦多數主義を主張せんとして居るのである日米五・三の比率がアメリカが攻勢に於て、日本が守勢に於て案出された一方的に有利なものであることは周知のことで、日本が國防の安全感を基礎とし自主的兵力量の制限を要求するのは當然のことであり、またイギリスは全世界八萬マイルに亘る大通商交通線を確保する最小限度として、小艦多數主義を基礎とし七十隻六十萬噸の巡洋艦を主張するのである。

更に主力艦の大きさに就てイギリスは二萬二千噸十二インチを主張し、日本もジユネーヴ一般軍縮會議に於て二萬五千噸十四インチを主張して居る、これ等に鑑みてアメリカは三萬二千噸十四インチまで讓步しやうといふのであらうが、この點は幾分かは艦型縮小の協定に達し得る餘地ある譯である。巡洋艦に就てはイギリスは嘗つて一萬噸八インチ型の全廢を主張したことがあり、現在でも備砲を六インチに統一せんとの主張を持して居る、日本はジユネーヴ一般軍縮會議に於て、八千噸の八インチを主張したので、この點に於ては日米の立場が共通である、これはアメリカの渡洋作戰に對抗するために日本としても八インチ艦が絕對的に必要であるからである。

なほ航空母艦と潛水艦の問題はアメリカが從來の强硬なる主張を變じて航空母艦の廢棄に贊成するのは不可解なことであるが、これは假りに日本の潛水艦の絕對的必要論に對抗する爲めであるとしても、日本としては、攻擊的武器の廢棄、守勢的武器の保存を主張して居るのであるから、航空母艦は前者であり、潛水艦は後者である以上、これを二者交換の立場においての廢棄に贊成し得ないことは明らかである、この點においては英佛伊等の立場も同樣である。

寫眞上はデヴイス氏、下はスタンドレー氏（東京一記者）

點心
濶達無碍に……　處世說教
大谷光瑞師

◇…京都の三夜莊、六甲の二樂莊、上海、シンガポールの無憂園と一族郞黨を引き具して東洋各地に大掛りの股旅をつゞけてゐた一代の傑僧、大谷光瑞師は最後の根城として周水子の丘上に浴日莊を築き、その三階に高臥して東亞の大策を練ることになつた。

◇…その昔の生佛樣、氣宇濶達豪快で法燈ほの暗きところに安住することを得ず、放浪多年、鬢髮霜に摧けてよいおぢいさんに成つたが、心は相變らず壯大なるもので浴日莊の開園式には大連の知名士や善男善女千餘名を招待して臨時列車を出させ手製の料理とお土產で大盤振舞をした

◇…その道口は太閤樣の大茶會にも似て氣の小さい者には想像もつかぬところで光瑞未だ老ずと感ぜしめた。

◇…殊に長廣舌三十分、その間林、八田滿鐵正副總裁以下、旅大の知名士を悉く善男善女と一緒に廣場に立たせ、世は非常時である、非常時には國民は緊張せにやならぬ、緊張するとは各自その業務に專念することで、滿鐵總裁は總裁の仕事に、百姓は百姓の仕事に……とつゞけ〲說教する有樣。

◇…「滿洲の邦人農家は農產加工に力を入れねばならぬそれ故この大谷は牛を飼つて屠殺し、肉屋を始める、坊主の癖に生物を殺すとは何事だなどゝ攻擊する奴が居るが一向かまはん」……と無遠慮に云ひ切るところ、四方八方に氣兼氣苦勞せねばならぬこの頃の時勢には、とにかく桁外れの大きな存在である。

大場警務局長の留任方を具陳

十八日午前八時から緊急全署員會議を開催した旅順警察署員はいづれも閣議決定されたりと雖も之れが法令の發布、實施迄には尚幾多の徑路あればそれ迄は既定の所信に向つて一段の猛進を敢行する事を申し合せ午後一時一先散會したが、同二時半警部一、警部補二、巡査二名は全署員の總意として關東廳に大場局長を訪問の上吾人の目的が不幸慘敗せるは誠に遺憾にてこの間局長の御心勞は大いに感謝する處なるも、傳ふる處に依れば昨夜辭表を提出されたる由、若し事實とすれば早計の嫌ひあり閣議決定案に依る實施期迄はなほ幾多の徑路あるを以て所期の如く一蓮托生最後迄目的貫徹に向はれ度いと具陳する處があつた

けふ巡査代表大會
進退問題中心に協議

關東州内十警察署及び消防署が署長以下全署員一蓮托生總辭職を決行するに十八日態度を表明したことは州外警察署に反映し事態深刻化の形勢にあるが十七日深更巡査統制委員會本部より〃署員の總意を纏めよ〃との指令を受けた廳下各警察署では十八日中それぞれ署員大會を開き進退問題を決定、豫定の如く十九日午前九時から大連署講堂に於て開會される重要會議に各署代表を送る旨廳下各署より續々統制本部に通報し來りつゝある、而して十九日の廳下巡査代表大會では進退問題を中心に協議される筈である、更に當日大會で注目されるものは巡査層總辭職の潮時であつて、目下統制委員會本部及び各署内に漲る空氣は急進論と靜觀論の二つに劃然と分れてゐる卽ち急進派の意見は

國家を思ふの正義的立場から文治行政の確立を叫び一ケ月餘に亘り必死の運動を續けて來たが遂に軍の强硬意見により吾等の主義は全く葬られた、これ以上現狀に止まることは男子の本懷にあらず、一刻も早く現職を去り、認識不足な政府に對し治政上の責任を負はすべきである

といふにあり一方靜觀派では

假令主義は葬られたといへ職務放棄の手段によつて現職を去ることは官吏の本分でない、吾々はどこまでも自重的態度を執り聽許を待つておもむろに出處進退を決すべきである

といふにある、右の如き急進論は主として巡査層を支配しつゝあり靜觀論は署長級を始め警部警部補級に多數を占めてゐるが十九日の代表大會ではこれを中心に相當激論が戰はされるものと見られ、これが成行き如何は各方面に影響するところ甚大で注目の焦點となつてゐる

最後決定迄　運動繼續
警官代表語る

【東京特電十八日發】關東廳警官代表は十八日午前十時關東廳出張所に集合、現地と聯絡の結果今後約三週間滯在し、合法的運動を續け、樞密院、貴族院、衆議院方面に對し、現地事情を報告陳情することに決定、一行は午後一時警視廳を訪問藤沼總監と會見したが、更に岡田首相に對し、政府案閣議決定の精神を直接聞き度いと申込み、快諾を得午後三時官邸で會見した代表は福間警部を通じ語る

我々は警官だから、官紀を重んじ立憲合法的な態度をとつて來てをり、方針通り最後の決定まで運動を續ける、先づ議會に反映せしめて輿論に訴へる積りだ、その爲め代議士の有志に會見する、また樞密院、貴族院の方面にも色々實情を述べる積りだ、改革案を覆す事は第二として、中央並に國民に我々の主張を反映せしめる方針をとりたい

運動打切を指令

巡査統制委員會本部では十七日閣議決定を以て〃戰ひ終れり〃とし總辭職の意肚を固むるに至つたので十八日附を以て外部的の運動を一先づ打ち切ることゝなり上京代表に對しては十九日全滿巡查代表者大會に諮つた結果歸國命令を發することゝなつた

運動打切を極力勸告
藤井遞信局長

關東廳部局長會議より歸任した遞信局近藤經理課長以下各課長は十八日午後四時頃より局長應接室に集合、一方遞信同志會幹部はその隣室に參集、關東廳本部の運動打切り決定に就き遞信局の態度に關し協議に入つたが、これより先新京で開催の電氣委員會出席のため赴京中十八日午後四時過ぎ空路周水子着、急遽歸任した藤井遞信局長も直に協議に加はり深更まで局内に重苦しい雰圍氣に包まれてゐたが、藤井局長は極力關東廳首腦部の意向に添ふやう慰撫に努めた模樣である、なほ藤井局長は十九日午前中關東廳側と打合せのため旅順に向ふ筈

政民兩黨提携して　機構問題論議
臨時議會の波瀾豫想

【東京十八日發國通】在滿機構問題は原案を强行するに決定したに對し政民兩黨の間には政府が今日まで事態を紛糾せしむるに至つたのは現政府が憲政常道に基かざる變態内閣であるに由來するのであるとし之を頗る重大視してゐる、從つて政民兩黨は從來の行き掛りを一擲して憲政常道復歸のため相提携すべしとの聲漸く昂まつて來た殊に民政黨員各個の間には今回の問題に對する政府の態度に不滿を抱くもの尠くないので、來るべき臨時議會に於ては當然同問題は論議の中心となるべく、質問その他に於て兩黨が一致結束的態度を執る可能性は次第に濃厚化しつゝあり、現地情勢の進展如何と相俟つて政民兩黨は愈々接近して行くことは必至と見られる、兩黨が協同して政府案反對乃至修正の擧に出でないとも斷じ難いので、臨時議會に於ては幾多の波瀾を捲き起すべくその成行頗る注目されてゐる

九觀・小觀

責任政治は此の數年來實質的にその影を潛めた觀がある▲責任の歸趨瞭かならぬ政治ほど一般に不安を與へるものはない▲今回の機構問題の紛擾にしても關東廳職員側は進退を賭してゐるのであるから、問題解決の上は當然官吏としての責任を負ふに逡巡しないであらう▲しかも事態を茲に至らしめた政府は果して如何に責任を負ふか▲或る時は徐ろに靜觀と稱して何等手を下さなかつた政府であり、又急遽閣議で再討議した政府である▲政府は頻に關東廳職員の言動を官規紊亂といふが、事を茲に至らしめた拓相として責任は何とする▲これでは責任政治の實が擧がるわけもなく、政府の威信を自ら疾呼しても何の權威もない▲責任を謙讓する政治と風潮の滔々たるを悲しむ

人事

▲林博太郎伯（滿鐵總裁）十八日午後四時二十分發列車にて新京へ
▲西脇豐造氏（滿鐵秘書役）同上
▲伍堂卓雄氏（昭和製鋼所社長）同上歸任
▲岡村金藏氏（滿鐵計畫部審查役）同上北行
▲古泉光男氏（滿電取締役技師長）同上
▲實性確成氏（大連新聞社長）同上新京へ
▲米野豐實氏（本社編輯局長）同上二十二日頃歸連の豫定
▲平尾贊平氏（レート化粧料會社長）同上
▲春日弘氏（住友伸銅會社常務取締役）十八日午前九時發はとにて北行
▲阪本一郎氏（賞美堂主）十八日午後六時飛行機にて來連ヤマトホテルへ投宿
▲後藤英橘氏（長崎地方裁判所判事）十八日午後入港長平丸にて來連
▲長谷川松太郎氏（同）同上
▲久次米三夫氏（北海道帝大教授）同上

鄕軍大連分會
機構問題で決議

在鄕軍人大連聯合分會は十八日午後五時より佐渡町本部で定例評議會を開催したが席上期せずして紛糾せる機構問題に關する意見が出たので評議會後有志大會に變更熟議の結果、關東廳内に奉職する數千の在鄕戰友を善處せしむるため次の檄を決議し廳内戰友に示達することゝし十一時散會した

在滿機構問題は最早其の到達すべき所に達したるものと思考す然れども熱誠の餘り憤懣禁じ難きざるものあるを察す、吾等は敬愛する渦中の在鄕軍人に對しては最早座視するに忍びず、莞爾として舊態に復せしむるには如何にして戰友に盡し如何にして國策に順應すべきや、思ふに皇國は今や未曾有の危局に直面し國運の消長は方に懸りて此の一機にある思ひ大勢に順應し國家百年の大計の爲め小異を捨て大同に殉するの襟度を保ち刻下の危局に對し莞爾として新機構に善處せられんことを、吾等赤心を披瀝して切望す、右帝國在鄕軍人會大連市聯合分會有志大會の決議を以て檄す

社說

在滿機構案の決定
警察非憲兵化聲明の重要性

在滿機構改革問題は十七日の閣議にて九月十四日の決定案通り執行することになつた。曩に此案には陸軍案、外務省案、拓務省案の三案あつたが、決定案は大體陸軍案であつた。その大本は三位一體を二位一體となし關東長官を廢するにある。その結果拓務省の滿洲に於ける職務は殆んど全部全權大使に移り、全權大使は內閣總理大臣の監督下にある。當時此案の反對意見もあつたが、閣議の決定によりてその大部分は終熄した。然るにその運用法の一部に關し、滿洲に於ける日本側警察諸機關を關東軍憲兵司令官に於て統一指揮する途を拓く事について、警務部長を憲兵司令官に兼任せしめる事が大問題となつた。之れが現地關東廳員殊に警官全部の反對となり、拓務省內にまで波及し、爲めに甲論乙駁の狀態となり、一ケ月の紛糾を重ね、中央並に現地に可なり險惡な空氣を漲らすに至つた。

◇

十七日閣議の決定は卽ち此の警務部長憲兵司令官兼任案が決定されたので、之れによりて在滿機構改革の實施に進展する段取りとなつた。此兼任の適否に關しては、既に各方面において論究發表され、兩說共に明示されてある。大體において兼任說は、滿洲の實情が憲警の命令系統を一元化する必要があるといふにあり、否定說は憲兵と警察とはその本來の職分を異にすべく、之れを混淆するは不可なりといふに歸する。更に實際論になりては一方にては警察と憲兵と統一がなくては種々の不都合を生ずと主張され、他方にては憲兵が警察に關與しては、民權の保護に不安を生ずと主張される。

◇

警察の憲兵化といふことは、今次反對說の理論的中心を爲すもので、一般邦人にも此點に不安の念を有する者がある。併しながら陸軍側にては屢々此點に說明を加へ、決して警察の憲兵化を企圖するものでないと辯明してゐる。十七日內閣書記官長の名を以てせる內閣の聲明にも警察機關を憲兵化するものではない、此點につき誤解なり不安なりを持つは無用であると說き、又林陸相の談として傳へられる所でも此の點を辯明してゐる。それによると、關東廳警務局の中、警務課は警察官の人事を取扱ふなどの關係から最も重要な課であるが、此處には一人の憲兵も入れない。官制が出來た上、人の配置なども決定すれば、自然に不安は消滅するであらうと說いてゐる。又、現地警官の反對は文治制度の確立を期し改革案を以て軍部獨裁と見る所からも來てゐるが、陸軍は決して文治に反對するものではないとも說いてゐる。隨つて今後憲兵の態度は一層愼重であらねばならぬとも誡告してゐる。

◇

此問題には、關東廳はもとより拓務省內の大部分に反對氣勢が頗る強い。此の決定によりて或は更に激化すべく、政府及び陸軍は更に警察非憲兵化を力說し、其他あらゆる方法を以つて鎭撫策を執るであらう。何しろ機構改革案の一部分の爲めに久しく內部の不統一を暴露するは政府の苦痛と爲す所に相違ない。臨時議會に豫算案が提出され、官制は樞府の御諮詢を待つといふから、その後でなくては確定とは云ひ難いが、恐らく政府としては萬難を排して原案施行に進む決心と見られる。而してその際に於て最も戒心すべきは警察非憲兵化の聲明を裏切らぬことである。憲警の命令系統を統制するも、警察の精神をすこしも紊さぬ事、陸相談の如くにあらんことである。

聲明發表に發端し滿鐵社員會に內訌
大連派と奧地派に意見對立
役員總辭職決行か

三萬社員を以て結成される滿鐵社員會は昨年滿鐵改組問題を提げて立ちたるを始め、現在に至るまで終始果敢合理的運動を以て滿鐵會社內外の改善に邁進して來たが本月十三日に開催された第十二回評議員會に幹事會より提案された在滿機構問題に關する聲明書發表に端を發し遂に大連本社派と奉天聯合會派との間に內訌を生じこれが爲め社員會北條庶務部長は十六日辭意を表明し、中島幹事長も引責辭意を洩らすに至り滿洲最大の團體たる社員會も重大なる危機に直面するに至つた

社員會內訌 の直接動因は十三日の評議員會に於いて、在滿行政機構問題に就き滿鐵社員會としての態度決定の件を幹事會提案として討議するに際して遂に保留の運命に陷つた幹事會作成の聲明書草案が社會に發表されるに至つたため奉天聯合會より當面の責任者たる北條庶務部長を問責したことにあるが當日の評議員會において秘密會として討議された機構問題は幹事會提出の聲明書趣旨に對して奉天聯合會はじめ沿線各聯合會の反對意見續出し甲論乙駁つひに議纏らず社員會として何等

態度を表明 せずして終つたもので社員會大連派と奉天派を中心とした奧地派との意見の對立は玆において萌芽をみせたものでなく昨年來懸案となつてゐた滿洲事變記念會館の設立も大連派の大連設置說に對して奉天聯合會は奉天設置說を強調しつひに兩地に分置することゝなつたが是に限らず幹事會の提案は事毎に反對されてゐた、この內訌の根本的動機は總局の滿鐵鐵道部に對する感情から誘發されたものと見られて居る

のて社員會役員は今回の聲明書事件を機會に

總辭職して 社員會機構の對策を講ずべく取り敢ず十六日の臨時役員會においては北條庶務部長の辭表は保留したが今後の社員會動向は注目されてゐる

中島幹事長談 北條庶務部長の辭表は今保留してあるが幹事長としての自分の進退に就いては今考慮中である然し徒らに內訌することは社員會自體の發展のために憂ふべきことで社員會圓滑のため善處したいと思ふ

滿鐵社債計畫の支障說はデマ
條件がよければ十一月頃募集
大淵滿鐵理事語る

在滿機構改革問題に關聯して內地財界の滿鐵に對する危惧に因り東京の二、三の新聞に滿鐵株價の暴落、社債計畫の支障等が誇大に報道されてゐるが豫算會議出席のため目下

滯連中の 大淵理事はこれを否定して語る

滿鐵が八月以來、社債を募集しないので東京でいろ〳〵のデマが飛んで滿鐵が社債募集に非常な困難な境地に在るやうに取沙汰されてゐるやうだが全然そんなことはない、滿鐵が社債募集を控へてゐるのは當分の必要に應ずるだけの手持資金を持つてゐるのと九月は財界が變態的に資金梗塞を呈した爲である、昨年の九月中に發行された公、社、市債は四億二千萬圓に達したが本年の九月はその三分の一に足りない一億二千萬圓に過ぎなかつた程金融が梗塞してゐたのでそんな

惡い時期 に強ひて滿鐵が社債を起す必要が無かつたから控へたゞけのことである、しかし滿鐵はどうせ資金が要るのだから私が東京に歸つて模樣を見てから條件がよければ十一月頃に三、四千萬圓募集するかも知れぬが條件を崩すやうなことは斷じてしない、來年の二月頃は金融狀態もよくなるだらうから、それまで待つてもよい譯だ、株は我々はもつと上つてよいとも思つてゐるがこれも一般的に株が頭が重いからで獨り滿鐵だけのことではない、兎に角在滿機構問題で滿鐵が

惡影響を 受けてゐるといふ現象は社債、株兩方面からとも認められない、しかし內地財界が機構問題に關聯して滿鐵に對しても警戒的關心を持つてゐることは事實だが對滿經營た滿鐵を通じて民間資金に依賴してゐる今日資金の流入に支障を來すやうなことがあつては大變だし

國防の本義と其強化の提唱（九）

國防國策の强化
（陸軍省パンフレット全文）

其三　國防と思想

思想戰が國防上如何に重要なる役割を演ずべきかは既に述べた通りである、而して之が基礎たるべきものは、人的要素卽ち精神力體力の充實である、之が爲め學校及社會教育に於て、其の陶冶を行ふと共に、一方社會上の缺陷是正、經濟組織の整調と相俟つて、國民生活の安定、農村更生救濟等を圖り民力の培養を策することが必要である、國防上の見地より思想戰對策として考慮すべき要件を擧げれば左の如くである

一、國民教化の振興

1 肇國の理想、皇國の使命に關する深き認識と確乎たる信念とを把持せしめ、皇國內外に瀰漫せる不穩、過激なる如何なる思想に對して、寸毫も動搖することなき堅確なる國家觀念と道義觀念とを確立せしむること

2 國家及全體の爲め、自己滅却の崇高なる犧牲的精神を涵養し國家を無視し、國家の必要とする統制を忌避し、國家の利益に反する如き行動に出でんとする極端なる國際主義、利己主義、個人主義的思想を芟除すること

3 質實剛健の氣風を養成し、頽廢的氣分を一掃すること

4 世界の現狀、國際情勢に通曉し、日本の世界的地位を十分認識せしむること

5 民族特有の文化を顯揚し、泰西文物の無批判的吸收を防止すること

6 智育偏重の教育を改め訓育を重視し且つ實務的、實際的教育を主とすること

7 國民體育の向上を圖ること

二、思想戰體系の整備

思想、宣傳戰の中樞機關として宣傳省又は情報局の如き國家機關が平時より必要なることは縷說するまでもない、此種機關の實例を見るに世界大戰に於ては、相當大規模な工作を以て、所謂プロパガンダ（宣傳）の名に於て、一戰爭手段たる思想戰が…

任務は直接連絡
〝軍縮會議には無關係〟
吉田遣外大使着奉

【奉天電話】海軍々縮會議に在外公館との完全な連絡を…重要使命を帶びて赴任の途…吉田茂氏は北川事務官を…日午後二時の安奉線で來奉…には蜂谷總領事を始め各…川警察署長、野口民會長…議會頭その他多數の出迎…ヤマトホテルに入つたが…

ソ聯南諸邦
獨立機運

【ハルビン十七日發國通】モスクワより來哈したイ…院議員ベルナルド・パル…

關稅引上げに米政府注意喚起
國際通商の阻害と

【ワシントン十七日發國通】…政府は互惠主義に基き…折衝を續け新通商協定の…めてゐるが、最近ドイツ…酷な輸入制限政策を執り…政府との最惠國條款を…ンス政府も亦關稅を引上…國政府の意圖を無視した…てゐるためハル國務長官…日抗議的聲明を發表、之…

郵便切手と葉書改正
滿洲國政府が

滿洲國陸軍服制中改正

電々會社の十年度豫算

自由港疑義
八面鋒

…私の言ふことが正か否か、一般の判斷を仰ぐと同時に國權侵害のやうな滿洲國の淺收に對し如何なる御意見なるや敢て關東廳のお考へを伺ひたい。

◇聞く處によれば支那に對するかうした荷物を發見密告するとに鵜の目鷹の目の人が乎頭に濘四割の報酬を稅關から得る爲め山ゐるとの事であるが、滿洲國はかうした事を正義と思考さるゝや、これに對して稅關長の御意見も拜聽したいものである。（老生）

市況後場（十八日）

株式

新東日逢硬り　新東日産反撥を入れ當市の五品四十錢高、土木五十錢高、新東一圓十錢高、日產一圓六十錢高と引締る

特産

諸品保合　後場の定期は大豆は氣迷ひ閑散乍ら邦商買の奧地筋賣りに區々保合を辿り豆粕は保合、豆油は南支筋買ひに強保合を呈し高粱は閑散區々保合に大引

錢鈔

商品

麻袋保合

市場電報

株式（大阪）（東京）　期米　大阪綿糸（單位十錢）　橫濱生糸（單位十錢）　大豆現物　神戶特產先物

近畿風水害義捐者芳名

川越總領事

御巡狩の意義
山川神祇を祀り 民に政事を聞く

【奉天】皇帝陛下には十九日より奉天吉林に御巡狩の旨仰せ出されたが、今巡狩の意義を古典に見るに

巡狩の意義 皇帝がその領土内を巡視して地方官の政治の良否を見、民情、風俗を視察して施政の參考にしその山川神祇を祀つて民心の向ふところを知らしめらるゝ爲であつて巡狩に關する限りの記載は禮記の

禮記 舜典にある巡狩 舜典にあるところの舜の巡狩の記事が唯一の根據となつてゐる
◀舜の時代には五年に一度巡狩し周の時代には十二年に一度巡狩した事になつてゐる
◀孟子の梁の惠王篇の下に「晏子對へて曰く善い哉問也天子諸侯に適くを巡狩といふ、巡狩とは守る所を巡る也諸侯天子に朝するを述職といふ。述職とは職とする所を述ぶる也」とあるので巡狩の意義は一目瞭然である

の記事＝歳の二月東に巡狩し岱宗に至りて柴し山川を望秩す肆に東后を覲る。時月を協へ日を正し律度量衡を同じうす五禮を修め五玉三帛二生一死を贄とす五器を如しうす卒りて乃ち復る五月南に巡狩して南岳に至り岱の禮の如くす八月西に巡狩して西岳に至り初めの如くす十有一月朔に巡狩して北岳に至り西の禮の如くす

昔は曆の及ぶ範圍をその國の勢力の及ぶところと見て居たので曆を非常に重要視したので先づ曆を正して中央のものと同じきか否かを見、律と度量衡を格一にする律と度量衡を並べ書いたのは昔は十二律の樂器の長さ大

◇……◇

その意は舜が四年目に一廻り巡狩するその最初の年の二月に先づ最もその當時の文化の中心に近かつた東の方即ち山東省方面に巡狩してその地方の政治を視察し民情を見て五岳の内最も位の高い泰山に行き壇を築き上に柴及牲を置いて之を燔いて天帝を祀り(禮記郊特牲に天子四方に適く時は先づ柴するとある)

それからその地方の山川を位の高下に從つて望み祭り、東方地方の諸侯を泰山の下に集めて引見の禮を行つたのである

きさが度量衡の基礎になつたからである。人民の風俗禮儀を正しくするために吉凶、軍、賓、嘉を修めて政を正しくした昔は政禮が殆ど一致して、政即ち禮であつたのである

此の謁見の時には公、侯、伯子、男の等級に應じて瑞玉を献納し諸侯の世子等は纁、玄黄の三色の束帛を卿よりは羔を大夫からは雁を献納するのが禮であつた、そして最後に吉、凶、軍、賓、嘉の五禮をかふに用ふる禮器を調査して京へ歸還した、交通不便な時代であつたから四六を巡狩する譯には行かないので一年一度として二年目の五月に南の方、安徽省潛山縣の霍山に、三年目の八月には西の方陝西省華陰縣の華山に、四年目の十一月には直隷省曲陽縣恒山にといふ規定になつてゐたのである

密輸鹽が横行して 鹽棧の倒産續出
官鹽普及に當局全力を盡すも 今年輸送は百分の一

【安東】必需品中の第一位を占むる鹽は滿洲に於ては官營にも拘らず盛んに私鹽横行し、特に安東及び東邊道地帶は朝鮮と境を接する關係から密輸鹽多く、鹽棧は勿論最大鹽産地たる莊河鹽業者は私鹽に押されて

生産能力 の停止を行ふ外鹽産に至るもの續出の事態を生むに至つた、王道の光は茲にも照らればならずこれ等業者を救ふ一方東邊道鹽棧を救ふ意味からも官鹽の普遍を極力はかり、安東輯私局においては鹽の輸送に大犠牲を拂ひ結氷までに鴨江路を利用しての奥地送鹽に着々成功しつゝある

元來東邊道一ケ年需要鹽量は約二千二百萬斤と見られて居るが密輸鹽其他横行のため官鹽は非常な壓迫を受けて居るが、前述の業者を救濟する上からも又税收入を揚げる上からも官鹽の壓倒的支配を必要とし

五百萬斤 生産能力を有する莊河鹽業を呑吐すべく輯私局は密輸密賣取締その他に對する活動を開始し既に奥地發送鹽は左の數に昇つて居る(單位斤)

臨江	八、一七五、三〇
輯安	三、九八六、五〇
外岔溝	三、二四五、三〇
小蒲石河	八八四、〇〇
計	一六、二九一、一〇

發送が豫定より遅れたためなほ結氷期までに發送を要するものが左の如く存在して居り其の決行が急がれて居る、即ち(單位斤)

長甸河	五、七二〇、〇〇
寛甸	五、一一六、〇〇
小蒲石河	一〇、一〇〇、〇〇
安東	
計	二〇、九三六、〇〇

斯くて本年は官鹽東邊道總需要量二千二百萬斤の極く一部分にしか當らない總計三萬七千二百二十七

私鹽取締

奉天警察優勝
個人は眞邊(奉警)が獲得
第五回州外柔道爭覇

【奉天】第五回州外柔道優勝旗爭奪戰は十七日午前九時から奉天道場において擧行されたが、參加團體は新京、奉警、奉天道場、撫順道場、遼陽、醫大、遼陽の七チームで觀衆多數會場に詰めかけ緊張し肉塊相搏つ白熱戰を演じ結局撫順、奉警の決勝戰となり息詰る大接戰を續けたが、奉警軍の奮鬪は

昨年の優勝チーム撫順軍を破つて優勝、續いて個人決勝が行はれ榮ある優勝旗は奉警チームに授與され、午後三時盛大裡に閉會したその成績左の如し(〇印勝、×印分け)

第一回戰

捕はれた大平好

御巡狩記念に スタンプ

精神作興週間を迎へ 四萬社員の決意も新

集家法を恐れ 農民は山東へ
止むを得ぬ討匪工作

高隆周ら五名 歸順を許さる

爆撃機の命中率 百パーセント
撫順防空演習第一日

寫眞說明 (上)爆撃を了へて炭礦クラブ上空を旋回する輕爆機 (下)高射砲操作の實況

鞍山軍優勝す
盛會を極めた南部野球

金州秋季競馬
四日目の成績

旅順郷軍射撃

凌源民會議員 補缺選擧結果

占東邊の部下

加茂小學生が 銀紙を寄附

旅大聯合武道
工大の主催で

木材運賃割 協會が請願

鳳凰神社秋祭

家庭

滿洲の紅葉狩

今年はことの外うるはしい

見頃は今度の日曜から月末
名所ところぐ

秋の夕陽に全山紅に燃ゆるといふ紅葉ぶりは滿洲では見られませんが、しかし深み行く秋に四圍の趣が異なり、ゴツゴツした岩の間にポツリポツリと紅や黄や褐色の木や草や蔓草類が點在し、これを四周の風景と併せ澄み渡つた滿洲晴れの空の下に眺める時、はじめて紅葉の美しさがあるのです。でこの滿洲の秋を彩る植物のうちで一番赤くなるのは、ツタ、アメリカヅタ、クヅ、ブダウ、アツバノブダウの蔓草類、木では數は少いがニシキギ、ヌルデ類など燃えるやうな透明な紅葉になります。モミヂやサクラも赤くなりますが、これは幾分黒ずんで透明美がなく、梨は紫味を帯びた紅さで遠くから見ると寧ろ黒く見えます。黄色くなるものではイヌゴシヨ、テフセンコブニレなど見上る岩山の頂きに繪具で塗つたやうに鮮かですし平地ではシンジユ、ポプラの黄が美しくわけてもポプラの黄葉に秋風のわたるのなど滿洲ならではの景色です。

山々もポツ／＼黄に紅に美しい秋の衣をつけ初めました。滿洲の紅葉の名所や紅葉する植物に就て大連第一中學校の小林勝先生にうかゞひませう。

およそ 木の葉がよく紅葉する爲には（一）徐々に相當の寒さが來る事（二）晝と夜との寒氣の差がひどくないこと（三）晴れ渡つて日光の直射充分であること の三件に恵まれなければなりませんから寒帶、暖帶ともに紅葉には不適で、温帶でも以上の條件に適する一部の地方だけしか紅葉は見られません。ですから滿洲でも寒氣の急激に來る北滿では紅葉といふほどのものはなく、南滿でも空氣中に水蒸氣の多い（水蒸氣の爲に晝と夜の氣温の差が著るしく緩和されるから）南面の地方に美しい紅葉が見られるのです。わけても見事なのは南方の開けた谷間の南の斜面を持つた場所で、谷には川があるか池があるといつた所即ち川や池から蒸發する水蒸氣が周圍の山に堰きへられて谷間に籠るやうな場所が理想的です。先づ

關東州 内でいへば大和尚山に屬する響水寺、勝水寺附近の谷、旅順附近の老鐵山の谷合（柳樹子から入つて行く）大連近郊の凌水寺など名だたる紅葉の名所で、旅大道路附近にも龍王塘など、はじめ名も知られない勝地が到るところにあります。

安奉線 では鳳凰山の紅葉を第一にそれから高麗門附近へかけて、或は連山關、五龍背、橋頭附近もよく安東を中心として鴨緑江近傍の谷合も繁茂した木々の間、紅葉黄葉とりどりに誠に錦繍の秋です。千山の紅葉も名がありますが、カシワやナラの紅葉で褐色のやゝ冴えた程度であまり感心しません。しかし何れにしろ

滿洲の 紅葉は内地の鹽原や日光などの紅葉とは全然その

今年は 夏から初秋にかけて割合に雨が多かつた爲めに、何處の谷間も水蒸氣に富んでをり氣候も南滿地方ではごく順調に徐々に寒氣を加へつつありますので紅葉も例年にない鮮かさを見せてゐます、所によつてはもうポツポツ見頃で、今度の日曜あたりから月末にかけては定めし紅葉狩りに何處も賑ふことでせう。

寫眞説明
（上）高麗門の城跡
（下）金州響水寺の樓門

羽衣高女バザー

大連羽衣高女では來る二十七、八の兩日、全校生徒の製作品を陳列してバザーを開催しますが、市内一流諸商店からも種々の賛助出品があり、其他各種の餘興や食堂の設備もあり一般市民の來會を歡迎するさうです

奥様の手帳

古ソフトの利用

かぶり古したフエルト帽子は、椅子やテーブルの脚の裏への大きさに切つてピタリと張りつけて置いて御覧なさい。それらの家具を動かす際、音も立たず、疊や床に傷を付ける事も無くて大變重寶です。

貴女の體の魅力

肩のない方、胸やお腹の貧弱な方
斯うして取り返せ

◆…**昔から** 「目は口ほどに」といふやうに、目や唇の動かし方やメーキヤップには腐心するのは別に不思議ありませんけれど、きものを召す婦人方には日本のきものに合つた體全體の魅力といつたものも忘れてはなりません。若しきものを召す婦人の體が痩せこけてゴツゴツして、胸元が貧弱でおなかがペツコリしてゐたら、どうして婦人らしいふくよかな

◆…**優美な** 線が出ませう。婦人の體の魅力は、肩のあたりがフツクリと胸に豊な乳房の隆起があり、帯の下、おはしよりのあたりから健康なおなかのふくらみがあつてこそです。ですからあんまり肩のゴツゴツした方、胸元のペコンとした方、おなかが板のやうにペツタリした方はその部分を眞綿でふくらませることです。普通の眞綿では身につけにくくもありませうから、やはらかい紅絹で胴着のやうなものを御自分の身に合はせて作り、この

◆…**胴着に** くぼんだところは特に澤山眞綿を入れてとぢつけますと全體がふつくらと圓味を帯びて魅力を増し、一方防寒用にもなります。なほ乳房の垂れた婦人方は、この胴着と共に乳バンドを用ひて胸の形をとゝのへることが大切です。（内田秀子氏談）

近視を治すのは

▼…八歳から十歳まで…▲

▼…米國外科醫學校のハヴアード・ジヤクソン博士の説によれば今日眼疾の中で最も多い近視眼は、八歳から十歳の間に注意して必要な治療を施せば確實になくなるとのことですが、博士は

▼…「子供の視力は八歳乃至十歳或る場合は十三歳迄は完全に發達しない。然しこの未完成の時代には最も注意が必要なのである。生れつき近視といふ人は五百人に一人とはないものである。大抵の近視は子供が小學校へ行く頃から始まるのである。

▼…教師や兩親が注意すべきことは、書物に限らず物は凡て兩眼から相當の距離を置いて見させる習慣をつけることであつて、この手段は近視度の強くなるのを防止する一般的な方法であつて、この時期に近視にならなければ一生涯この病氣から救はれるのである。その代り反對の場合は近視はますます度が強まり遂には盲目になる慎れがある。

▼…寝床で讀書するのは眼が普通で、健康體の人には光線と地位さへ正しければ差支へないが、近視が直りかけの場合には絶對に不可ない。」

お召物

染めに出す時の心掛けは斯う

柄行が時代後れになつたり色のさめたりしたものは、そのまゝ捨てゝしまはずとも染物屋に頼んで染直してもらへば又再び新しく着られますが、滿洲ではわざわざ京都あたりまで染めに出す場合が多い爲に染賃も餘り安くありません。ですから染に出す場合は、果してそれだけの染賃をかけて染め直す價値があるかどうか、充分考へて見なければなりません

▼…**第一に** その品物をよく調べること、いくら柄行が時代後れでも、色がやけてゐても、生地さへ丈夫なら問題ありませんが若し地質が弱つてゐたり、疵があつたりしたら折角お金をかけても何にもなりません。それも單に色揚げをするとか、淡色のものを濃色に染かへるとかいふのなら大して地をいためることもありませんけれど、若し昔流行つたやうな濃い柄行のもの、今流行の淡い色合に染替へやうといふやうな場合は一旦抜染して殆ど白無地に近くしてから更に新しい柄に染めるのですから、抜染の爲にひどく地がいためられて薄い生地などペラペラになつてしまひます

▼…**だから** 何遍も染替へて着やうと思ふ場合は、なるべく丈夫な生地を選み、最初はなるべく淡色にして漸次同系統の濃色に變へて行くのが一番無難で、黒地に染めるのは最後のことです。一般に淡色は濃色より日やけが目立ち、淡色のうちでも藤系などは特に日やけが甚だしいものですからこの點も染める前に一考を要しませう。如何にスピード時代とはいへ、わざわざ京都まで出し、染めるのにも相當の日數を要するのですから、餘り染めを急がせ過ぎては好結果は望まれません、必ず時日に相當の餘裕を置くことです。見本の色ははつきり選定すること、假令優秀な染物屋が染め上げた品でも、色の點で案外氣にいらぬ事があり勝ちです。なほ

▼…**古物を** 染直さうといふ場合はなかなか新染の見本みたいに鮮明には行きかねますから、餘り微細な點にまで苦情をいふのはやめませう。（師岡登一郎氏談）

學藝

海と日本文學

…（三）…　安藤盛

この海賊の中でも出色してゐたのは、能島衆と村上一族であつたが、殊に能島衆の造船術、航海術、戰闘訓練に至つては大したものであつた。この二つの海賊たちは、今日のスクリユーから潛水船まで研究してゐたといふのだから、他は推して知ることができよう。もし、徳川三代將軍家光のとき海外渡航禁止令が出なかつたら、この海賊衆の進出によつて、爪哇やマレー半島などを完全に占領して、今日の文明がより早く日本に入つてゐたかも知れないが、それと共にオランダやイギリス、ポルトガルのやうに、もう、老衰國となつて、今日の生氣溌剌とした新興日本であり得ないかもわからない。今日の新興日本は三百年間、徳川幕府の鎖國令によつて壓迫された國民性が、一擧に伸張して來たものと考へると、その鎖國令が或はよかつたかも知れなかつた——と考へられもするゝが、斷定のできるものでもない。しかし、歴史を溯つて見ると、任那の日本府が亡びて後といふものは、一時、日本は唐を非常に恐怖した。それは欽明天皇の二年の秋、犬上御田鍬と醫師惠日が初めて遣唐使として渡航してから三十年後、齊明天皇の御宇、朝鮮半島で唐と衝突して敗れたからだつた。

その恐怖は一種の崇拜に變つたのも、その後二百三十年間に亘つて、留學生が派遣されたりしたにもよらう。その中でも阿部仲麿の如きは、唐朝に仕へて、名を晁衡と改め、官位は光祿大夫に叙せられ、晩年には唐の屬領となつてゐた今日の佛領印度、支那の東京省河内市から一里の地點のダイラといふところへ安南都護——安南總督として三年間在任した。私は大正十年の秋の、月の美しい一夜に安南を放浪してゐる日本人青年とそして、日本の放浪の女三人と、自動車をその都護として仲麿が城を構へたダイラへ遊んだ。

もう、ネムや檳榔樹やの林に圍まれて何物もそこに殘つてゐなかつた。

仲麿は後世の日本主義者から小賢しくやつゝけられてゐる。その一二の例を擧げて見ると、まづ、藤田東湖の言であらうか——「阿部仲麿などが唐國にゆき、その風になびき、日本を忘れ李隆基の臣となりしなど、形こそ男であれ、心は女にもはるかに劣れることゝ思はしき」とやつゝけられてゐる。大日本史にもこき下ろされてある。

この頃、唐へ行く朝廷の人々はその航海が生命がけのものと考へられてゐた。それほどに海を恐怖してゐたのも、日本の海軍力がなくなつたからによる。

桓武天皇の延暦二十二年、遣唐大使藤原葛野麿、副使石川道益が出發のとき、錢の御宴を賜つた。そのとき

酒　この酒はおほにはならずたひらかにかへりきませといはひたる酒

と、御製を賜つた。

葛野麿は、聖恩に感激して泣いた。

この時代、唐に使ひするものたちは、その航海の無事を祈るために、鎭西の香椎の宮、宇佐八幡に祈願し、更に海龍王經、大般若經を讀んだものであつた。

それが、いつしか、海賊の勃興となつて來ると、たゞ、武運を祈るために、船上高く白旗へ、南無彌八幡大菩薩と墨黒々と大書したのをひらめかして、隣へでも行くやうに支那へ押しよせた。この旗の文字から取つて、別名の「八幡船」なるものが生れたことは云ふまでもない。（つゞく）

鋪道を行く

青龍社から問題作を拾ふ（三）　谷口富美枝作

▼…現代人の感覺で見た現實感を出さうとする青龍社の美人畫は何れも新しい意識で表現しやうとした新興味を見せて繪絹に正面からぶつかつてゐる。觀念的日本美人畫系に見た白粉桃色の色彩は、瓜種顔から推移した丸型の顔と共に健康な皮膚の色、理智的な表情、溌剌たる姿體と變じ深窓より鋪道へと明朗動的に轉じてゐる。

▼…ペーヴメント上のこの三つのモダーン娘は姉妹として見ればそれでも好いが、凡らく三つの同じ顔を並べたところ、同氏の新意識にかゝはらず、やはり日本畫傳統の類型的美人の顔を忘れ兼ねてゐる樣で、もつと異つた各樣の表情が考へらる可きで其の効果も意識程に感覺的に迫らない點も一寸惜しく思ふところである。

問題のふけ

三五、六年の危機（J）

銀波樓生

★…元來、時間効力の發揮は戰時の一大要諦とされて居る。換言すると先手を打つこと、即ち出合頭に一撃を食らはせることが必要だ。我國には早飯、早糞、早仕舞といふ言葉がある。餘り褒めた言葉でないが、つまりは時間効力の發揮であり、一種の先手主義である。江戸ッ子は喧嘩が早い。文句の前に既に拳固が飛んで居る。これなど確に先手で有利な對勢を持續して行く處に妙味がある。相撲の仕切なども先手争ひに外ならない。

★…海上戰闘も相撲もその原理は同一である。相撲では仕切りて一秒の何分の一かの先手を打つて、全力を擧げて敵の虚に突入し、突き、押し、投げて以て先制の利を占め相手を仕留めるのであるが、海上に於ける戰闘の際でもこれと同樣に、敵の發見に先手をやり、空中戰では制空權を握り展開砲戰を次々に移つて行く動勢の機先を制し、常に先手主義に大きい自信を持つてゐる。米國艦隊が頭を絞つて考へ出したリング・フォーメーション（輪形陣）の渡洋作戰なども、日本の恐るべき潜水艦の襲撃の前には三文の値打もない。

★…一九三五、六年の危機に對する我が海軍の方策は磐石の如く微動だにしない。三千年の歴史に育まれた大なる力が常に日本をして戰勝國たらしめて居るのである。

★…あわてゝかでワシントン條約破棄の通告と聯盟脱退滿二ケ年經過により、名實共に之を決する秋が來るのである。日本の對外關係は實に波瀾重疊たるものがある。

★…一九三五、六年。我國は未曾有の大試煉に遭遇せんとして居るのである。國民は擧國一致、この障害排除に當る覺悟を有すると共に、無條約状態に陥つた際における建艦競爭に對しても充分の覺悟が肝要である。（完）

新刊紹介

孝經（完）世は擧げて新來の思潮に染む今日、孝道振興會が各校毎「孝經」一函をめざして國民教育のため「孝經」發刊頒布の擧に出たのは意義少からざるものがある（發行所東京市本郷區駒込曙町十一孝道振興會、價三十錢）

東邦經濟（十月號）發行所東京市麴町區内幸町一の三其社、價三十錢

●●●●ツーリスト（十月號）發行所東京市麴町區丸の内一の一ジヤパンツーリスト・ビユーロー、價五十錢

●●●●復興（十月號）發行所東京市芝區三田四國町二ノ一其社、價二十五錢

少年少女滿洲帝國全史（渡邊龍作著）本著者はさきに「少年少女、滿洲國の話」を著した元大連三井物産社員の滿蒙研究家で、その豐富なる知識と研究とを擧げ最近當時沈滯を傳へられる兒童讀物界に敢然進出して來たもの、著者自ら序文にも記してゐる如く、本書を通じて第二國民に熱烈なる民族意識を鼓吹してゐる、即ち排日侮日の絶頂にあつた張學良時代から滿洲事變勃發の戰史を感激と共に隈なく述べ、更に新滿洲國の建國及その最近の實状を記して立派な課外歴史讀本となつてゐる、その筆致も又極めて簡明練達で讀者の興をも最後までひきつけてゆく（東京市神田區神保町南光社發行、定價一圓）

●●大陸滿報（十月創刊）發行所上海狄思威路四一四其社、價五十錢

●●書齋世界（十月號）發行所大阪市北區眞砂町一一其社、價二十錢

●●くぐひ（十月號）發行所千葉縣東葛飾郡八幡町古八幡一九七〇鶴社、價三十錢

スポーツ化したグライダー（3）

南滿洲工業專門學校　安藤武雄

圖は三種類のグライダーの滑空角を示すもので、最も好い機と云ふのは最少の降下で最も遠く進む機であります。初步練習機では十乃至十二呎前進するのに對して一呎降下せねばなりません。然るに最近の輕快なる

滑翔機 では、一呎の降下毎に二十八呎位前進するものがあります。工專に參りましたのは初等練習機でありますから、一に對して十の滑空角に設計せられてゐます。然らばこのソアラーに依つて現在作られてゐるレコードはどんなものかと申しますと、航續十四時間四十七分二十五秒、距離において直線一六〇哩、圓周飛行で二三八、〇五哩の驚くべきものが作られてゐます。

日本の それは今夏までは航續時間三十分に過ぎなかつたのでしたが、去る本年九月十一日九州帝大の佐藤博助教授の指導になる九大グライダー研究會の會員志鶴氏が九州の高峰久住山より飛行して一時間二十七分の本邦レコードを作り、本邦グライダー界の爲め萬丈の氣をはきました事は耳新しい事であります。それにしても外國に於ける非常なる進步には唯驚歎の他はありません。然し今夏の記録等よりして本邦に於ても早晩ソアラーに依る相當な記録が作らるゝであらうと云ふ事は信じて疑はないものであります。

つぎに グライダーの飛行場に就て申上げて見ませう。グライダーは飛行機の子供の様なものでありますから、飛行機の飛び立つ普通の飛行場で之が飛べいない譯はありませんが、家の軒巣で育てられた雀の子は親雀のまねをして庭に飛び下りると大變です。自力では自分の巣に歸れません。うつかりしてゐると、家の坊やや孃ちやんの愛犬ポチが來て噛んでしまひます。そんな事があつては大變と親雀は心配して子雀をくはへて己が巣に飛び去る。と云つた可愛らしい情景はまゝ

私達の 見受けるものでありますが、グライダーも子雀と同じで飛び下ることは出來ても自力で飛び立つ事は出來ません。ですから自ら親飛行機と異つた飛行場を必要とするのであります。本邦に於ける氣流の變化は大陸のそれに比して非常に複雜を極めてゐるため、飛行には相當の熟練飛行士でも可成り困難を感ずるとのことでありますが、滿洲は氣流はとても平穩で飛行には惠まれた地でありますから、飛行機の航空には絶好な地域ですが、グライダーには必ずしも好いとは限りません。

何故ならば適當なる氣流の **變化は** グライダー飛行には是非必要なものであるからであります。即ち上昇氣流を作るが如き丘陵、又は砂丘等がなければならないのであります。つまり風が丘に吹き當つて上向きの氣流が出來るやうな丘が必要さ

圖は風が丘に當つた時に……範圍で風即ち氣流に變化を示したものであります

ラヂオ　十九日

奉天（MTBY 八九〇KC）　午前の部　滿洲國皇帝陛下　御巡幸奉迎特別番組

大連（JQAK）　午前の部

京城（JODK）　午前の部

日本棋院 大手合戰譜（十八局）

先番 三段 染谷一雄
先相先 二段 黒田幸雄

本社特選 角落棋戰【其二】

飛角交 角落番 七段 小泉兼吉
初段 吉田六彦

【圖は四八銀迄の局面】

觀戰記　七段　萩原淳

主婦之友
十一月號いよいよ發賣!!
ステキにおもしろいお子様画報つき
（別冊附錄）編物と裁縫の防寒物百種の作方
めつきりお寒くなりました。早く防寒物のお支度を願ひます。一二時間で作れる簡單な物ばかりて、編物も裁縫もあります。御家族の誰方にもキット喜んで頂ける物を特に多く發表いたしました。
赤ちやん用の防寒物の作方集
お子様用の防寒物の作方集
婦人用の防寒物の作方集
男子用の防寒物の作方集
老人用と室内用小物の作方集
教へ子五人の身代りとなつて慘死した吉岡先生の犠牲愛
近畿地方の大颱風が生んだ涙ぐましい殉職美談。大阪府下豊津小學校女訓導吉岡先生が、幼い五人の教へ子を救つて慘死された尊い犠牲愛には、誰一人として泣かされぬものはありません。遺族を弔問した特派記者の血涙の特別記事を詳しく發表いたしました。
流行新型 冬向の簡單な子供服五種の仕立方
三歳から七八歳までの可愛らしい男兒服と女兒服の新流行型を誰方にもスグ作れるやうに一流の先生が詳しく發表してくださいましたからどうぞお早く仕立て上げてください。
大本山永平寺參詣記 太田水穂 四賀光子
幸田延子先生にピアノ上達の秘訣を聴く
新婚の月給生活者の家計の内幕
子供の謂ゆる『虫』の手當＝田村博士
近視・乱視・老眼を自分で治す秘法
肩のコリを手輕に治す按摩の仕方
南大將夫妻に『婦人と國防』を聴く（山田わか）
松竹少女歌劇の人氣スターの漫談會
良人に愛人が出來たら妻はどうするか
神經痛とリウマチスを手輕に治す家庭療法
若奥様の愛嬌術のお稽古（指導＝森律子 實演＝伏見信子）
若奥様方におすゝめしたい上品な愛嬌術を誰方もスグおできになれるやうに美しい寫眞畫報で發表しました
菊作りの名人が苦心を語る會
若奥様とお孃様の明朗化粧法
お惣菜向の美味しい大根料理
秋のお魚の簡單な和洋料理法
長篇小説 虹の故郷 牧逸馬
長篇小説 受難の生母＝山中峯太郎
長篇小説 白百合屛風＝子母澤寛
繪畫小説 東洋の娘＝林唯一画
小説 農村花嫁日記＝西條八十詩 田中比左良画
長篇小説 一つの貞操 吉屋信子
ハガキ一本で出來る大懸賞發表＝ラクダの防寒ショール千枚贈呈!!
特別附錄付で 五十錢 （送料八錢）
東京神田 主婦之友社 （振替東京一八〇番）

けふ奉天御巡狩

忠靈塔と日滿兩衛戍病院　畏し・勅使を御差遣

【奉天電話】滿洲國皇帝陛下には愈々今十九日奉天に御巡狩あらせられるので、奉迎準備全く整つた奉天市民は只管お待ち申し上げてゐるが、陛下には二十日勅使を滿洲國陸軍衛戍病院、忠靈塔、日本衛戍病院に御差遣あらせられ忠靈塔には幣帛玉串を捧げられ、傷病兵に對しては菓菓を賜る由、その御豫定日時左の如し

△二十日　午前九時四十分御泊所御發、同九時四十五分滿洲國陸軍衛戍病院御成、同十時五分同所御發、同十五分忠靈塔御着、同二十五分同所御發、十時半日本衛戍病院御成り、同十一時同所御發、十一時三分奉天驛御着

が御警衛の大任に當る新京憲兵隊は新京警備より補助憲兵の應援を得て各警備機關と協力、宮廷出御より新京御出發までの沿道の御警衛に萬遺漏無きを期することゝなつた

誠に畏き極み

身に餘る光榮と省民を代表して　臧奉天省長謹話

【奉天十八日發國通】皇帝初の御巡狩に際し龍顔を咫尺の間に拜し奉る奉天官民の感激歡喜を代表して臧奉天省長は左の如く謹話した

滿洲國皇帝には御登極後八ケ月政務御多端の砌にも拘らず寸暇をお割き遊ばされ初めて新京御發輦、十九日奉天に御巡幸遊ばされる、誠に畏き極みである、奉天省官民はこの光輝ある日の到來を久しくお待ち申したが、こゝにその願望叶ひ、一同の歡喜また推察するに餘りある、二日に亘る御駐蹕の間に省狀を御研鑽遊ばされ、畝省長省狀奏上の機を得たるは、その光榮實に身に餘るものがある、惟みるに建國以來三ケ年、奉天省の發展は政治、經濟、交通ての諸政さもに目覺しき進歩の跡をしるし地方民政また刷新され、王道政治の大業着々見るべきものがある、然るに期せざる降雨のため

今夏奉天省においては洮南の地方を始め安東その他各地に大水害を見、農民辛酸の苦を嘗む、當時聖慮深くも罹災民救濟の爲め御内帑金御下賜遊ばされたことは、省民の感泣おく能はざるところである、これぞ「先天下之憂而憂、後天下之樂而樂」聖道の範を顯示遊ばされたものである、畏くも大廟陵および北陵に御參拜遊ばされる御孝心の程また感激に堪へぬところである願はくは御駐蹕の間御恙なく御行事を御終了遊ばされんことを切に祈り奉る次第である

補助憲兵應援　行幸警備に

【新京十八日發國通】皇帝陛下には十九日愈々初の地方行幸として奉天御巡狩に向はせられるが、之

吉林御巡狩　御豫定　御發着時刻

【吉林十八日發國通】來る廿四日皇帝吉林御巡狩の御豫定左の如し

午前七時五十分宮中發御、同八時新京驛發御、同十一時吉林驛着御、同十一時十分省公署着御省長軍管區司令官より省狀及軍狀奏上、拜謁賜謁御晝餐、後一時三十二分省公署發御、同一時五十五分松栢山中腹御着、同二時十分松栢山頂上御發、同二時十四分松栢山中腹御着、同二時四十分吉林驛發御、同五時十分新京驛御着、同五時五十分宮中御歸還

實況放送

奉天御着と北陵御成を　御用通信所も設く

【奉天電話】滿洲國皇帝陛下奉天御巡狩に當り、電々會社奉天管理所では御用通信並びに放送準備を整へたが、省公署内に御用通信所を設け北陵、ヤマトホテルには社員を派して御用電報及びこれに準ずる公報の受付を行ひ又十九日奉天御着、二十日北陵御成りの御模樣を實況放送するさ

辭めても迷惑は掛けたくない

〃敗軍の將〃寺田署長談

十八日午前八時全署員を講堂に集め進退問題を表明し悲痛な挨拶を述べて署員の自重を促した寺田大連署長は記者團に對し〃敗軍の將〃の心境を左の如く吐露した

吾々の正義の主張は遂に破れ、今は何をか謂はんやです、普通警察と憲兵警察とは根本精神に於いて異り、これを混淆された只中に在つて圓滿な事務を執つてゆくことは到底むつかしく、殊に堂々の主義主張が全く葬られた今日、私の執る道は只一つ殘されてゐるのみである、今日の結果に至らしめたことは多數の部下に對しても相濟まぬし、上司に向つて衷心洵に氣の毒に堪へぬので自分としては自から決するところあり、今となつて何等未練に思ふことはない、然し治安維持の重任にある警察官が勞働者の如く直ちに職を放棄し行政事務を中絶させるが如きことは官吏の本旨にあらず、又民衆に對しても迷惑を掛けることになるから、自分の出處進退に對してはその潮時を充分考慮し立派な最後を遂げたいと思つてゐる、出來ることなれば後任者に事務の引繼ぎをして身を引きたい考へだ、けさも署員に對し自分と共に最後を飾つて見れ

輕擧妄動を戒む

久下沼署長の悲壯な訓示

現地案强行の閣議決定に對し大連水上署では十八日午前八時より同署講堂において巡査大會を開催し今後の態度決定に關する打合せを行ひ、總辭職の準備をして直に各署員の恩給或は功勞調查等を開始したが、大會席上久下沼署長は我々は主義主張を通すために今日まで戰ひを續けて來たが遂に敗れたことは遺憾である、然しこの際輕擧妄動することは關東廳職員の面目を傷けるものであるから充分愼重な態度で行動して欲しい、自分は勿論辭めるが諸君に對し命令する事の出來ない問題であるが、僕の希望としては出來るだけ殘つて最後まで主義主張の貫徹に進んで貰ひたい、これは對滿國策の遂行を誤らしめざるものであると國家の存立を益々鞏固ならしめんがためであつて、この目的のために邁進し來り今日急進した事態を迎へて關東廳職員として最後を見苦しくしないやう、諸君にこの點を誓つて欲しいと聲涙共に下る悲壯な感慨を述べ全署員はこれに對し輕擧妄動を愼むと誓ひ午前十時大會を終つた

と言つて置いたが、勢ひの赴くところどうなるか判らない、私は署員が自分より先に總辭職をして呉れねやう充分鎭撫する考へでゐる、他人の事は判らないが、全滿署長會議の申合せは敗れゝば身を退くことになつてゐるので、全滿各署長もこの際おそらく自分と同一意見であらうと思ふ、何月何日に辭職するかは明言出來ぬが現職を去る事實は極めて近き將來であらう

本紙の夕刊を

聾少年の隣人愛

賣つて義捐金に　日本橋街頭に立つ相川嘉頭雄君

去る十三日午後三時頃から大連驛構内で本紙夕刊を同構内出入の人々に賣つて人目を惹いて居る一兒童があつた、この兒童は星ケ浦六三〇相川宅次郎氏の甥大連盲啞學校六年生相川嘉頭雄君（一七）といひ、九月下旬關西を襲うた

未曾有

の颱風に多數の死傷者を出し、とりわけ小學校兒童の死傷に非常に胸を痛め、假令聾者であつても同胞を思ふ心には變りはない、せめて零細であらうとも義金の一部としたいと志し、本社販賣部に事情を話し、十三日夕刻から本紙夕刊を大連驛構内で賣始めたもので、同日は十四日附夕刊二十部の内十三部を賣り、三十四錢の賣上高を得たが、その後毎日午後三時頃から四時過ぎ迄賣り續けた、ところが十七日から驛構内で賣始める事は困ると同驛から抗議されて止むを得ず十八日から日本橋方面で賣つて居るが、十六日は一圓三十七錢、十八日は一圓七十六錢の賣上高を得て本社に差出した、同君は十圓の賣上金を得る迄續けると云つて居る、取敢ず本社から市役所社會課にその手續を執り、同社會課では

大阪市

役所へ小學兒童への義捐金として送附する事になつた、十八日午後四時半頃市内日本橋方面で行人に本紙夕刊を賣つて居る同君を訪へば

せめて義捐金の一部として送つて貰へば本望です、とにかく賣上金十圓を得る迄幾日でも續ける積りです

と語つた【寫眞は日本橋に立つて本紙夕刊を賣る相川君――きのふ寫す】

大連市内にペストは入れぬ

豫防協議會ひらく

過般新京にペスト發生以來滿洲各都市ではそれ〴〵豫防對策を講じつゝあるが、大連では十八日午後三時から大連署第一應接室において第一回ペスト豫防對策協議會を開いた、出席者は守中大連醫師會長、豐田療病院長、滿鐵衛生課長、市衛生課長、關東軍衛戍病院軍醫、關東廳衛生課員及市内四警察署衛生主任約二時間に亘り協議の結果、左の六事項を決定、直に實行に取りかゝることゝなつた

一、醫師會長より一般醫師に通知し診療上の注意喚起
二、一般に對し驅鼠の宣傳
三、檢病的戸口調査
四、農安地方より來る者の注意
五、驛、運送業者に捕鼠の獎勵
六、ペストに重要關係ある野犬の驅除

東洋體協への加盟手續

日本體協から比島側へ通知

【東京十八日發國通】大日本體育協會では十八日専任理事會を開催滿洲國體育聯盟より日本體協宛に東洋體育協會加盟の正式手續書が來たため、日本體協より早速電報を以て比島體協に此の旨通知を發した

なほ今月開催の豫定であつた東洋體協の總會は比島の都合惡しきため本春早々開催される事となつた

佐野、鍋山ら上告取下げ

【東京十八日發國通】昨夏獄中から轉向聲明を發表し、左翼陣營に一大ショックを與へた第二次日本共產黨最高首腦部佐野、鍋山、三田村の三名は五月十一日夫々懲役十五年（未決五百五十日通算）の判決言渡を受け上告を申立て、來る十一月五日大審院で審理を行はれることになつてゐたが、十八日午前正式に上告を取下げた

その理由は過去の所業に對する重大な責任を痛感し早く服罪して一回社會主義の實現を期したいと云ふのである

きほひの日本刀に何れも優秀者揃ひ

第三次移民、勇躍克音河に向ふ

【滿達特電十八日發】拓務省囑託市川中佐の引率する第三回拓務省特別農業移民二百七名は十八日午後一時入港天草丸にて來滿、官民多數の歡迎を受け、公會堂にて休憩の後午後四時四十分發京圖線、拉濱線を經由して入植の豫定地たる黑龍江省綏稜克音河に向け出發した、いづれもリュックサックを負ひ日本刀を携へて元氣旺盛、豫定地には二十一日午後着の豫定である、統率者市川步兵中佐は語る

今回の移民は北海道を除く全國より優秀なるものを選んだ事が前二回の移民と異り、統率上心配してゐたが、いづれもよく親しみ團結統率上の心配は杞憂であつた、入植地克音河には先遣隊五十名が既に入植して宿舍等を準備してゐる

國境に不安なし

金よりも物欲しのソ聯民衆　人家皆無の都邑佛山鎭等々　經濟調査隊土產話

【新京十八日發國通】去る八月十日ハルビンを出發した滿ソ國境經濟調査隊（財政本部四人、ハルビン稅關四人、稅務監督署四人、外交部一人、民政部三人、黑龍江省公署二人）は七十日の

日程

を以て滿ソ國境の綏賓、羅北、佛山、烏雲、奇克、璦琿、漠河、鷗浦、呼瑪の各縣に亘り五十有餘の都邑の諸事情を詳に視察し、經濟上幾多の收穫を擧げて一同元氣に歸還した、十八日財政本部より派遣された一員長谷川氏は左の如く語つた

國境の空氣は非常に緊張してゐるやうに傳へられ、吾々も同江より上流に向つた頃は多少不安な氣分もあつたが、別に何事も起らず全く呑ん氣に日程を過して來た、ゼーヤ河口（黑河）でソ聯側より射擊を受けた樣だつたが吾々はすつかり無關心だつた、通り見たところによるとソ聯の物資缺乏は

實際

事實らしい、例へばブラゴエで聞いた事だが、一般人は金を與へても喜ばず唯何より食物が一番欲しいと云ふ、一ケ月に一度一週間位パンの配給が中止される事があるらしく、一般民衆で食物を持つてゐるといふ事は隨分誇りだといふ話である、子供にチョコレートを與へてもそれが何であるかをよく知らない、そしてこちらで五十錢位のチョコレートが十五ルーブル位、一ルーブルはソ國の公定換算率によれば國幣三圓といふ話だが暗相場では一ルーブル七錢か八錢といふ樣な話だつた、黑河上流は買ふにも物は無く、パンなど持つてゐる者は一人も見受けなかつた、兩國の監視嚴重で今は密輸など行はれてゐない樣である、國境の滿人は露人と結婚してゐる者が多く從つて混血兒は自ら滿人と稱してゐる一體に璦琿縣を除いては建物其他生活上ロシアの影響が多く見受けられた、璦琿縣の上馬廠、下馬廠、滿洲屯といふ所は純粹の滿洲族の部落で、極めて純朴な風采をしてゐる、面白い事には現在地圖上で相當な都邑と明示されてゐる佛山縣の佛山鎭、觀音山などは其實人家皆無、僅に一戸の小屋位存在す

大陸戰史旅行團

【遼陽電話】陸軍大學生の戰史旅行團一行は十八日午後零時六分着列車で遼陽着、二十一日まで遼陽附近の戰史を研究する筈である

◇二十日　正午大正小學校、午後六時春日、常盤兩小學校
◇二十一日　午前十時南山麓小學校、正午沙河口、霞兩小學校、午後六時日本橋小學校

慶應零敗す

◇…對法政戰

【東京特電十八日發】東京六大學リーグ野球慶法戰は十八日午後二時二分開始、五A對零にて法政快勝す、閉戰四時五分

◇バッテリー▲慶應　三宅、櫻井、天知、壘審　野本、片桐▲法政　若林、藤田▲球審

慶	000	000	000	＝0
法	010	100	03A	＝5A

早大勝つ

7—3　對立教二回戰

【東京十八日發國通】早立野球二回戰は十八日午後二時十分から戸塚球場にて早稻田先攻に開始早大七對三にて勝つ、閉戰四時十五分

◇バッテリー▲早大　阿部—藤堂▲立教　鹽田—成田

早	500	110	000	＝7
立	100	200	000	＝3

一本氣の書生　口論して家出

大連市長生街一二一番地岡山義富氏宅に書生として住込んで居た原籍熊本縣菊池郡清泉村板國男（一七）は十五日午後七時頃一寸した事から家人と口論をなし、そのまゝ家出してしまつたが、十八日午後に至るも歸宅せず、日頃の一本氣な質だから自殺でも仕かねないと心配し、主人岡山義富氏が行方搜查方を大連署に願出た

大連より長崎鹿兒島行

（毎十日目出帆）

＝九州への最短連絡航路＝

千歲丸

大連發　十月廿日午前十一時（九番バースより出帆）
長崎着　十月廿二日正午
鹿兒島着　十月廿三日午前十時

	長崎	鹿兒島
一等	三三圓	三八圓
二等	一七圓	二〇圓
三等特室甲	一五圓	一八圓
三等寢臺附	一四圓	一七圓
三等ソーファ廣間	一二圓	一五圓
三等廣間乙	一二圓	一五圓

近海郵船代理店　日本郵船大連出張所

北寧鐵路幹部

滿鐵視察へ

【奉天電話】東方旅行社の斡旋にて豫て來奉各方面を視察中の北寧鐵路局事務處長陳清文、運輸處副總稽謝震雨氏以下十名は十八日昼山東方旅行社副經理及び古山總局工作課員同伴はさにて大連に向つた、約一ケ月滿鐵の視察を行ふ筈るに過ぎない、視察七十日で色々得るところが多かつたが國境は實際行つてみるとさう不安な空氣はない

水害義捐映畫

既報、亞細亞婦人聯盟の近畿風水害義捐金募集のための映畫會は非常な好評を博してゐるが、これを二十一日まで續行する筈で、特に父兄の參觀を希望してゐる、十九日以後の日程左の如し

◇十九日　午前十一時松林小學校、午後二時下藤小學校、同六時大廣場小學校

▼信濃町市場鎭座惠比須神社秋祭午後五時より
▼お菓子祭　午前十時から忠靈塔前において
▼關東州橘會生花大會　二十一日まで市内天神町常安寺において

美辭麗句入りの挨拶で有名な森本知官、去る十六日夜ヤマトホテルで確山、保野兩家の結婚披露宴で長講一時間餘に亘る記錄的大挨拶をなして來客をアッと言はせた。

例の美文的調子で結婚の意義、新夫妻に對する訓戒、夫婦の權限に關する法律的解釋、はては同氏の海外旅行中の感想談まで說き出して續々百萬言、列席者なしで當夜の御馳走程に滿腹させた。

◇

後でホテルボーイ曰く

森本さんの御挨拶は數年前此處で初めてやられたのが、一番感動的で良かつたですよ、昨今では餘りうまくなり過ぎられましてね……

と頗る味のある要領のいゝ批評を下してゐた。

新京支社移轉

社業の擴張充實を期する爲め豫て新築中のわが社新京支社々屋は去る十日竣工、今般左の如く移轉致候間此段謹告仕候

十月十八日　滿洲日報社

新京中央通四十四番地
滿洲日報新京支社（電話四九六六番、二九八五番）
滿日印刷所新京出張所（電話三八八七番）

關東軍司令部新廳舍

きのふ御紋章除幕式を擧行

【新京電話】關東軍司令部新廳舍正面上部に安置される菊花御紋章の除幕式は十八日午前十一時二十分より同司令部玄關前の廣場において擧行、菱刈軍司令官、西尾參謀長以下各部隊長、大使館首腦、各廳參事官以下館員参集の上いと嚴肅に擧行された【寫眞は關東軍司令部の新廳舍―破風中央の覆ひをかけたるが御紋章】

由比正雪 (61)

悟道軒圓玉 演
武田一路 畫

天勝以上の技術

滿日案内

満洲日報
十月十八日發行

根本方針に異論無く 警告附で原案承認か
機構案と樞府側の意向

【東京十八日發國通】在滿機構改革案に對し樞密院側の意向を綜合するに、大體滿洲の現狀よりみてその根本方針には贊成の模樣である、而して改革案は豫算の臨時議會通過後樞府の御諮詢を奏請することになつてゐるが、樞府が既に根本方針に對して贊成の意向に傾いてゐる以上、假令深刻な質問が出るとしても結局は對滿政策に萬遺憾なきを期すやう警告附で原案を承認するであらうと觀られてゐる

貴衆兩院の見解
政府の措置態度非難

【東京特電十八日發】在滿機關改革問題は遂に十七日の閣議において原案通り强行する事に方針決して來るべき臨時議會に提案する筈であるが、貴衆兩院とも該問題に對する政府の態度を非難する向多く

一、事態を紛糾惡化せしめた政府の無力、無統制
一、官紀の弛緩
一、日滿國交並に諸外國に及ぼせる惡影響
一、改革案作成に對する手續上の失態

など政府の責任を追及せんとし、殊に拓務省及び關東廳の態度に對し兼攝拓相としての岡田首相の責任を飽迄糾彈せんといきまいてゐる模樣で、貴衆兩院各派の態度は大體左の如くである

政友會　閣議決定案を强行するなら遷延の必要はなかつた、現地の鎭撫策を講ずる事なくして今更既定方針で邁進するといふは政府の無力無統制を内外に暴露したもので、拓務省及び關東廳を充分納得せしめ得なかつた事は政府の重大なる失態であると共に、兩者の反對運動は拓相としての岡田首相の重大な責任である

民政黨　……

國民同盟　内部には政府案を支持するものと、之に反對せんとするものとの二派が對立してゐる實情にあつて、黨としての態度は俄に決し難い模樣

貴族院　現地關東廳においては隱忍自重、不祥事件の發生を避け帝國の威信を保ち滿洲國の治安に力め、一日も速かに文治の實現を期すべきである、また軍部も今後特に注意し輿論に背馳せざる明朗なる政治を行ひ日滿親善の實を擧ぐべきである

今後一切の運動停止
大場局長の聲涙共に下る訓示
關東廳員最後の會合

【東京特電十八日發】……に解決し官紀を保持し治安の維持に力むべきである、十九日若槻總裁の歸京を待つて正式に態度を決定せんとしてゐる

機構問題に關する前後三ケ月に亘る關東廳全職員の必死の運動は遂に慘敗し、中村、大場、日下三局長は總辭職を決行、水谷文書課長以下全課長はこれに殉じ、寂寥たる關東廳では十八日午前十時三十分廳内會議室で約七百名の職員いづれも憂色深く集合し、大場、日下、中村三局長以下各課長また斷腸の思ひを秘めて列席、關東廳の最後的會合は行はれたが、大場警務局長は三局長を代表し

我々はこゝ三旬に亘りあらゆる甲斐もなく、すべてを諒解されつゝも今閣議においてかくもむざむざと踏みにぢられるに到つたことは遺憾至極のことである

と聲涙ともに下るの報告を行ひ、さらに

閣議で決定の今日官吏たるの身分として最早絶對に兎角の論議を挿さむべきでない、ここに一切の運動を停止し諸君は飽迄も職務に精勵し世間の非難を買ふが如き輕擧妄動の行爲なきを希望す

と訓示すれば、全廳員は血涙を飮み滿場粛として聲無く同五十分悲壯なる會議を終つた

總辭職を決行
關東廳委員强硬態度

會議を終つた三局長、水谷文書課長、安永旅順、御影池大連、山口金州……

首腦部辭表
受理せず
拓務省極力慰撫

【東京十八日發國通】閣議決定原案に不滿の關東廳首腦部が辭表を取纏めるに至つたに對し、拓務省は既に岡田拓相より新機構に投合努力し極力廳員を鎭撫するやう訓電が發せられたので、右辭表は受理せず、菱刈長官は寧ろ積極的に新機構運用に協力を力說するものと期待してゐる

今後專ら省内の
强硬派鎭撫
拓務首腦部の對策

【東京特電十八日發】十七日夜岡田拓相から訓示を受けた拓務省首腦部はこれまで關東廳の主張を支持して原案反對を固執して來た關係上何らか態度を決定する必要あり同夜深更まで拓相官邸において凝議したが、既に岡田拓相より關東長官に對して廳員慰撫の電命を發した後であるから、今後は專ら省内の强硬論を鎭撫するに努めることを申合せた、同省内判任官連も一先づ高等官側の動靜を見た上で態度を決することになつた

岡田拓相
省員に訓辭

員に對し次の如き訓辭を……訓辭後坪上次官より「本……の訓辭を聽取するに止……き」旨希望し省員の發言……に散會した

政府成行を憂慮
辭職の報頻々傳はり

【東京特電十八日發】紛糾を重ねた機構問題は十七日の臨時閣議で原案强行に一決今や問題は現地と拓務省の鎭撫工作に集中し岡田首相は菱刈長官に現地慰撫を電命すると共に十七日夜拓務省員の輕擧を戒め林陸相も亦菱刈司令官に善處を電命して上京中の塚田關東軍參謀を急遽歸滿せしめて内滿呼應して萬全の鎭撫策を講ずる事になつた、而して拓務省は成……官、生駒管理局長、田中……手代木參與官等の外、……三名は辭職を決行する事……大體において早くも鎭靜……ゝあり、然るに現地にて……以下々級官吏に至る迄……々と傳はり政府をして一……危惧と憂慮の念を抱か……

大連民政署員
對策協議

御影池大連民政署長は十八日午前十時頃關東廳局課長所屬官署長會議出席のため旅順へ向つたが、これに先だち民政署各課長、主任級全員は貴賓室に集合、留任慰撫には絶對に應じ得ずとし全署員の强硬な反對意向傳達方を御影池署長に依頼した、而して署長歸任を待つて更に全署員集合の上今後の對策協議に入るものと見られる

たゞ一途　ありとする意見が强調され或は三局長以下關東廳首腦部總辭職に殉じ總辭職を決行せんとする色は益々明瞭となつた

……ちぬ行動により初志を貫徹するに努力するやう待機中であると

大連特務機關
愈よ活動を開始す
岡田少佐等けさ着任

新設された關東軍大連特務機關の陣容は土肥原少將……要塞司令部參謀堤不夾貴……洲國軍政部顧問關東軍……田菊三郎少佐、ハルビン……員岡田猛馬氏等に決定……參謀、岡田少佐並に岡田……

土肥原機關長
二十日頃着任

自薦他薦運動
噂に上る顏ぶれ

新機構の陣容

拓務省

對滿事務局

行政事務局

關東州廳

臨時議會に期待
貴衆兩院に運動
齋藤州民代表歸連談

駐滿大使館の意見

臨時議會前
拓相專任
貴院から銓衡か

ほんこん丸船客

人事

蛇角

哭くな青春 (16)
三上於菟吉
吉邨二郎畫

果然！關東州内の全警察官も總辭職

各署夫れぐ大會で態度決定 州外各署も續々合流

在滿機構問題に對する關東廳の主張は葬られ、現地の情勢は重大危機に直面した即ち關東廳局課長が十七日夜總辭職に決定したのを導火線として廳下五千の警察署員の動向は最も注目されてゐたが、十七日夜から十八日朝にかけ大連五署ではそれぐ極秘裡に署員大會を開き全署員の總意を纒め十八日午前十時まで既に大連、小崗子、沙河口、水上、消防の五署は署長以下巡査に至るまで一名も洩れなく總辭職をなすことに態度決定し各署巡査統制委員會本部に通達した

先づ大連署では午前八時寺田署長が全署員を講堂に集め自決を表明する悲痛な挨拶を述べ、署長としての

態度を 全署員の前に明かにし、これに續いて午前九時から同署國武警務主任以下各主任警部及び警部補級の監督者が署一第一應接室に會合、進退問題に就き悲壯な協議を行つた結果、議論抜きにして滿場一致總辭職を聲約し更に同署巡査級も同時刻署内に於て委員會を開き、巡査四百の出所進退を協議したが、之れも最初の申合せ通り一名も洩れなく連袂

總辭職 をなすに決定した、更に沙河口、小崗子兩署は既に十七日夜署員大會を開き總辭職を決議し水上、消防兩署も十八日朝各署と行動を共にする重大決意を表明した、この結果十八日午前十一時から大連署講堂に於て市内五署聯合會議を開き各署員の連絡を密にし近く行動を起す重要な打合せを行つたが、これによつて十九日開催の豫定である全滿署員代表大會に臨むことゝなつた、かくて各警察署總辭職の

飛報は 續々巡査統制委員會本部に達し不氣味な空氣に蔽はれてゐるが、正午までに本部に達した署長以下辭職決定の警察署は瓦房店署、普蘭店署、貔子窩署、金州署、旅順署の五署でこれで關東州内の警察署は完全に總辭職と決定した譯で又た新京、奉天、安東等の主なる警察署を始め廳下二十餘の警察署全員も一蓮托生總辭職の擧に出づるものと見られ事態いよ〳〵重大視されて來た

殘された問題は警官總辭職の時期如何

臨時議會直前說が有力

十九日開催の豫定である全滿警員代表大會は目下御巡狩中の滿洲國皇帝御警衛の都合上一兩日延期さるゝやも知れない事情にあるが何れにしても二十日前後には大會開催の

運びに 至るべくその結果廳下五千の警察官の動向が確定される、關東州内の十署既に總辭職と決定し州外各署もこれに追隨する情勢下にあるのでこの結果廳下五千の警察官の總辭職期が目下のところ注目されてゐる、此の點は種々議論の分れるところであるが一部急進派は臨時議會の直前決行し政府に對し政治的責任を負はすべしと唱へ、これに贊成する向も尠くなく、延いて中央政局に重大影響を齎すものと憂慮されてゐる、なほ警察官の

辭表は さきに各署に於て取纒めて關東廳に提出、現在大場警務局長の手許に保留されてゐるが、巡査統制委員會本部では全滿代表大會直後、全滿警察署長、警部級並に警部補級は適當時期を狙ひ大場局長に對し菱刈關東長官宛提出方を要求することになるべく、この結果長官の

態度は 頗る注目されてゐるが、長官が辭表を受理せざる場合さいへど辭職決行には何等かはりないといふ意見が一般にみなぎつてゐる、長官が辭表を受理せざるに強ひて辭職することは職務放棄の官吏服務規律に反することゝなり、懲戒免の手段に出づるやとも見られてゐるが、警察官側では「懲戒免恐るゝに足らず」となしどこまでも總辭職斷行の決意を固めてゐる

旅順兩署員の態度協議

旅順警察署では十八日午後一時全署員大會開催の筈なりしも十七日の閣議決定が遂に強行せらるゝに至つたゝめ豫定時間を繰上げ午前八時全署員は講堂に緊急臨時會合を行ひ愈々最後的協議を遂げたが午前十一時より關東廳における部局長會議の結果を待ち進退を決するものと觀らるゝが、仄聞するに官吏の本分として何分の沙汰あるまでは無論公務執行に當り規定の所信に向つて邁進する模樣である

旅順民政署にても午前八時から安永署長、平井庶務課長は署長室にて密議し部局長會議の結果を直に全署員に對し安永署長より傳達する筈である

辭職の外途無し 大場警務局長談

大場關東廳警務局長は十七日深更左の如く語つた

十七日の閣議で吾々の主張が全然覆されるが如き決定を見るに至つては最早辭職の外は無い、岡田首相からは長官を經て慰撫の電報があつたが最早如何とも出來ない、部下職員に對しては極力慰撫するつもりであるが、果して聽き入れて呉れるかどうか、今日の情勢では甚だ疑問である、顧みれば昨年着任以來大使館警務部問題、其他文官警察に關する重要問題が續出し今日遂に機構問題で切腹するに至つた、自分は文官警察と心中するために滿洲に來たものといへやう

と感慨無量の態であつた

全滿署長會議 二十二、三日頃大連で

關東州内警察署長は機構改革問題に對する上下の責任を負ひ辭職と決定したが、今なほ州外署長の間に未決の向もあるので、全滿署長會議の申合により最後まで行動を共にすべく、來る二十二、三日頃大連に全滿署長會議を開き進退を決する筈である

決心を固めて自重 新京署員は靜觀の態度

【新京電話】關東廳五千の警官の望みも空しく十七日閣議に於いて在滿機構問題に對し原案強行の決定をみたが五千の辭表を託した總ての希望を瞬間に失つた關東廳管下にはさすがに一抹の憂色が漂つてゐるが關東軍の

膝元 たる新京においては閣議決定と共に今日までの總ての運動をピタリと中止、靜かに次に來るべきものを官吏として待つと云ふ飽くまで國家本位に進むべく十八日は早朝より高山新京署長は大場警務局長より自重せんことを望む旨の指令によつて閣議によつて國策として決定を見た以上徒らに動くは官吏として執らざる所であつて

須く 靜觀の態度を持すべきで信念に於て變りはないが悔を後世に貽すことは潔しとしない旨を訓示し警察官としての本分をつくすことを希望する所あつたが署長としての腹は勿論當初の言明通りでたゞその時期を待つのみであるとの悲壯なる色が漲り署員側も事茲に立ち至つた以上徒らに策動するは寧ろ本懐とする所にあらずとなし何れも自重的態度を持することになつた

態度は變更せず 奉天署は今夕大會開催

【奉天電話】奉天署では十八日午前九時各主任、三筋會巡査代表等約三十名參集協議したが吾々としては閣議決定によつて何等態度に變化を來すべきでない、更に鞏固なる團結あるのみであるとの意見に一致を見た、十八日には目下來奉中の杉山參謀次長を瀋陽館に訪ひ意見の開陳をなさんとしたが會見出來なかつた爲空しく引揚げた、なほ十八日午後六時から奉天署員大會を開き種々協議する筈

いよ〳〵竣工した本社新京支社々屋

首都新京中央通の一偉觀

滿洲事變を契機として滿洲が世界注視の的となり殊に滿洲帝國出現以來は政治、經濟、文化各方面を通じて内外のニュース益々頻繁となつて來た事實に鑑み我社は言論報道機關としての

職責 を盡すため各地通信網の整備社内設備の充實等については凡ゆる努力をなしつゝあり、現に我社の一大偉力となるべき三菱連結高速度輪轉機の増設工事は着々進捗しつゝあり本年内にはこれが設備を完了する豫定であるが一方滿洲における各種ニュースの中心地たる新京が國都に定められて以來滿洲帝國政府各機關を

初め 我關東軍司令部、海軍部、大使館、關東廳等の各官衙こゝに集結せられ全滿洲の政治的核心經濟的樞軸を形成し來つた事實に鑑み我社新京支社を擴張し通信聯絡の完備、印刷工場の新設をなす事となり去る昭和八年六月同市中央通り四十四番地（彌生町通）に適地を卜し同年十月二十二日基礎工事に着手し同年中に該工事を終り本年新春解氷期に入ると共に四月十二日より社屋新築に

着手 去る十月十日を以て全部竣工するに至つた、依つて新京支社では本月十六日同新社屋に移轉したが新社屋の概要は左の通りである

・敷地は新京目抜きの場所たる中央通りの南端東側彌生町角にて表通りに面する二百九十坪にて其建坪は地下室十二坪餘、一階百三十五坪、二階百三十二坪餘の鐵筋コンクリート二階建で一階は通信部、印刷部の兩事務室應接間二、印刷工場倉庫等、二階は通信、印刷營業部員の宿舍採字室、校正室等を有し凡ゆる近代的設備の整つたモダン洋館である

而して右建築設計者は大連の建築技師として

斯界 に令名ある工學士横井謙介氏、また工事請負者は奉天青葉町碇山組主碇山久氏であるが同氏は明治四十一年以來滿洲に於て土木建築工事請負業者として知られ各種の土木建築工事を完成してその堅實さを認められて居る人である（寫眞は竣工した社屋）

横井工學士談

我社新京支社建築設計の任に當つた横井工學士は語る

大體において大連本社の樣式に型どつた近代式の手法によつたものですが出來るだけ明調を加へて均整のとれる事を心掛けました何分二階が重い活字を以て滿されて居る工場に當てられたのでその點充分苦心致しましたが現在は二階ですが將來何時でも三階にする事が出來ます

碇山氏の談

同じく工事請負の碇山氏は語る

解氷と同時に工事にかゝりましたが何分本年は降雨が多かつたので豫定より約一ケ月ばかり遲れました、然し幸ひその後工事も順調に進み何等の故障なく無事竣工を見たのでホツとして居る處です

新社屋の修祓式 けふ午後一時から執行

【新京電話】既報中央通り四十四番地に位置を卜し工事中の本社新京支社はこの程竣工を見たので十六日支社事務所を舊社屋より移轉し十八日工場の試運轉を行ひ同時に午後一時から新京神社神官によつて修祓の式を行ひ支社員一同參集祝盃を酌んで社の前途を祝した

人の情けに背いて不運な男死を選ぶ

一巡査の隱れた篤行

十八日午前六時敷島廣場大連ホテルの十五號室で親身も及ばぬ溫かき一巡査の情にそむいて自殺を企てた男があつた、此の男は原籍福岡縣糸島郡雷山村字有田六三七山口正太郎（三三）といひ十七日午後六時頃しよんぼりとした

姿で 前記大連ホテルに來り一泊する旨を告げたが、嘗て夫婦連れで滯在した事もあり顔なじみの同ホテルでは別に不審にも思はず十五號室に案内した、その夜は夕食を攝つたまゝすぐ就寢した模樣で服毒は十八日午前六時頃と思はれるが、服毒後二時間位たつた後苦しさに堪へ兼ねた山口はベルを押して助けを求めたので女中が行つてみると

既に すつかり毒が廻つて虫の息を續けてゐる有樣に早速同ホテルでは敷島廣場警察官派出所に届け出たものである、同派出所で一應取調べの上直に大連聖愛醫院に擔ぎ込み應急處置を施したが頗る重態で此處一週間位が最も危險であると、なほ山口が殘して居た大連水上警察署有友巡査宛ての遺書によつて長い間のかくれてゐた同巡査の美德が計らずも發見さるゝに至つた

有友巡査は在滿警察官の中でも劍道にかけては最も優れた腕の持主であり、本年五月東京に於いて行はれたオール滿洲對鐵道省の劍道大試合の際派遣された時、歸りの船の中で門司から山口と知り合ひになり、彼が田畑を賣り妻を殘し悲壯な

決心 で滿洲で一旗上げようとする雄心に動かされて、大連上陸後有友巡査は大和町の自分の官舍に彼を宿泊させ爾後二十日間全く親身も及ばぬ溫き情によつて就職の口を探し求めた末漸く某運送店に月給六十圓で就職させ、その上下宿屋までも探してやるといふ親切をつくしたが、彼も一時は同巡査の恩に感じて一心に働き出し、やがて郷里から妻を呼び寄せたが、六十圓の收入では足らぬところから妻を浪速町の食道樂へ仲居として住み込ませた、ところが本紙が嘗て報じたやうにこの妻は四日も經たぬ中に泥醉の

結果 或る男に操を奪はれたので、山口は以後全く自暴自棄となり逢坂町某樓に通ひつめ抱へ娼妓金龍こと仲になつて、それ以後といふものは又元のルンペンに返り、一方これも本紙の報じた如く佐賀縣藤津郡濱町村島マツ（三五）の就職をマツの郷里と親類關係にあつたので大連に呼び寄せたのが、偶てマツが歸る家を忘れて十月一日大連署の厄介になつたといふやうな失態を起し、あれやこれやの惡運が重なり、今まで有友巡査から受けた厚い恩に對しても全く申譯ないといふ責任觀念から此の擧に出たものと見られてゐる

普蘭店驛で貨車脫線顚覆

下り線不通となる

【普蘭店電話】十八日午前十一時頃普蘭店驛構內北部ポイント附近工事中の箇所にて上り二百八十六號列車の機關車より十三輛目の石炭貨車二輛が下り線方向に脫線顚覆し乘務員その他に死傷なし、復舊には七、八時間を要する見込み原因はバラスの敷込みが未完成のカーブの箇所を徐行の信號あるにも拘らず普通の速度で通過したものらしい

斯波隨性氏離連

本派本願寺滿洲開教總長兼關東別院輪番斯波隨性氏は昨年六月赴任以來健康すぐれぬため京都に引揚げ靜養すべく十八日出帆はるびん丸にて離連した

林滿鐵總裁

林滿鐵總裁は滿洲國皇帝陛下の奉天御巡狩御召列車に供奉するため十八日午後四時二十分發列車で新京に赴くが、陛下の新京御歸還をお送り申上げた上二十一日朝歸連

明日のお菓子祭

明十九日忠靈塔境內に於て施行される大連菓子商組合のお菓子祭には百數十軒の菓子商より寄贈のお菓子袋が澤山集つて居るので一般參詣者に分配する由

天氣予報 十九日

南西の風晴

滿潮（午前六時五五分 午後七時三五分）
干潮（午前零時一五分 午後一時一五分）

各地溫度（十八日午前十一時）

大連	一八	奉天	一二
旅順	一七	新京	一〇
營口	一四	新義州	一三

今日の小洋枡あ（十一時半） 金百圓につき百九圓三十五錢

〝北滿の義人〟〝日本人は此處にあり〟のレコードけふ入荷

映畫に、事實小說に、又歌に全國的にその名を謳はれる北滿の義人村上久米太郎氏の義擧をたゝへるべく本社が熱血詩人佐藤惣之助氏に委囑して作詞した「北滿の義人」別名「日本人は此處にあり」は既報の如くコロンビアの手によつて新進作曲家古關裕而氏作曲、奧山貞吉氏編曲、中野忠晴氏獨唱、コロンビア・オーケストラ伴奏の下に吹込み製作中であつたが、十八日入港定期船によつて入荷、即日市內各蓄音器店より發賣することゝなつたが歌詞、歌曲共に義烈輝く日本魂をたゝへる莊嚴を極めたものであるから必ず一般家庭より歡迎を博することであらう

親鸞聖人（23）

鳳雲篇　吉川英治作　山村耕花畫

啞の世（十二）

ともあれ今の吉光の前自身なり有範の家庭といふものは、謙讓にして清粗な、足るを知つて不平を思はない生活を持して、ひたすら精神の位置を、信仰と、そして夫婦愛と、子の愛育とに置いて、いはゆる世間の名聞利慾からは遠く離れて住み澄ましてゐたのであつた。

で――朝にも夕べにも、この館の持佛堂には、一刻のあひだ、有範夫妻のたのしげな念佛の唱名がもれる。

又、それに倣つて、若い郎黨の侍從介も、顔をあらひ、口を漱ぐと、太陽を禮拜して、

「……」

默然と念佛する。

下婢も、さうであつた。

乳母もさうであつた。

水を汲み、使に走る童僕までが、それを習ふやうに至つて、この古館は、何か、燦然たる和樂につゝまれてゐるかのやうに他人からも羨ましく見えるのであつた。事實、六波羅殿の榮耀も、小松殿の豪華も、この草間がくれの夫婦の生活にくらべれば、その平和さにおいて、幸福さにおいて、遙かに、及ばなかつたに違ひない。

雁がわたる――秋は深み行く。

仲秋の夜だつた。

「兄上、ちとばかり、酒瓶に美酒さげて參りました」

宗業が訪れた。

やがて、範綱も見える。

十五夜ではあり、かう三名の兄弟がそろふと、ぜひ共、一献なければなるまい。吉光の前は、高坏や、膳のものを用意させて、自分も十八公麿を抱いて、圓かな月見の席につらなつてゐる。

わざと、燭は燈さずにある。すすきの穂の影が、縁や、其處此處にうごいてゐる。廂から射し入る月は燈火よりは遙かに明るかつた。

杯のめぐるまゝに、人々の顔には微醺がたゞよふ。――詩の話、和歌の朗詠、興に入つて盡きないのである。

と、思ひ出したやうに、

「さう〳〵」

吉光の前へ向つて、宗業が云つた。

「六波羅の探題から、なんぞ、お許樣へ、やかましい詮議だては、ありませんでしたか」

「……」

吉光の前は、顔を横に振つて、

「べつに、六波羅役人から、左樣なことは申して參りませんが？……何ぞそのやうな噂でもあるのでございますか」

「いや何、私の取り越し苦勞です――と云ふわけは、お從弟の鞍馬の遮那王どの。たうとう、山を下りて、關東へと、身をかくしてしまはれたといふ事です」

「えつ……遮那王殿が」

「油斷をしてゐた爲、だしぬかれたと、平家の人たちは、地團太をふんでをります。さうでせう、謀叛氣がなければ逃げるはずはありません。忽然と、あの稚子が、姿をかくしたのは、まだ、少年ではありますが、明らかに、源家の挑戰と見られる」

「でも、まだ十六歳の小冠者が、どうして、逃げ了せませう。……傷ましいことでございます」

彼女は、ふと、月にかゝる雲を見た。ひそかに心のうちで禱つてゐた從兄弟の失踪に、また幾人の血につながる者たちが哭くのではないかと戰慄した。

そして、氣がつくと、自分の膝に戯れてゐた十八公麿が、いつのまに、月の光の中を、他愛なく、這ひまはつて、縁へ出てゐた。

[illegible]

ナチスに惱む天才チエリスト　大フオイヤーマンの歎きの『チゴイネルワイゼン』

今秋樂壇の最後を飾る大天才エマヌエル・フオイヤーマン氏の來連は單に今秋の最大收穫であるのみならず滿洲音樂史に特筆さるべきものであるが、氏の來連に先立つてその人となりを語つて見やう、フオイヤーマン氏はカザルスと共にチエリストとして世界樂壇の最高地位にありポーランド、コロメアの生れ、十三歳で既にステーヂに立ち、十八歳の時にはドレスデン・フイルハーモニーの獨奏者として活躍してゐたといふ天才で本年三十三歳である。今までシコラ、ホルマン、ストウピン等以外にはチエロの大家といふものを迎へたことのないわが樂壇にとつては正に珍客といふべきである、彼は例のナチスのユダヤ人排撃に遭ひ、ベルリン高等音樂院教授の地位を奪はれたがこれを知つた學生達が揃つて退學を申し出て師と行動を共にしたいといふことで、これによつても如何に彼が人氣があるかといふことが判る

チエロの獨奏といふと重々しくて如何にも地味なものゝやうに思はれてゐるが、フオイヤーマン氏はヴアイオリンでさへ、一寸簡單には彈けないサラサーテの「チゴイネルワイゼン」をチエロで易々として彈いてのける程の素晴らしい腕を持つてをり、またチエロを歌はせる點で我々を十分に樂しませてくれる、我が樂壇に重きをなしてゐる新鋭の齋藤秀雄、大村卯七氏等は共にフオイヤーマン氏に師事した人々である

映畫　北滿の落花　とシモノーフ將軍

日露戰役で皇國のため北滿の花と散つた横川、沖等六烈士の勇壯美談は「北滿の落花」と題して財團法人ハルビン六烈士事績保存會で現地を背景に、淺岡信夫主演、日露滿三國人の協力により十四卷のトーキーとして完成された、當ロシヤ武官アフアナシエフ將軍（六烈士の軍法會議裁判長）メヂーク將軍（逮捕司令官）シモノーフ將軍（銃殺指揮官）は今尚ほ現存してゐるが、シモノーフ將軍は各將軍を代表して去る十五日入京した

當時大尉だつたシ將軍も六十歳を超え當時を回想しつゝ六烈士以下の自若たる態度を激賞し、その後刑場附近には決して立寄らぬと言ふ（寫眞は當時を偲ぶシ將軍の指揮と現在のシ將軍）―東京發

關八州男伊達　大河内、志波作品

「水戸黄門」に次いで日活の大河内傳次郎が着手する主演作品、志波西果監督とのコンビは假題「血染仁義」を「關八州男伊達」と十三日題名が本極りとなつた、カメラは谷本精史が直にロケハンを開始したが、大河内は「三度笠」に次ぐ三尺物である

池田富保監督　日活の專屬と決定

日活にフリーの立場から入社してゐた池田富保監督は浪曲トーキー「佐渡情話」でヒツトしたので十三日正式に日活專屬と決つた

二硫化炭素を用ひ林檎害虫は驅除出來る

農林省兩技師試驗の成功

近く入禁解除運動を起す

農林省の滿洲苹果の内地輸入禁止は約三割見當の増收を豫想せられてゐる折柄さて滿洲における當業者の死命を制する問題として、數ケ月に亘り農林省、關東廳、滿洲果實販賣組合等の間に種々折衝が重ねられた結果農林省では八月中旬、上遠、尾上兩技師を滿洲に派遣現地調査に當たらしめてゐたが約五十日間に亘る兩技師の調査研究により問題の姫心喰蟲は二硫化炭素の燻蒸により完全に驅除し得るのみならず、林檎の本質をそこねるものでないことが判明過般兩技師は歸京した、この結果デッドロックに當面した輸入禁止問題も大體本年中に解禁可能の曙光を見出すに至り販賣組合ではこれが解禁を促進すべく全面的活動を開始することゝなり、田邊理事長は十七日新京に向ひ滿洲國を通じて解禁要請をなす一方千葉理事は二十日上京農林省を始め各方面に問題の好轉を懇願することゝなつたなほこの解禁豫想により從來屏息状態にあつた南洋方面の取引も圓滿に行くものと見られ、當業者間は活況を呈するに至つため右の理想實現は阻まれ他方密輸を促進して市場は攪亂され正道を歩く業者が苦境に陷つてゐる有樣である

なほ一行は二十日新京へ向ひ財政部大使館等の當局者に陳情する筈（寫眞は陳情一行）

奉天の本年度建築費二千萬圓を突破す

戸數にして三千五百戸

【奉天電話】事變以來急速に膨脹し發展しつゝある奉天の建築界を顧みると昨年度二千戸の建築に對し本年は九月末日の調査によると三千戸を突破する狀態で今後十、十一月を合すれば三千五百戸に達する見込みで今これを工費別にすると

關東軍	百五十八萬圓
關東廳	十五萬七千圓
奉天省	三萬五千圓
奉天市政公署	一萬三千圓
滿鐵地方事務所	八十二萬三千圓
同鐵道事務所	二十七萬二千圓
鐵路總局	四百六十九萬六千圓
奉天鐵路局	十四萬九千圓
その他官公署特殊會社	百七十二萬一千圓
奉天市民間	五百九十二萬六千圓
奉天工業地	百四萬圓
計	一千六百四十一萬五千圓

であるなほ昨年の奉天市民間建築費は三百九十八萬二千圓であるが本年は二千百萬圓以上の空前絶後の好景氣を示してゐる。

〝石鹸關稅引下げは日滿兩國の利益

關稅減收にはならぬ〟

内地石鹸業陳情に來滿

滿洲國政府では來る十二月關稅の全面的改正を斷行し來年度から實施するが、この關稅改正に先立ち現在滿洲國を唯一のお得意とする大阪石鹸同業組合から松原石鹸合名會社長松原一郎氏以下一行六名が關稅引下げ運動のため十八日入港の扶桑丸で來連ヤマトホテルに投じたが語る

現在滿洲國の石鹸輸入高年額二百萬圓の内殆ど全部私達が輸出して居るが、滿洲國の關稅は支那政府時代の高率關稅を踏襲したものが多く化粧石鹸は三割を課せられてをり洗濯石鹸は二割であつたものが現在一割となつてゐる、關印方面への進出を阻まれ滿洲を唯一のお得意としてゐる我々としては化粧石鹸の三割を一割に洗濯石鹸の一割を五分にして戴き輸出の促進に努めたい、關稅を引下げることによつて滿洲國の關稅收入が減少するものではなく却つて増加する現に昨年洗濯石鹸に對する關稅二割を一割に引下げてから昭和八年上半期の洗濯石鹸輸入高十八萬圓が昭和九年度上半期には四十二萬圓と倍額以上に上り關稅收入は増加してゐる、關稅引下げによつてのみ日滿ブロック經濟の理想は實現されるので現在の如き障壁のた

金融合作社理事

候補者内定す

全滿に於ける金融合作社工作は滿洲國財政部によつて着々進捗しつゝあるが、今回左記合作社を設立することゝなり目下準備中であり又これ等合作社擔當の理事候補者も第一回金融合作社理事養成所修了者中より内定してをり近く合作社成立の上は正式任命を見る筈であるが、理事氏名及び擔當合作社左の如し

▲奉天省　懷德（武長謙吉郎）昌圖（見山忠助）本溪（村井清）綏中（福島繁作）海龍（町田知法）黑山（岡本茂夫）義縣（井原峰生）營口（奧村秀夫）梨樹（木藤格之）法庫（川手等）▲吉林省　九臺（佐藤嘉雄）長春（高城貞雄）双陽（中島誠）伊通（丹羽正雄）阿城（仁科正克）依蘭（尾關行良）樺川（田中虎之助）▲黑龍江省　訥河（今田益市）綏化（播本秋一）巴彥（秋葉博）海倫（小泉末太郎）富裕（川村英男）

松花江本年度貨物輸送高

【ハルビン十七日發國通】松花江航業聯合局所屬各汽船の本年度貨物の輸送高は六十七萬噸その主なる貨物は大豆三十萬噸、石炭十七萬噸、雜貨五萬噸其他である、昨年度に比較すると輸送貨物は二割五分以上の増加を示してゐる、尚右貨物の輸送による利益金は概算二百萬圓の由又各船舶は來る十一月一日迄に全部ハルビン埠頭に集結して本年度の航行を終り冬籠りすることになつてゐる

株　福奉公司　滿洲取引所仲買人　奉天宇治町七・電四〇八七

縞三綾、綿ネル、綿縮み輸出減少の原因

全般的統制が必要

【東京十六日發國通】縞三綾、メンネル、綿縮みの輸出が近年漸次衰退傾向にあるためこれが統制の衝に當る日本綿織物工業組合聯合會では右三綿布の有力輸出市場たるエジプトの情勢を調査すべくカイロの日本商品館宛に實情調査を依頼中であつたがこの程三綿布の衰退原因を報告して來た、それによればこれが理由として

一、生産販賣の量統制のため市價は一定以下を維持してゐることゝ

從つて類似品の輸出が旺盛で從來の右綿布の消費地盤が蠶食されて來たこと

一、縞三綾の類似品に關しては最近ロシア綿布の進出が殊に目立つてゐる

尙ほその報告によれば部分的の統制は類似品、模造品の出現を促した感があるので綿布の統制はこれを全般的に行ふことの必要なるを附言してゐるのは目下各部分の生産乃至販賣の統制實施中の際とて注目されてゐる

銀輸出稅増徴の結果

上海標金急騰す

一躍、一千二十二元

【上海特電十八日發】上海標金市場は前日に引續き異常の波瀾相場を現出し寄付九百七十九元と奔騰して寄り高値は一千二十二元の新値を示現し九百九十七元に止め（爲替市場も亦ノミナル）乍ら百十八圓臺から百十二圓を唱へるなどますく波瀾性を昂めた

【上海十七日發國通】國民政府の銀輸出稅増徴は果然本日に至り爲替標金市場に異常の亢奮を捲き起し標金は昨日引値九百五十元から一躍九百七十三元五角に急騰し爲替市場も銀弗が先安見込みから支那側思惑筋の買煽りと一般實需筋の思惑で急騰し今朝の百二十四圓（銀行賣り）が正午には百二十五圓に反撥、引跡氣配も銀軟弱を示してゐる

上海標金の奔騰で

鈔票稀有の大暴落

去月來昂騰の一途を辿りつゝあつた大連錢鈔市場の鈔票は十五日支那國民政府の銀輸出稅引上を動機として頭打ち商狀となり十六日には四圓方の反落をみせ十七日の休日中も上海標金の奔騰から現物氣配は百二十七圓臺を唱へ翌日安を豫想されてゐたが十八日前場入報の海外市況は休日前に比し紐育銀塊八分一高、孟買銀塊十六分一高乍ら倫敦銀塊は現物先物共一片方の暴落米支爲替二弗七五仙安、米日爲替三仙安、上海標金は二十元方高の九百七十九元五に寄り日本向爲替は百十八圓臺に寄り當市は前日止値より五圓五錢安の百二十六圓に寄りアト上海日本向一千二十元と奔騰し、上海日本向ものノミナル乍ら百十二圓臺を入れ更に市場では機構問題に關する前途不安の念も加はり人氣ますく惡化し安値は百二十四圓五十錢まで突込み引際やうやく下げ一服の商狀となり百二十六圓三十錢に止めたが十六日の高値百三十六圓六十錢より十八日の安値百二十四圓五十錢と二、三日中十一圓方の慘落は稀有の波瀾相場を演じた譯で

錢鈔市場の増證追徵

大連錢鈔市場では鈔票相場の變動甚だしきを以て十八日正午從來の建玉に對し増證據金四百圓を追徵することになつた錢鈔市場では十六日までの建玉につき増證據金四百圓を追徵することになつた

見本市と同行して見た熱河諸都市の商況

（4）……朝陽の將來は如何

山下特派員記

朝陽の將來はどうなるであらうか。一時的なブームを見せただけで、さしたる事もなく凋落して行くのではないだらうかとは最近屡々耳にする言葉である。といふのは鐵道も既に復源までは假營業を開始し、熱河への入省者は此處に一泊する必要がなくなつた、このことは本年八月入省許可事務の取扱が廢止されてからはなほ更のことゝなつて、一時の樣に熱河へ志すものは、必らず此處を宿場として、入省手續を濟まさねばならぬ必要もなくなつたので、寧ろ葉柏壽が赤峰への分岐點として發達もしようが、朝陽は單なる通過驛に止るのではないかといふのである。

◇

入省許可制に就いては、過般新聞紙上にその復活が報道された事實もあるが記者の聞き訊した處によると、現在許可事務は復活し居らず、入省者は許可を受くることなしに自由に朝陽を通過してゐる只許可制廢止以來當地には浮浪者が激増し、錦州に於ける領事館裁判の八割までは、それ等の浮浪者であるといふ有樣である、比較的治安の確立してゐるこの地方では、あるが、國境に近く思想系統の犯罪者の流入にも備へねばならぬから、當地において復活運動の起つてゐる事、事實である

最初入省許可制が實施された當時は、内地側資本の進出を封ずるものゝ樣に誤解された事もあつたが、寧ろ事實は歡迎してゐる旨を軍方面では述べてゐた

◇

當地は事變後治安の確立に見るべきものがあり、殊に日滿人間の融合は、協和會等の努力に依つて實績を收めて、非常によく結ばれ、軍方面も日滿人兩者の融合とその經濟的發展については、何くれとなく後援してゐる。

人口は本年七月末現在、日滿人總計一三、〇〇〇名、日本人一一〇〇名、最近の動態に増減はない、寧ろ小學生數に於ては本年四月末二十七名、同九月末五十一名と著増し、人口増加を類推すべき節がある。土着民も治安の定まると共に増加してゐる一般商人側の景況は、大體錦州の場合と同樣で、日本人側の商賣が歷然的優勢であることも同じである。

◇

地理的に云つて當地は、蒙古、チャハル方面の貿易經路が東漸すれば、非常に形勝の地位にあり、土地の人々も此點に着眼し、蒙古貿易を開拓するものは朝陽であるとしてゐる、しかし同方面には平津貿易の根強いものがあつて、天津から喜峰口、平泉を經て、赤峰に入る雜貨類は内地品四、外國品六の割合でないかと推定される、毛皮類、豚毛等の土產品は灤河の舟運に依つて或は塘山經由天津へ殆ど外商の手に依つて引取られる狀況で、これには相當額の密輸が想像されるが、現在の日本商品は關稅を拂つて尙ほ之れと競爭出來るのであるから、奉天を中心圈とする日本商品の進出を土地の一般商人は非常に待望してゐる。

◇

現在當地方が集散する近傍の土產品は矢張り毛皮類が一頭地を拔き山羊皮、緬羊皮、羊毛、狗皮、猪鬃、猪毛、牛皮、馬皮、羊絨駝毛等年產額最低馬皮の三〇〇張から、山羊皮は三〇、〇〇〇張、緬羊皮二〇、〇〇〇張、狗皮五、五〇〇張、羊絨二五、〇〇〇斤、猪毛三〇、〇〇〇斤に及んでゐる。

しかも之等は未だ日滿方面に充分歡迎されてはゐない。之は輸出機關などの設備もない爲に、規格が非常に粗雜な事にも依る、例へば天津方面に出る毛皮類は土着人は之を朝露に打たせ、小砂をかけてキリく搾り込んだ上、之をはたいて重量を増し市場に送るのであるが、買手の外商は、チャンとこの事を心得てゐて、割安の値段で引取るので、結局賣れても砂代だけの運賃を損してゐる。その點生產組合でも作つて規格を嚴重にする事が何よりも急務とされる。

◇

棉作は鎭縣程の被害は無いらしく、土地側の説明では成績ただの事である、一方雜穀としては大豆高粱、包米、芝麻、蕎麥、小豆等があり大約二十萬石との事であるが、之は壺蘆島經由大連へ或は錦州から營口、奉天、大連等へ出てゐる。

◇

日本商品として輸入されてゐるものは人絹類、メリヤス類、化粧品、護謨製品、沓下、織物類等である。

これは同地の見本展で滿商が示した傾向であるが、三時から五時までの短時間であつたが、協和會等の手廻しもよかつた故か、約三百名の滿商が、熱心に參觀し、就中、日本人絹の安さと良さには可成心を動かした模樣である。他に當地方に於て進出の著るしいものは所謂雜貨であつて、何でも滿人には雜貨が安いといふ先入觀があつて、新品より割高のものでも平氣で買ふ事があるといふ話。

◇

日本商品進出の爲に此處に殘された問題は、金融機關が中央銀行一つしかない事で爲替取引に於て不便であることゝ今一つは取引に於て小口注文の類に日本商側が堪へない事で、共同仕入、共同販賣といふ樣な形式が望まれてゐる、幸ひに當地では日滿貿易商會が生れ、日滿貿易の斡旋機關として活動してゐるのは將來大いに期待される。（寫眞は朝陽）

株　水越株式店　大連株式取引人　電長三三八　大連敷島町六八

麥粉市場の活況

入荷は多いが荷捌良好

十月一日より十日に至る大連港の小麥粉輸入高は八十萬三千三十三袋に達し依然濠洲粉が首位を占め五十四萬三千四十一袋と全輸入高の六十七パーセントを示してゐるが、米加粉は一袋も姿を見せず皆無であつた、これが仕出地別左の如し（單位千袋）

仕出地別	數量	百分比
日本粉	二三九	三〇、〇
濠洲粉	五四三	六七、五
上海粉	二〇	二、五
計	八〇三	一〇〇、〇

以上の如き濠洲粉が引續き多量入荷したにも拘らず奧地方面の荷捌が引續き良好であつたため荷捌高は五十一萬八千袋と好成績なり逆ために埠頭在高も順調で、十日現在に於て百六十一萬七千袋を示した、なほ上旬市況は九月末買氣沸騰した後を受けて偶々海外材料反落、銀軟弱に問屋側沈默し好なりしも殆どすべて期近買に始終し先物は濠洲粉安を入れ買漁る向もあつたが一般に商内不振市場は最盛期を控へなることゝて荷捌良は大保合を呈してゐた

採木公司の流筏

三十八萬尺締

【安東十六日發國通】滿洲の土建界活況に鴨綠江採木公司では本年度は原木伐り出し四十五萬尺締、（一尺締は一尺角の長さ十二尺）を目標に奧地へ輕鐵敷設など馬力をかけてゐたが、今春來の匪害水害に流筏意の如くならず昨今早くも上流長白地方は氣溫降下作業停止期も近づいたので結局本年度の流筏總量は三十八萬尺締程度と觀測されるに至つた

株と銀　久記證券部　營業案内進呈と御用命　奉天宇治町二三番地　代電二一二五番　支店・新京・撫順・蘇家屯

米價當分は保合

大連米穀同業組合の發表による十五日現在大連市内白米小賣標準値段は左の如くで前旬來保合を續けてゐる、目先觀は新米出廻期に入りながら出廻は順調を缺きつゝあり、既に古米もストックは殆ど皆無の狀態であるから出廻期ながら、當分は、この保合圈内を出でざるものと觀測される十五日現在小賣値段左の如し

無檢查特等（撫順新米）一叺金八圓四〇錢▲同（鐵嶺新米）同八圓二〇錢▲無檢查物同七圓八〇錢

大連商工案内

大連商工會議所の年刊大連商工案内九年度版は漸く刊行の運びに至り十六日一齊に發賣された

正金支店長會議

正金大連支店では十八日より在滿各支店長を招致し定例支店長會議を開いた

黃塵

◇…年久しい大連驛問題だつたがいよく來春から着手して二箇年で完成することになつたことは芽出たい。

◇…山条總裁の一喝がなければ當然日本橋畔に聳え立つてこゝ何年來毎日數萬の人を吞吐したであらうが。

◇…同時に大連市西漸の勢ひから取殘され、ぼつく不自由が叫ばれ出す頃であるかも知れぬ。

◇…「急がずば濡れざらましを旅人の後より霽るゝ野路の村雨」

◇…幾年か不自由な思ひをした譯だから、遲れただけの事があつたと思はせるやうな便利な、いゝ建物を建てゝ欲しいものだ。

市況（十八日）

特產

銀價慘落に大豆昂騰

今朝の定期は大豆は銀價慘落に奧地筋賣も利かず昂騰を辿り、豆粕は銀安を眺め邦商買に昂騰、豆油は南支筋買に昂騰を呈し、高粱は銀安のため強調を告げた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	三五四〇	三五四〇	三五三〇	三五三〇
十一月末	三五六〇	三五六〇	三五六〇	三五六〇
十二月末	三五七〇	三五七〇	三五七〇	三五七〇
一月末	三六〇〇	三六一〇	三六〇〇	三六〇〇
二月末	三六六〇	三六七〇	三六一〇	三六四〇

出來高　三百七十十車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（昂騰）單位厘

[豆粕・豆油・高粱 定期相場表 — 數字細部判讀困難]

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	三五四〇	三五七〇
普通大豆（袋込）（裸物）	三四七〇	三四八〇
豆粕	一一八〇	一一八〇

▲包米　出來不申　出來高　八十五車

豆

けさ大豆は十六日後場の氣配に引續き銀價の慘落を眺め奧地筋賣も利かず七錢乃至八錢方高と昂騰を辿つたが▲銀の慘落程度に比し七、八錢方の昂騰振りではなほ氣配弱を思はせるが、銀安に内地側の採算も引合ふべく今後相當買氣強を見せるであらう、當日の出來高は三百七十車と良好を呈す▲豆粕は邦商買に昂騰、豆油も南支筋買に昂騰を告げ、高粱は邦商の買も利かず銀安のため強調▲現物大豆は七錢方高と昂騰を見せ十六日前場に比し十二錢方高である、三井三〇、三菱二〇に油坊筋一五〇と二百車の出來高

錢鈔

上海標金奔騰　鈔票瓦落

海外市況は當市休日前に比し倫敦銀塊一片安、先物一片安、紐育銀塊八分一高、孟買銀塊十六分一高、米英クロス二仙四分一高、米日爲替二仙安、米支爲替二弗七五仙安、大連中九四圓、滙燈九三圓五〇、大洋九五圓、滙水百十九圓臺より百十六圓二分一、上海標金は二十元方高に寄りアト更に三、四十元高と奔騰を入れ當市鈔票は五、六圓方の慘落を演じた

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一二六〇〇	一二六四〇	一二四五〇	一二六三〇

出來高期近二千七百十二萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一二六八〇	一二五九〇	一〇八〇七
十時	一二六三〇	一二六三〇	一〇九八〇
十一時	一二五四〇	一二六〇〇	一一〇〇〇
十二時半	一二六四〇	一二六二五	一〇九三三

出來高（銀對金百二十四萬圓）（銀對洋三萬六千圓）

銀

前休日中上海市場は標金九百七十元臺と奔騰し當市現物氣配は百二十七圓見當を示し▲早くもけさの暴落が豫想されてゐたが果然海外は倫敦銀塊一片安、上海標金九百七十九元五と二十元高を入れ▲鈔票は休日前より五圓方安に寄り安値は更に一圓五十錢安の百二十四圓臺と突込み大波瀾相場を演じた▲上海安につくか海外につくかと問題視してゐたが今の處完全に上海についた譯である▲二、三日の内に十圓安は稀有の相場であるが目先下げ一服の模樣であすの海外安で落したところは寧ろ好個の買場所とみる向きが多い

株

休日明けの大阪定期は諸株共保合なるも東京短期の新東は二圓方低落▲日產も一圓五、六十錢安と軟弱を入れ當市は五品五十錢安、土木一圓四十錢安と低落した▲機構問題は軍部案通り決定をみたので拓務省及び現地方面に可なり動搖をみるべしと懸念され▲更に北鐵問題も未だ難關ある模樣となつたので株界も警戒人氣になつたらしい▲當分成行きを靜觀して陽發相場を待つ外あるまい

株式

新東日產低落　五品軟弱

北濱定期の前場寄は大株二十錢高、鐘紡四十錢高、鐘新十錢高引は保合、東京短期の新東は二圓搦み安、日產一圓六十錢安を入れ當市の五品五十錢安、土木一圓四十錢安、新東二圓九十錢安日產一圓八十錢に引けた

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品（寄）	二〇六	二〇八
五品（中）	—	—
五品（引）	二〇六	二〇八

◇延取引

[延取引表（五品・新豆・錢鈔・氷新・電々・電乙・滿鐵・同新・土木・大新・東新・鐘新・日產・朝取） — 數字細部判讀困難]

◇爲替及受渡日步

[爲替及受渡日步表 — 數字細部判讀困難]

商品

麻袋崩落　綿糸布釘付

●麻袋　產地休會なるも鈔票の大奔落に買物影を潜め厘方安と低落した

●綿糸　●綿布　米棉十ポイント高も印棉休會大阪三品は全休を入れ當市は氣乘薄見送り

[麻袋・綿糸布 定期相場表 — 數字細部判讀困難]

手形交換高（十八日）

爲替相場

鮮銀

奧地相場

錢鈔

[爲替相場・奧地相場・錢鈔相場表 — 數字細部判讀困難]

市場電報

銀塊及爲替（十八日）

倫敦銀塊	二三片八分七
同　先物	二四片〇分〇
紐育銀塊	五四仙八分三
孟買銀塊	六〇留比一六分五
スチール	三三弗八分三
アナコンダ	一一弗四分一
英米爲替	四弗九三仙〇分〇
米日爲替	二九弗七二仙
米支爲替	三四弗五〇仙

神戸日米

第一回	二八弗八分五
第二回	二八弗八分五
第三回	二八弗八分五

棉花

●米棉

現物	一三仙六〇
十月	一三仙二一
十二月	一三仙四七
一月	一三仙四九
三月	一三仙四七
五月	一三仙五三
七月	一三仙五七

●印棉

ベンゴール	一三六留比
ブローチ	二三三留比

大阪株式

東京株式

大阪期米

神戸限米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

印度麻袋

[大阪株式・東京株式・大阪期米・神戸限米・東京期米・大阪綿糸・大阪棉花・橫濱生糸・印度麻袋 相場表 — 數字細部判讀困難]

(日刊) 昭和八年十二月五日第三種郵便物認可 昭和九年十月十九日 滿洲日報 (金曜日) 第一萬二百四十七號 (一)

朝夕刊共十二頁
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社 振替大連一三五號 六〇

首相、農相を招致して 機構問題の鎭靜策を協議す

根本對策二項を決定

【東京特電十八日發】政府の原案強行一決の公報に關東廳首腦部はもちろん全廳員は辭職を決行する一方、拓務首腦部に於ても田中政務次官、手代木參與官は遂に辭表を提出し、省内にも依然不滿の聲高く、政府が庶幾するごとき鎭撫平靜は急速に望み難き有樣であるため、岡田首相は十八日午後零時半後藤農相を招致し善後策を協議、根本對策として〃拓務省ならびに現地關東廳首腦部の辭表提出は單にこれまでの行懸りからの責任感から出發せるものであるから、條理を盡くして慰留すれば飜意するに違ひない〃、〃現地警官の動搖は陸軍當局とも十分連絡をさつて鎭撫する方針で臨む〃の二項を決定、表面樂觀を裝ひつゝも事態の鎭靜策に焦慮してゐる

展よりするも日滿親善の上よりするも將又對外關係より見るも文治警察制度擴充こそ刻下の急務であつて憲兵警察制度實施の如きは毫末もその必要を認めざるのみならず斷然これを排せねばならぬ(後略)

誤解と不安は無用

政府の聲明

【東京十七日發國通】在滿機關改革問題に關し政府は十七日臨時閣議の結果に基き内閣書記官長の名において左の如く聲明した

對滿關係機關の調整に就ては曩に九月十四日の閣議に於て成案を決定したところに基き着々準備進行中であつて昨日及今日の閣議に於て更に現地の狀況其他諸般の關係につき種々善處方を考究した、政府に於ては曩に決定した方針は終始一貫して變らず今後必要なる法令の立案を急ぎ對滿關係機關の統制を確立するものである、此の案の實施に依つて警察が憲兵化する事を心配する向あるも命令系統の統一を圖るものであつて警察機關を憲兵化するのではない、此の點につき誤解なり不安なりを持つは無用である、各關係方面において夫々本案の根本趣旨を徹底諒解し又之に關する誤解を一掃せん事を希望する、政府は之に依つて對滿國策の圓滑なる運行を期する次第である

鎭靜に歸したる場合

責任追究せず大體不問に附す

鎭撫工作と政府の方針

【東京特電十八日發】政府は今回の鎭撫工作を以て現地警官の反對運動は鎭撫し得るものと確信して居るが、鎭靜に歸したる場合には警官の今回の行動は官吏の職分に鑑み妥當を缺いて居るが、これは感情の昂揚して居る際の事であり敢て責任を追究するにも及ぶまいとの見地より大體不問に附し、政府としては飽くまでも鎭撫を第一とし、彈壓は最惡の場合の策とな し警官側が政府の親心を無視して依然反對運動を續けるにおいては斷乎たる措置に出で官紀の肅正を計る事になつて居る

(中略)然るに軍事警察を其の存立の本分とする憲兵と前敍の如く其の本質及び職分全く相異る普通警察とを混淆統一せんとするは國家百年の大計を誤る不合理の策であつて關東都督府の末期に於て既に吾人は苦き經驗を嘗めたところである(中略)吾等關東廳警察官は從來管内外の治安維持及び權益擁護に盡し軍部との連繫協力に在りても遺憾なく其機能を發揮して今日に至つたものであつて我對滿經濟發

政民兩黨提携して 機構問題論議

臨時議會の波瀾豫想

【東京十八日發國通】在滿機構問題は原案を強行するに決定したに對し政民兩黨の間には政府が今日まで事態を紛糾せしむるに至つたのは現政府が憲政常道に基かざる變態内閣であるに由來するのであるとこれを頗る重大視してゐる、從つて政民兩黨は從來の行き掛りを一掃して憲政常道復歸のため相提攜すべしとの聲漸く昂まつて來た殊に民政黨員各個の間には今回の問題に對する政府の態度に不滿を抱くもの尠くないので、來るべき臨時議會に於ては當然同問題は論議の中心となるべく、質問その他に於て兩黨が一致結束的態度を執る可能性は次第に濃厚化しつゝあり、現地情勢の進展如何と相俟つて政民兩黨は愈々接近して行くことは必至と見られる、兩黨が協同して政府案反對乃至修正の擧に出でないとも斷じ難いので、臨時議會に於ては幾多の波瀾を捲き起すべくその成行頗る注目されてゐる

諮詢の必要があるので議會に於て豫算成立の見込がつけば閣議に於て官制案を正式に決定樞府御諮詢の手續きを執る筈である

機構改革案

臨時議會に提出

【東京十七日發國通】政府は在滿機構改革に關し既定方針通り原案執行に決定した以上出來得る限り速かに之を實施する事とし之に要する經費は昭和九年度追加豫算として來るべき臨時議會に提出する事に閣僚の意見一致した

尚機構改革に伴ふ官制は樞府御

全滿警部大會も聲明書發表

夕刊所報の如く十七日午後一時から開かれた全滿警察署警部大會は非常な緊張裡に議事進行し警部代表上京の件を可決外六議題を協議し最後に大要左の如き聲明書を發表午後五時三十分閉會した

(前略)今次の在滿機構改革問題に對する吾人主張の眼目は文武兩制の峻別を期するに在り從て憲兵司令官をして警務部長を兼任せしむることは自然其の思想を警察作用の上に反映せしむる結果となるが故に吾人は斷じて之を認容し得ざる處にして憲兵制度存置の本旨に背馳するのみならず現地の實情を無視し時代に逆行し延いては憲法の根本精神を蹂躙するものに外ならぬ

關東廳の各局課長 總辭職に決定

一般廳員へは慰留に努む

機構問題に關する閣議は關東廳側の希望を粉碎して政府原案通りの決定を見たので十七日午前中傳へられた妥協案に一縷の望みを囑した關東廳職員の失望は甚大なものがあり同日夕刻より關東廳三局長以下首腦部は旅順の長官々邸に參集して善後策を協議した結果、もはや關東廳として此の大勢を阻止し得ざること明確であるとし三局長は遂に總辭職決行することゝ決定し又各課長はその主張において三局長と同じくする以上これに殉ずることゝなり、茲に長官に宛辭表を提出することゝなつたが、局課長以下に對しては極力慰撫留職に努むべく、十八日午前十時から關東廳會議室において廳員會議を開催し極力部下廳員の留任に努めることゝなつた

巡査二計七名は全署員の總意として關東廳に大場局長を訪問の上吾人の目的が不幸慘敗せるは誠に遺憾にてこの間局長の御心勞は大いに感謝する處なるも、傳ふる處に依れば昨夜辭表を提出されたる由、若し事實とすれば早計の嫌ひあり閣議決定案に依

辭表受理せず

廳員を新機構に投合せしめる

菱刈長官に激勵訓電

【東京十八日發國通】在滿機構改革原案執行に決定したので拓務省では善後處置につき坪上次官、生駒管理、北島殖産、高山拓務三局長以下首腦部は十七日夜岡田兼攝拓相の訓示後拓相官邸に居殘り二時間に亘り協議した結果

一、當面の問題としては速かに省内を纏め官吏の身分に立ち歸つて平靜に歸せしめることに全力を注ぐこと

一、首腦部の責任問題は鎭靜後に考慮すべきである

一、現地の鎭撫については菱刈長官に全力を盡して貰ふ

と云ふことに意見一致したが坪上次官は深く責任を感じてゐるので省内及び現地の鎭靜を待つて辭表を提出するものと見られ尚は局長中にも辭表を出すものがあるかも知れぬ、なほ關東廳職員が辭表を取纏める事になつたとの報道に對し拓務省では閣議決定直後兼攝拓相より關東長官に對し新機構に投合努力し廳員を極力慰撫するやうにとの訓電を發してゐるので右辭表は受理せぬ事となつてをり一方菱刈長官をして寧ろ積極的に新機構の圓滑なる運用準備に努力するやう力説激勵せしめる事となつてゐる

大場警務局長の留任方を具陳

十八日午前八時から緊急全署員會議を開催した旅順警察署員はいづれも閣議決定されたりと雖も之れが法令の發布、實施迄には尚幾多の經路あればそれ迄は既定の所信に向つて一段の猛進を敢行する事を申し合せ午後一時一先散會したが、同二時半警部一、警部補二、

點心

潤達無碍に……處世說教

大谷光瑞師

◇…京都の三夜莊、六甲の二樂莊、上海、シンガポールの無憂園と一族郎黨を引き具して東洋各地に大掛りの腰掛をつゞけてゐた一代の怪僧、大谷光瑞師は最後の根城として周水子の丘上に浴日莊を築き、その三階に高臥して東亞の大策を練ることになつた。

◇…その昔の生佛樣、氣宇濶達豪快で法燈ほの暗きところに安住することを得ず、放浪多年、鬢髮霜に攤けてよいおぢいさんに成つたが、心は相變らず壯大なるもので浴日莊の開園式には大連の知名士や善男善女千餘名を招待して臨時列車を出させ手製の料理とお土産で大盤振舞をしたの遣口は太閤樣の大茶會にも似て氣の小さい者には想像もつかぬところで光瑞未だ老すと感ぜしめた。

◇…殊に長廣舌三十分、その間林、八田滿鐵正副總裁以下、旅大の知名士を悉く善男善女と一緒に廣場に立たせ、世は非常時である、非常時には國民は緊張せねばならぬ、緊張するとは各自その業務に專念することで、滿鐵總裁は總裁の仕事に、百姓は百姓の仕事に……とづけ〳〵說教する有樣

◇「…滿洲の邦人農家は農產加工に力を入れねばならぬそれ故この大谷は牛を飼つて屠殺し、肉屋を始める、坊主の癖に生物を殺すとは何事だなどゝ攻擊する奴が居るが一向かまはん」……と無遠慮に云ひ切るところ、四方八方に氣兼氣苦勞せねばならぬこの頃の時勢には、とにかく桁外れの大きな存在である。

日本の意向檢討

然るのちに自國の立場を闡明

米・軍縮新方式に關心

【ロンドン十七日發國通】米國代表はロンドン乘込み以來、極度に愼重な態度を持し海軍豫備會商に臨む米國政府の對策に就いては一切言明を避けてゐるが、米國代表部の最高權威より(特に名を秘す)確聞するに米國政府は豫備會議に政治問題を持出す意圖を有せず更に海軍力に關する比率なる言葉を避け各國の自尊心を傷つける言動なきやう配慮する用意を持つてゐるが攻擊的兵力の縮減乃至撤廢に關する帝國政府の主張、主力艦の艦隊備砲縮小に關する英國政府の主張に對しては依然東洋作戰に基づく大艦巨砲主義を堅持、多少の讓歩は別として飽まで右原則を固執するものと觀られる、但し米國代表部としては今回の豫備會談に帝國政府が提示すると云ふ軍縮新方式に多大の關心を示し右新方式の内容を檢討した上で自國の立場を闡明する方針であると

三國圓卓會議

目下實現の可能性なし

【ロンドン十七日發國通】來週早々開始される日英米三國間の軍縮豫備會議は日英、日米、英米の各二國間において行はれるものと豫定されてゐたが開會を目前に控へて之を日英米三國代表全員出席の圓卓會議とすべしとの論が擡頭して來た、右は米國側より出たものと解されるが米國側がこれを支持する理由は圓卓會議の方が會議の重複を避け便利であるといふにあるものゝ如くである、右に對し英國側は未だ充分研究を遂げてゐず一方日本側としてはこの變更に反對するものと信ぜられてゐる、何れにせよ目下のところでは圓卓會議は實現の可能性なきものと見られてゐる

任務は直接連絡

〃軍縮會議には無關係〃

吉田遣外大使着奉

【奉天電話】海軍々縮會議を控へて在外公館との完全な連絡遂行の重要使命を帶びて赴任の遣外特使吉田茂氏は北川事務官を帶同十八日午後二時の安奉線で來奉、驛頭には蜂谷總領事を始め各領事、立川警察署長、野口民會長、石田商議會頭その他多數の出迎へあり、ヤマトホテルに入つたが語る

歐米訪問の目的は在外公館と密接な連絡をさるための内部的事務打合せに過ぎぬ、從來本省との連絡は電信による訓令に基いて行はれてゐるが、そうするとば連絡上間違つたこともあり不徹底なるものもあり種々不便があつた、政情外交政策等複雜を加へる、從つてそれだけの支障があるので在外使臣が一寸の誤りもなく諒解するやう自分が直接廻つて各地大公使館に傳達したいと考へてゐる、そこで在外公館との連絡は一層緊密味を加へるわけだ、自分は外相の代りでもない、特使の任務があるわけでもなし、軍縮會議に關係はない、滿洲の機構問題も隨分喧しくなつてゐるやうに新聞で傳へられてゐるが、自分はこれには全く關係がないから茲にいふことはない、これから新京に立寄りたいと考へてゐるが、知つた人は餘りゐないからシベリア線でモスクワに赴き同地大使との會見を振出しに歐洲各國を經て米國に渡り歸りたいと思つてゐる、各國の大公使にも會見したいが必要のない所では會はないで通るつもりだ、自分の使命を色々大きく傳へるから困る、娘を連れて朗かな旅をしてゐるのだから……

なほ同氏は十八日午後十一時四十分の急行で新京に向つた

事務官の辭表 出てゐない

岡田拓相語る

【東京十八日發國通】岡田兼攝拓相は十八日午前拓相官邸に拓務首腦部を招致し約一時間に亘り善後處置について協議した後左の如く語つた

專任拓相はこの際急速に設けたいと思つてゐる、田中次官、手代木參與官の辭表提出は兩氏が政黨出身者であるため黨出身の閣僚に此の見當を通じて置いた、何れ黨出身者から返事がある筈であるから、その上で辭表を受理するかどうかを決定する積りである、兩政務官の辭表を受理する事となればその後任は早急に補充する積りだ併し政務官の補充が專任拓相決定後になるかそれ以前になるかは今のところ判らぬ、事務官の辭表は絕對に出てない、今日の首腦部會議でも善後處置について協議したもので拓務省官吏の進退問題は全然話に出なかつた

拓務省職員 態度纏らず

【東京特電十八日發】拓務最高幹部並に强硬分子の辭職は、不可避的であるが十八日午前午後に亘り幾組かに局課長等以下分れて進退を協議してゐるが「拓務省は關東廳の監督官廳たる關係上、關東廳とは別個に進退を決すべし」とする論と「關東廳と步調を一にし來つた以上進退も共にすべきだ」との論對立し、大勢既に去つた僞容易に決定を見さうもない

る實施期迄にはなほ幾多の徑路あるを以て所期の如く一蓮托生最後迄目的貫徹に向はれ度いと具陳する處があつた

最後決定迄 運動繼續

警官代表語る

【東京特電十八日發】關東廳警官代表は十八日午前十時關東廳出張所に集合、現地と聯絡の結果今後約三週間滯在し、合法的運動を續け、樞密院、貴族院、衆議院方面に對し、現地事情を報告陳情することに決定、一行は午後一時警視廳を訪問藤沼總監と會見したが、更に岡田首相に對し、政府案閣議決定の精神を直接聞き度いと申込み、快諾を得午後三時官邸で會見した代表は福間警部を通じ語る

我々は警官だから、官紀を重んじ立憲合法的な態度をさつて來てをり、方針通り最後の決定まで運動を續ける、先づ議會に反映せしめて輿論に訴へる積りだその爲め代議士の有志に會見するにも色々實情を述べる積りだ、また樞密院、貴族院の方面にも改革案を覆す事は第二として、中央並に國民に我々の主張を反映せしめる方針をとりたい

寺田署長の 飜意を懇談

渡邊憲兵分隊長

渡邊大連憲兵分隊長は十八日午後四時大連警察署に寺田署長を訪れ閣議の最後決定に基いての辭意に對し極力慰撫に努めるところありかゝる最後的決定を見たる上は斷然飜意して軍警協力の大局に立ち國務の遂行に當られたしと懇談約三十分の後辭去した

川越總領事

歸省中の天津總領事川越茂氏は夫人同伴にて十八日入港扶桑丸で來連近日出帆の船で天津へ向ふ

〃軍との提携を希望〃

關東軍聲明を取止め

西尾參謀長所信を披瀝す

【新京電話】在滿機構問題は或種の危機を豫想せしめ成行頗る注目されてゐるが十七日の閣議に於て原案通りその可決を見、少くとも同問題に關しては關東軍としての態度は幕僚談の形式により所信貫徹の軌道に乘つた事とて今更豫定されてゐた關東軍としての聲明は最早改めて發表する必要なしとの見解でこれを取止め西尾參謀長談の形で關東軍としての所信を披瀝し軍としてはあくまで縱の統制により對滿國策を強調すべく關東廳側が今日までの經緯に拘泥することなく國策遂行に協力するにおいては双手を擧げて協調の上進む方針であるとして十八日午後三時西尾參謀長は在京記者團に對し左の如く語つた

此度閣議において既定方針に變化なきことを再び確定せられたる以上新たに軍の所信を披瀝することはこの際差控へることゝした、關東廳側としても恐らく閣議決定の精神を理解しこれまでの昂奮からさめて、その運動を停止するに至るものと信じてゐる、萬一依然として妄動を繼續するものがあらばこれは恐らく一部の者の臨時議會を目標との連絡のため

する政治的策動なりと思はざるを得ない、又かう云はれても仕方があるまい、關東廳側が速かに官吏の本分に立ち歸り縱の統制を恢復して現狀の收拾に當り速かに今日の狀態から脫却し吾々と手を携へて國策遂行の一途に猛進し雄飛期日本の直面せる難局の打開に努力することを希望して止まない

遞信各課長赴旅

關東廳遞信局では近藤經理課長始め各課長は十八日午前九時半ごろ關東廳首腦部側と打合せたが、一方遞信同志會幹部數名も研究會との連絡のため赴旅した

社說

在滿機構案の決定
警察非憲兵化聲明の重要性

在滿機構改革問題は十七日の閣議にて九月十四日の決定案通り執行することになつた。最に此案には陸軍案、外務省案、拓務省案の三案あつたが、決定案は大體陸軍案であつた。その大本は三位一體を二位一體となし關東長官を廢するにある。その結果拓務省の滿洲に於ける職務は殆んど全部全權大使に移り、全權大使は内閣總理大臣の監督下にある。當時此案の反對意見もあつたが、閣議の決定により てその大部分は終熄した。然るにその運用法の一部に關し、滿洲に於ける日本側警察諸機關を關東軍憲兵司令官に於て統一指揮する途を拓く事について、警務部長を憲兵司令官に兼任せしめる事が大問題となつた。之れが現地關東廳員殊に警官全部の反對となり、拓務省内にまで波及し、爲めに甲論乙駁の狀態となり、一ケ月の紛糾を重ね、中央並に現地に可なり險惡な空氣を漲らすに至つた。

◇

十七日閣議の決定は即ち此の警務部長憲兵司令官兼任案が決定されたので、之れによりて在滿機構改革の實施に進展する段取りとなつた。此兼任の適否に關しては、既に各方面において論究發表され、兩説共に明示されてある。大體において兼任説は、滿洲の實情が憲警の命令系統を一元化する必要があるといふにあり、否定説は憲兵と警察とはその本來の職分を異にすべく、之れを混淆するは不可なりといふに歸する。更に實際論になりては一方にては警察と憲兵と統一がなくては種々の不都合を生ずと主張され、他方にては憲兵が警察に關與しては、民權の保護に不安を生ずと主張される。

◇

警察の憲兵化といふことは、今次反對説の理論的中心を爲すもので、一般邦人にも此點に不安の念を有する者がある。併しながら陸軍側にては屢々此點に説明を加へ、決して警察の憲兵化を企圖するものでないと辯明してゐる。十七日内閣書記官長の名を以てせる内閣の聲明にも警察機關を憲兵化するものではない、此點につき誤解なり不安なりを持つは無用であると説き、又林陸相の談として傳へられる所でも此の點を辯明してゐる。それによると、關東廳警務局の中、警務課は警察官の人事を取扱ふなどの關係から最も重要な課であるが、此處には一人の憲兵も入れない。官制が出來た上、人の配置なども決定すれば、自然に不安は消滅するであらうと説いてゐる。又、現地警官の反對は文治制度の樹立を期し政革案を以て軍部獨裁と見る所からも來てゐるが、陸軍は決して文治に反對するものではないとも説いてゐる。隨つて今後憲兵の態度は一層愼重であらねばならぬとも諭告してゐる。

◇

此問題には、關東廳はもとより拓務省内の大部分に反對氣勢が頗る強い。此の決定によりて或は更に激化すべく、政府及び陸軍は更に警察非憲兵化を力説し、其他あらゆる方法を以つて鎭撫策を執るであらう。何しろ機構改革案の一部分の爲めに久しく内部の不統一を暴露するは政府の苦痛と爲す所に相違ない。臨時議會に豫算案が提出され、官制は樞府の御諮詢を待つといふから、その後でなくては確定とは云ひ難いが、恐らく政府としては萬難を排して原案施行に進む決心と見られる。而してその際に於て最も戒心すべきは警察非憲兵化の聲明を裏切らぬことである。憲警の命令系統を統制するも、警察の精神を寸毫も紊さぬ事、陸相談の如くにあらんことである。

滿鐵社債計畫の支障説はデマ
條件がよければ十一月頃募集
大淵滿鐵理事語る

在滿機構改革問題に關聯して内地財界の滿鐵に對する危惧に因り東京の二、三の新聞に滿鐵株價の暴落、社債計畫の支障等が誇大に報道されてゐるが豫算會議出席のため目下

滯連中の 大淵理事はこれを否定して語る

滿鐵が八月以來、社債を募集しないので東京でいろ〳〵のデマが飛んで滿鐵が社債募集に非常な困難な境地に在るやうに取沙汰されてゐるやうだが全然そんなことはない、滿鐵が社債募集を控へてゐるのは當分の必要に應ずるだけの手持資金を持つてゐるのと九月は財界が變態的に資金硬塞を呈した爲である、昨年の九月中に發行された公、社市債は四億二千萬圓に達したが本年の九月はその三分の一に足りない一億二千萬圓に過ぎなかつた程金融が硬塞してゐたのでそんな

惡い時期 に強ひて滿鐵が社債を起す必要が無かつたから控へたゞけのことである、しかし滿鐵はどうせ資金が要るのだから私が東京に歸つて模樣を見てから條件がよければ十一月頃に三、四千萬圓募集するかも知れぬが條件を崩すやうなことは斷じてしない、來年の二月頃は金融狀態もよくなるだらうから、それまで待つてもよい譯だ、株は我々はもつと上つてよいとも思つてゐるがこれも一般的に株が頭が重いからで獨り滿鐵だけのことではない、兎に角在滿機構問題で滿鐵が

惡影響を 受けてゐるといふ現象は社債、株兩方面からとも認められない、しかし内地財界が機構問題に關聯して滿鐵に對しても警戒的關心を持つてゐることは事實だが對滿經營を滿鐵を通じて民間資金に依賴してゐる今日資金の流入に支障を來すやうなことがあつては大變だし若し何かの誤解でそんな傾向があるとすればその誤解を取除くやうに我々も努力する考へだが今のところ滿鐵の資金繰りには何も心配することはない

"守るに足り攻るに不充分な"
わが軍縮根本方針・山本代表談

ロンドンへ乘込んだのは要するに各國政府の方針につき説明を聞く爲めに他ならぬ豫備會談を通じて米國政府は飽迄白紙だ、豫備會談では直ちに協定達成を

【ロンドン十六日發國通】本日會議地ロンドンに乘り込んだ山本帝國代表は帝國の方針を闡明して次の如く語つた

帝國政府は近く英米兩國政府に對し現行海軍諸條約廢棄の決定を通告する方針である、右通告は來るべき豫備會談とは直接關係なく別個に斷行される事とならう豫備會談が相當困難なるは充分覺悟してゐるが右會談に於て帝國政府は現行海軍條約の缺陷に鑑み一切の當事國に公平不偏で然も各國々防の安全を保障し軍備の實質的縮減を實現する新軍縮方式を提示し飽くまで英米兩國を說いて滿足な協定を達成する決心である、尤も國際折衝である以上或る程度の互讓は止むを得ないが帝國政府としては國防の平等權を確立し比率主義の代りに守るに足り攻めるに不充分な程度の實質的軍縮を實現する根本原則については絕對に讓歩出來ない、從つて今後の豫備會談では順序として先づ根本大綱から話を始める事となら う、尤も話の進むにつれ具體的技術的の問題が審議される事とならうが交渉の進め方其の他萬事松平大使と相談の上できめる米國政府が現行海軍力比率の變更に反對するであらうことはよく承知してゐるが余は日英米三國が平等に最大限の軍縮を實行して何故に米國だけが自國々防の安全を脅かされるかを反問してやるつもりだ

早くも秘策凝す日米兩代表
三國會談は來週早々

【ロンドン十七日發國通】日米兩國政府代表のロンドン乘込みで久しく中斷してゐた海軍豫備會談は愈々近く日英米三國間に多邊的に開始される事となつた、宿舍グロブナーハウスに落着いた山本代表は下村、岩下、岡三氏等帝國海軍の智囊を交へ政府の訓令案を基礎に十六日夜早くも秘策を凝したが十七日には松平大使と會談更に具體策につき打合せを遂げる段取りだ、一方相前後して入英した米國代表デヴイス氏はスタンドレー作戰部長と相携へ宿舍クラリジスホテルに陣取つて對策を練つてゐるが從來とは異り會談に臨む方針等につき一切沈默を守つてゐる點から見ても豫備會談に臨む米國代表部の愼重さが窺はれる、米國代表の出様如何に拘らず日本代表部としては山本代表を中心に充分打合せを遂げ來週に入つてから會談を始める意向である

米國兩代表

【ロンドン十六日發國通】米國代表ノーマン・デヴイス氏、作戰部長ウイリアム・スタンドレー提督は十六日午後八時五分ロンドンに到着ホテルに入つた、兩代表共極る愼重で多くを語らず只デヴイス氏は次の如く語つた

會議の前途を悲觀する英國

【ロンドン十七日發國通】日米兩國代表のロンドン乘込みにより英國政府は俄然緊張を示し十七日マック首相司會の下に開かれる閣議において豫備會談に臨む對策を審議するものとみられるに至つた併し閣僚の一部には日米兩國政府の主張對立に憂色を示し豫備會談が始まつてもマック首相は調停するのに忙殺されるのではないかと早くも悲觀的診斷を下してゐる、但し英國政府としてもワシントン、ロンドン兩海軍條約に對しては不滿少からず殊に保守黨を根幹とする大海軍論者は巡洋艦並びに主力艦兵力において英國海軍が案外劣勢にある事實を指摘し現行比率の更改をマック首相に迫るのではないかとみられてゐるので豫備會商延いては海軍縮小本會議の前途は決して樂觀を許されない

期待して居らず本會議の前途についても豫言はしたくない

警官の大量補充關東廳に依賴
滿洲國民政部警務司

【新京十八日發國通】民政部警務司の警官充實計畫は着々進みつゝあるが、應募者中に諸種の事情のため來任不能となつた者相當多數に上るに至つたのでこれが補充を關東廳に仰ぐこととなり取敢ず警部以下警部補、巡査部長、巡査合計五十名の銓衡方を關東廳に正式依賴することゝなつた、因に警務司では右五十名を手始めに數次に分つて相當多數の警官を關東廳から募集する豫定であると

軍としては既定の行動
土肥原少將語る

【奉天電話】十七日午後十時三十分着列車で新京より歸奉せる土肥原特務機關長は左の如く語つた在滿機構改革案がいよ〳〵閣議で最後的決定を見たが軍部としては今までの方針通りすべてを行ふ肚は既に決して居るので今後の方針も何等變りはない、自分が今度特務機關長として大連に行くといふことは車中で聞いたが元來大連は奉天特務機關の管轄範圍内にあつたもので今度行くことになつたといつても大連に行ききりになるものではない、大連に行くことになつた理由は在滿機構問題に對する關東州内の一般の認識にはなほ遺憾の點があると認めたのでこれを官民一般に知つて貰ふためである自分の大連赴任期については明日になるか明後日になるかまだはつきり決定してゐない、大連に赴いて機構問題その他に關する軍部の意向を一般官民に知つて貰ふためにどんな方法をとるかまだ一切わかつてならない

電々會社の十年度豫算

電々會社の十年度豫算は經理部に於て大體の編成を終り先日重役會計の承認を得た模樣である、その内容は大體に於て起業費九百萬圓で昨年と大差なく經常收支も予四五百萬見當で昨年と同樣六分配當を踏襲に内定の模樣である、起業費の中主なるものは大連放送局の改裝をはじめ内地中繼改良の後大連新京間、新京奉天間及新京ハルピン間に中繼專用搬送式電話の敷設並に中繼專用の受信機設置等放送設備の改善が目立つてゐる

滿洲國陸軍服制中改正

【新京電話】十九日公佈された滿洲國陸軍服制中改正の件は陸軍には雨具外套、武裝刀帶の規定なく不便なるためこれに關する規定を追加し又逸衞軍の名稱が新に禁衞軍となつたのでこれに伴ふ服制を改正したものである

ソ聯南諸邦獨立機運

【ハルビン十七日發國通】最近モスクワより來哈したイタリーの上院議員ベルナルド・バルビリニアミデイ伯の齎ぜるところとして露字新聞の所報によれば、最近ソ聯邦の中でウクライナ共和國はじめコーカサス、シベリアの蘇聯共和國内には獨立の色彩が濃厚されるので、モスクワ中央部はこれが阻止のため各機關首腦部の更迭を斷行し不良分子の一掃に躍起となつてゐる

滿洲國で葉書と切手の改正
國體合致と實用が主眼

【新京電話】滿洲國建國當時以來何等改正されなかつた滿洲國の郵便切手及び葉書は、帝制實施後の今日では最早圖樣等が國體に合致しない憾みがあり又、切手の種類葉書の名宛記載欄等に就ても實用向きにする必要から過般來交通部郵務司の手で改正の準備中であつたが愈々來る十一月一日より左の如く改正實施されることゝなつた即ち切手及葉書の寸法並びに圖樣は大體その儘であるが

一、料額印面中滿洲國郵政の文字を滿洲帝國郵政と改め

二、郵便葉書の表面滿洲國郵政明信片又は同明信回片の印刷文字を滿洲帝國郵政明信片或は同雙明信片去信用或は同回信用とし以前之を長側に橫書したが今回は受取人の名宛を長側に沿ひ縱書する樣短邊上部に橫書し且裏面名宛記載の注意及書線を長邊に沿ひ料額印面下に近づけ表面の殆ど全部を受取人の名宛記載に充て又

三、本年一月一日及同三月一日の料金引下の結果一角六分切手を廢止し書留書狀料として九分切手(塔を表はし朱色)又國內航空書狀料として一角八分切手(皇帝の御影を表はし青綠色)を新に發行

四、萬國郵便聯合條約加盟を目指し二分切手の刷色を綠色に一角切手を濃青色に改め同時に五分切手を藍色に變更した

なほ改正郵便切手及び葉書は當分舊郵便切手類と併せて發賣すると

視察團と英紙
一般に好印象

【新京電話】英國産業視察團の日本及び滿洲國に於ける動靜とその受けた歡迎振りは英國各新聞に報道され一般に好印象を與へてゐるが十三日のロンドンタイムス紙は「滿洲國に於ける英國企業」と題し次の如く論じてゐる

滿洲國内の英國企業は現狀の下では主として日本側との協力が如何なる範圍まで行はれるかによつて決定されるものであるから產業視察團一行は先づ日本を訪問して日英實業家團の協力增進問題を協議したのである、思ふにこの種視察の役目は先づ兩國の空氣を改善するにあり通商增進それ自身は製造家自らこれに當るべきである、殊にマクバウワン氏は日英實業家首腦部間の連絡及び協定の必要を唱へたが今回の視察團一行も同樣の結論に達した爲めと思はれるが一行は滿洲國に於て新國家の富源開發に關し英國側の協力の餘地あるを既に知つたのでバーンビー卿は滿洲國側に於て英國側の協力を必要とするならば純然たる實業家としての見地から喜んでその希望に應ずべしと述べてゐる

船内貸付金の高利に反對
下級船員起つ

かれて大連在籍商船の下級船員たちは船内の高利貸付制度に對し不滿を抱いてゐたが、果然あめりかはるびんの乘組船員約六十名は十七日午後六時より海員組合内に參集し反對氣勢を揚げた現在商船内にあつては水火夫長たちが下級船員に對しほとんど強制的に小遣錢を貸付け、社船は一割五分、社外船は二割の高利を壟斷してをり、この絕對排擊を叫んで決議文を作成、各船火夫長並に各商船會社の屬員クラブに手交することになつた

中島侍從武官

【奉天電話】中島侍從武官は十七日午後十時五十分の"光"で來奉一泊の上十八日午前十時二十分の列車で遼陽に赴き湯崗子に一泊、二十一日赴連二十二日のうらる丸で歸國の豫定

雨宮春雄氏來連

滿洲電業設立事務所の雨宮春雄氏は十七日大連入港のあめりか丸で歸連したが、船中氏を訪へば左の如く語る

今回約十日間に亘つて關西方面を旅行して來たが、之は全くの私用で別に事業とは關係はない新京に設立される新電業會社は十一月初旬創立總會の豫定で二十日頃迄には營業開始の豫定である

電氣講座

電氣協會滿洲支部並に滿洲技術協會共同主催の下に來る二十二日より六日間每日午後四時半より技術會館に於て電氣講座が開かれる、講師並に題目左の如し

二十二日　槪近の原子物理學　旅順工大理博　堀　健夫氏
二十三日　電氣化學工業　
二十四日　電氣化學工業
二十五日　滿鐵中試工博　內野正夫氏
二十六日
二十七日　高周波工學　南滿工專工學士　加藤芳雄氏

尙受講申込所は滿洲技術協會電三五三〇番である

近畿風水害義捐者名

（十月十八日正午迄）

金五十圓　大連市安宅商會大連出張所々員一同
金三十圓　同　大連清山麗區
金二十五圓五十錢　同　大連汽船會社滿州丸乘組日本人一同
金二十圓　同　池田嘉一郎
金十圓　同　澤田保嘉次郎
金二十圓　同　淡月席內藝妓一同
金五圓　同　淡月席内檀口德藏
金一圓三十七錢　同　大連自啞學校六年生相川嘉頼雄
小計金　百六十一圓八十七錢也
合計金二萬二千六百五十一圓六十九錢也

國防の本義と其强化の提唱（八）

國防國策の强化
（陸軍省パンフレット全文）

其三　國防と思想

思想戰が國防上如何に重要なる役割を演ずべきかは既に述べた通りである、而して之が基礎たるべきものは、人的要素即ち精神力體力の充實である、之が爲め學校及社會教育に於て、其の陶冶を行ふと共に、一方社會上の缺陷是正、經濟組織の整調と相俟つて、國民生活の安定、農村更生救濟等を圖り民力の培養を策することが必要である、國防上の見地より思想戰對策として考慮すべき要件を揭げれば左の如くである

一、國民教化の振興

1　肇國の理想、皇國の使命に關する深き認識と確乎たる信念とを把持せしめ、皇國内外に瀰漫せる不健、過激なる如何なる思想に對しても、寸毫も動揺することなき堅確なる國家觀念と道義觀念とを確立せしむること

2　國家及全體の爲め、自己滅却の崇高なる犧牲的精神を涵養し國家を無視し、國家の必要とする統制を忌避し、國家の利益に反する如き行動に出でんとする極端なる國際主義、利己主義、個人主義的思想を芟除すること

3　質實剛健の氣風を養成し、頹廢的氣分を一掃すること

4　世界の現狀、國際情勢に通曉し、日本の世界的地位を十分認識せしむること

5　民族特有の文化を顯揚し、泰西文物の無批判的吸收を防止すること

6　智育偏重の教育を改め訓育を重視し且つ實務的、實際的教育を主とすること

7　國民體育の向上を圖ること

二、思想戰體系の整備

思想、宣傳戰の中樞機關として官衙又は情報局の如き國家機關が平時より必要なることは論説するまでもない、此種機關の實例を見るに世界大戰に於ては、相當大規模な工作を以て、所謂プロパガンダ（宣傳）の名に於て、近代的一戰爭手段たる思想戰が出現した此のプロパガンダ戰線の勇將は、英國のノースクリッフ卿、ドイツルーデンドルフ將軍、米國に於ては大統領ウイルソン自らであつた戰爭の中期より末期にかけて、恐るべきプロパガンダ戰の力は、敵國戰線の後方は固より、その國内の主要都市、國民の臺所にまで猛威を揮つて、遂にドイツ側は、この威力の前に崩壞するに至つたのであるが、プロパガンダ戰夫れ自體として、獨自の立場に立つて、活力を發揮したことは見逃すべからざることである

▲英國　は世界大戰勃發直後、一九一四年八月、平時からあつた宣傳事業を擴張して新局を設置し、一九一七年一月には別に情報局が設けられ、宣傳事業を一括して活動を開始するに至つた、次でノースクリッフ卿外三名を以て成る顧問委員が組織せられ、ノースクリッフは自ら宣傳及び政略關係の使命を帶びて米國に渡り、大いに活動するところがあつたが、一九一八年の二月に至り、情報省が設置せられ、ヒーバーブルック氏が情報大臣の椅子を占め、ノースクリッフ卿は敵國宣傳部長の職に就いた、其後曲折を經て、ノースクリッフ卿が宣傳政策委員會の全指導を行ふことになつた

▲米國　は一九一七年四月世界大戰に參加後、大統領ウイルソンにより公報委員會を組織した、この組織は、國務長官、陸軍大臣、海軍大臣並にジョジージクリール氏を以て編成せられ、クリールが右公報委員會の議長となつて、對内、對外宣傳事業の一切を統括した

▲佛國　では外務、陸軍、海軍の各省が夫々宣傳機關を持つて、互に協調しつゝ宣傳を實施した

▲獨逸　に在つては、大戰間の宣傳は、最初、不統制のまゝ一の宣傳用機關紙を利用するに過ぎなかつたが、軍事當局と、各省間に幾多の抗爭曲折が繰り返された後、ルーデンドルフの提唱に依り、一九一八年八月に至つて、漸く宣傳組織を設置することが出來たけれども、時既に遲く、聯合國側の猛烈なる宣傳に困り遂に一敗地に塗るの已むなきに立ち至つた

然るに我が國における識者中思想戰觀念の認識充分ならざるもの多きは頗る遺憾とする所である、蘇聯邦の組織ある赤化宣傳工作の爲め、如何に我が國上下を擧げて苦惱せしか、又滿洲事變を通じて宣傳機關の不備のため如何に慘澹たる苦杯を嘗めたるか、又現下の貿易經濟戰において列國の宣傳戰のため皇國が如何に不利なる立場に置かれてゐるか、是等を考ふるとき、平戰兩時を通じての思想戰體系整備の急務なることは論議の餘地はない、要は速かに之が實現を圖るに在る

市況後場（十八日）

株式

新東日產軟り　新東日產反撥を入れ當市の五品四十錢高、土木五十錢高、新東一圓十錢高、日產一圓六十錢高と引締る

[illegible]

特產

諸品保合

後場の定期は大豆は氣迷ひ閑散なら邦商買の奥地筋賣りに區々保合を辿り豆粕は保合、豆油は南支筋買ひに强保合を呈し高粱は閑散區々保合に大引

[illegible]

錢鈔

鈔票續落

後場上海標金市場立會中止説など傳へ人氣惡く一圓四五十錢安を續落した

[illegible]

商品

麻袋保合

[illegible]

市場電報

[illegible]

（第三種郵便物認可）

御巡狩の意義

山川神祇を祀り民に政事を聞く

【奉天】皇帝陛下には十九日より奉天吉林に御巡狩の旨仰せ出されたが、今巡狩の意義を古典に見るに

巡狩の意義 皇帝がその領土内を巡視して地方官の政治の良否を見、民情、風俗を視察して施政の參考にしその山川神祇を祀つて民心の向ふところを知らしめらるゝ爲であつて巡狩に關する限りの記載は禮記の

禮記舜典にある巡狩の記事＝歳の二月東に巡狩し岱宗に至りて柴し山川を望秩す肆に東后を覲る。時月を協へ日を正し律度量衡を同じうす五禮を修め五玉三帛二生一死を贄さす五器を如しうす卒りて乃ち復る五月南に巡狩して南岳に至り岱の禮の如くす八月西に巡狩して西岳に至り初めの如くす十有一月朔に巡狩して北岳に至り西の禮の如くす

舜典にあるところの舜の巡狩の記事が唯一の根據となつてゐるし周の時代には五年に一度巡狩し周の時代には十二年に一度巡狩した事になつてゐる

▲孟子の梁の惠王篇の下に「晏子對へて曰く善い哉問也天子諸侯に適くを巡狩さいふ、巡狩とは守る所を巡る也諸侯天子に朝するを述職さいふ。述職とは職とする所を述ぶる也」とあるので巡狩の意義は一目瞭然である

◇……◇

昔は暦の及ぶ範圍をその國の勢力の及ぶところと見て居たので暦を非常に重要視したので先づ暦を正しく中央のものと同じきか否かを見、律と度量衡を格一にする律と度量衡を並べ書いたのは昔は十二律の樂器の長さ大きさが度量衡の基礎になつたからである。人民の風俗禮儀を正しくするために吉凶、軍、賓、嘉を修めて政を正しくした昔は政禮が殆ど一致して、政即ち禮であつたのである

その意は舜が四年目に一廻り巡狩するその最初の年の二月に先づ最もその當時の文化の中心に近かつた東の方即ち山東省方面に巡狩してその地方の政治を視察し民情を見て五岳の内最も位の高い泰山に行き壇を築き上に柴及牲を置いて之を燔いて天帝を祀り（禮記郊特性に天子四方に適く時は先づ柴するとある）それからその地方の山川を位の高下に從つて望み祭り、東方地方の諸侯を泰山の下に集めて引見の禮を行つたのである

此の謁見の時には公、侯、伯子、男の等級に應じて瑞玉を獻納し諸侯の世子等は纁、玄黄の三色の束帛を卿よりは羔を大夫からは雁を獻納するのが禮であつた、そして最後に吉、凶、軍、賓、嘉の五禮をかふに用ふる禮器を調査して京へ歸還した、交通不便な時代であつたから四六を巡狩する譯には行かないので一年一度として二年目の五月に南の方、安徽省潛山縣の霍山に、三年目の八月には西の方陝西省華陰縣の華山に、四年目の十一月には直隸省曲陽縣恒山にといふ規定になつてゐたのである

密輸鹽が横行して

鹽棧の倒産續出

官鹽普及に當局全力を盡すも

今年輸送は百分の一

【安東】必需品中の第一位を占むる鹽は滿洲に於ては官鹽にも拘らず盛んに私鹽横行し、特に安東及び東邊道地帶は朝鮮と境を接する關係から密輸鹽多く、鹽棧は勿論最大鹽産地たる莊河鹽業者は私鹽に押されて

生産能力の停止を行ふ外倒産に至るもの續出の事態を生むに至つた、王道の光は茲にも照らさねばならずこれ等業者を救ふ一方東邊道鹽棧を救ふ意味からも官鹽の普遍を極力はかり、安東輯私局においては鹽の輸送に大犧牲を拂ひ結氷までに鴨江路を利用しての奥地送鹽に着々成功しつゝある

元來東邊道一ケ年需要鹽量は約二千二百萬斤と見られて居るが密輸鹽其他横行のため官鹽は非常な壓迫を受けて居るが、前述の業者を救濟する上からも又稅收入を揚げる上からも官鹽の壓倒的支配を必要とし

五百萬斤 生産能力を有する莊河鹽業を呑吐すべく輯私局は密輸密賣取締その他に對する活動を開始し既に奥地發送鹽は左の數に昇つて居る（單位斤）

臨江　八、一七五、三〇〇
輯安　三、九八六、五〇〇
外岔溝　三、二四五、三〇〇
小蒲石河　八八四、〇〇〇
計　一六、二九一、一〇〇

發送が豫定より遅れたためなほ結氷期までに發送を要するものが左の如く存在して居り其の決行が急がれて居る、即ち（單位斤）

長甸河
寛甸　五、七二〇、〇〇〇
小蒲石河　五、一一六、〇〇〇
安東　一〇、一〇〇、〇〇〇
計　二〇、九三六、〇〇〇

斯くて本年は官鹽東邊道總需要量二千二百萬斤の極く一部分にしか當らない總計三萬七千二百二十七斤一〇しか供給し得ない事にはなるが、逐年

私鹽取締を嚴重にすると共に官鹽の增加をはかり、其の間の秩序維持に向ふと共に業者の繁榮消費者に對する供給の圓滑を期する意氣込みである

奉天警察優勝

個人は眞邊（奉警）が獲得

第五回州外柔道爭覇

【奉天】第五回州外柔道優勝旗爭奪戰は十七日午前九時から奉天道場において擧行されたが、參加團體は新京、奉警、奉天道場、撫順道場、總局、醫大、遼陽の七チームで觀衆多數會場に詰めかけ緊張裡に肉塊相搏つ白熱戰を演じ結局撫順、奉警の決勝戰となり息詰る大接戰を續けたが、奉警軍の奮闘は

昨年の優勝チーム撫順軍を破つて優勝、續いて個人決勝が行はれ榮ある優勝旗は奉警チームに授與され、午後三時盛大裡に閉會したその成績左の如し（○印勝、×印分け）

第一回戰

新京　總局
○三段　小野　二段　山内×
○同　佐々木　初段　竹島
○同　緒方　二段　中川
○二段　田中　初段　布目
○同　金親　二段　渡邊
遼陽　醫大
三段　田中　○一級　成瀬
初段　北川　○　猿渡
二級　松崎　○　眞崎
初段　田口　○　矢吹
×二段　森行　×初段　岩切
撫順　奉道

準優勝戰

新京　奉警
×三段　佐々木　×三段　桑水流
同　緒方　○同　眞邊
○同　小野　同　成田
二段　金親　○　岡本
×二段　田中　×初段　瀧口
撫順　醫大
○二段　南口　一級　成瀬
×同　野田　×二段　大畑
×三段　奧野　×同　堀口
×同　川瀨　×同　木谷
×二段　小田島　×初段　小野
（奉警は不戰一勝）

優勝戰

撫順　奉警
×三段　川瀨×　佐藤
×二段　野田×　眞崎
○三段　奧野　矢吹
×二段　小田島×　猿渡
同　南口　○同　眞邊
×三段　奧野　×同　成田
同　川瀨　○　岡本
×二段　小田島　×初段　瀧口
野田　×三段　桑水流

個人優勝

一等眞邊（奉警）二等小野（新京）三等岡本（奉警）

捕はれた大平好

【奉天】三角地帶に殘虐の限りを盡し一時その名を匪賊の中に謳はれた大平好こと奉天省本溪縣橋頭生れ李子浦（三）は、既報の如く十六日午後八時奉天驛三等待合室にて再起の企てならず、去る五月彼の爲に拉致された李榮綏（七）によつて發見され奉天署員に逮捕された（寫眞は匪首大平好）

御巡狩記念にスタンプ

【奉天】滿洲國皇帝陛下には愈々十九日當地に御巡狩あらせらるゝ事となつたが、市内滿洲國郵政局においては奉迎の意を表するため記念日附スタンプを使用する事となつた

使用期間及使用方法

▲十月十九日及二十日は料金を完納したる書狀及葉書の引受消印に使用す

▲十月十九日より同二十三日迄料金完納の郵便葉書並に一分半以上の郵便切手を貼付したる物件に對し記念消印の需に應ず

なほ使用局は奉天郵政管理局、奉天大西門裡、同小西關、同大西關、同東塔、同南市場の各郵局であると

集家法を恐れ農民は山東へ

止むを得ぬ討匪工作

【安東】安住の地を求めて東邊道一帶に來住した山東民は今やその居住に耐へかねて續々鴨綠江を下つて故山、山東に引揚げるもの數千に達するに至つた――王道滿洲帝國はその實質的建設を急ぎ、特に治安上面白くない東邊道には特殊な工作を要請され輯安、臨江以下五縣に限つて「集家法」によつて集團農村を建設、日滿憲警によつて完全な保護を加へ該村以外は討匪上完全な討伐目標ささるゝ事となつたのである

定められた期限までに「指定された集團農村に集まれ！」といふ發令は農民間に種々な風說を生み過般來の雨に苦しめられ今また斯かる急激な變動を強制され、勢ひ身の安全を期して故山指して鴨江を下るもの續出九月二十七日から十月十三日まで約半月間に約三千名に達するに至つた

「討匪工作は善良な農民を追ふ」といふ事が巷間で語られ始めた、原始的な生活に馴れた農民達が時流の急激に耐へかねてなつかしの故山に引揚げ再び第二の故山へ勞働を求めて來る、其處には治安全く成り安住樂土として農民の思ひがけない桃源郷を見出して新しく幸福の一歩を踏み出すものとして現在の彼等の引揚はやむを得ないものと各機關では見てなり「集家法」は今後も尚引揚農民の續出を豫期されて居る

高隆周ら五名歸順を許さる

【奉天】滿洲事變以來東北舊軍閥の煽動に依り南滿方面に於いて反滿抗日の行動を續けて居た東北義勇軍第五區長高隆周外五名は、昨年以來歸順の意志を有し日滿の地方有力者と交渉中の處、十月十三日奉天憲兵隊本部に出頭正式歸順を申出て許可されたが、目下奉天市内知人宅に何れも寄食中である

精神作興週間を迎へ

四萬社員の決意も新

＝奉天＝ 滿鐵社員精神作興週間の第二日十六日奉天では社員一同午前八時半奉天神社境内に參集し神官修祓が終つて殉職者の靈に對し眞心こめた默禱を行ひ九時過ぎ解散した、また滿鐵、總局、聯合社員會の精神作興週間第四日十八日は精神作興演會を午後七時より春日小學校講堂にて東亞の非常時局に直面し內に結盟を更し外に世界の人心に對し想へんさ、聽け火の如き道義の雄叫びを……と左記諸氏の熱辯を揮ふ所あり盛會裡に閉會した

▲開會之辭　奉天圖書館衛藤利夫
▲先驅列車　鐵路總局尾崎久市
▲滿鐵使命の再吟味　南滿中學堂安藤基平
▲國民精神の一考察　醫科大學伊東善吉
▲忠孝一本論　醫科大學日名靜一
▲所感　地方事務所關屋悌藏
▲非常時は續く　鐵道事務所白井喜一　鐵路總局辻茂樹
▲閉會之辭　奉天鐵路局古山勝夫　鐵路總局伊澤道雄　奉天驛繁留吉

＝ハルビン＝ 滿鐵事務所、建設事務所、鐵路局等に勤務する在ハルビン滿鐵社員は精神作興週間の記念事業として、十六日午後二時三十分押川庶務課長以下は郊外沈江の二十九聯隊兵士十七名がハルビン入城當時戰死した場所に赴き一丈五尺の記念碑を建てた、軍部から細木中佐、民會から山口理事出席した、これと同時に社員一名田中中尉の操縱する軍用機に乘り目下水に浸つてゐる清水少佐戰死の箇所に花束を投げ、又志士の碑附近に眠る四聯隊勇士の墓にも花束を捧げた

＝營口＝ 滿鐵社員會營口聯合會の精神作興週間の第一日たる十五日は午前七時小學校に集合當務の外殆ど缺席者なく直に國旗社旗、社員會旗の掲揚を行ひ君が代滿鐵の歌合唱終つて武田聯合會長は宣誓文を朗讀し次いで訓示挨拶等を述べ社員會旗を先頭に樹て營口神社に參拜し幣帛料を獻進し武田會長代表して玉串奉奠一同拍手を以て禮拜を終り午前七時四十分退散した

＝熊岳城＝ 熊岳城における滿鐵社員宣誓式は社員俱樂部に於て十五日午後六時半より擧行せられた、會場には式次、各種ポスター、辯士の演題、社員會旗等が掲げられ作興週間宣誓式に相應しい緊張と嚴肅な空氣が漲つてゐた、定刻公務に支障なき限りの社員全員出席、小島所長の開式の辭に始まり左の次第によつて式は進められ、全員社歌を合唱、續いて草野公學校長閉會の辭に閉會、續いて

▲非常時に處する平常の覺悟　公學校長　草野七郎氏
▲雜感　小學校長　尾崎虎太郎氏
▲直面せる非常時に對する吾人の覺悟　實習所長　石原正規氏
▲所感　試驗場長　渡邊柳藏氏

右四氏の流るゝが如き雄辯言々句々肺腑を刳るが如き熱辯體驗に基ける講演あり、滿場咳一つ無く、感動と興奮のうちに傾聽、午後八時半終了、一同緊張裡に解散した

＝瓦房店＝ 十五日午後六時より市民俱樂部ホールにおいて盛大なる宣誓式を擧行、高らかに第一聲を揚げた、定刻三百名參集、先づ山田庶務部長開會の辭に始まる、嚴肅裡に君が代合唱、次に雪本相談部長社員會綱領朗讀、續いて渡邊評議員部長精神作興詔書捧讀、次に中根聯合會長「大滿鐵を守れ」國家非常事を力說して激勵、高橋修養部長宣言文朗讀、全員社歌合唱、それより講演會に移り伊藤公學校長、鳥居列車區助役地方事務所尾上菊馬の三氏舌端火を吐く熱辯を揮ひ一語々々底力ある口調で聽衆に多大の感動を與へ最後に山田庶務部長閉會の辭さ十六日以降の行事を宣言午後八時緊張裡に終了した

爆擊機の命中率百パーセント

撫順防空演習第一日

【撫順】われ等の炭都を護る撫順防空演習は軍官民一致の協力により十七日から開始された――この日天あく迄澄み渡り午前九時にはこの日の我が空軍の壯烈な演習を見んと緊ケ丘、御靈ケ丘に集まつた全市民一萬餘、十時ともなれば遙か西方奉天方面より松本大尉の操縱する輕爆機が銀翼を輝かせて飛來し、永安橋側渾河の中洲に設けられた、白堊陣に十キロ爆彈約二十發を投下すれば一發として命中せぬはなく、その偉大なる技術に萬餘の觀衆拍手してわが空軍に對する力強さを深めた、更に松本大尉は緊ケ丘にこれを迎へた相原守備隊長に

月餘の防空演習に對する軍官民の努力に敬意を表す

その通信筒を投下して丘に集まる觀衆の頭上すれ〳〵に低空旋回すれば、丘上帽子を振つて迎へ機上又手を打振つてこれに答へた、かくして松本機は群衆歡呼裡に奉天の空に機影を沒するや間もなく松本機は爆音勇ましく再びその勇姿を撫順の上空に現し爆彈投下、機上射擊旋回飛行等の高等飛行にスッカリ市民を熱狂させ、三十分の後悠々と北方へ飛去つた

この日午後一時より三時まで大和公園、競馬場東小學校において高射砲、聽音機、探照燈の操作實況を一般市民に公開し、午後七時には探照燈の操作に炭都の空は描き出され二萬市民は空軍の力強さを認識し有意義な防空前哨戰第一日を終へた

寫眞說明（上）爆擊を了へて炭礦クラブ上空を旋回する輕爆機（下）高射砲操作の實況

鞍山軍優勝す

盛會を極めた南部野球

【大石橋】時局其の他の事情に依り三箇年間中絕した遼陽以南々部野球（硬）大會豫定日十四日は不幸降雨に妨げられ、本日十七日晩秋の絕好快晴而も神嘗祭の佳き日に惠まれつゝ午前十時より滿鐵運動場に於て決行された、定刻となるや主催者滿鐵運動部即ち鞍山昭和製鋼チーム、オール營口チーム、オール大石橋チーム勢揃ひ後援滿日大石橋支局員總出動營口支局の應援を求めて社旗應援旗翩翻たる中に觀衆又鞍山、營口よりも押し掛け、グランドの四周黑山を築き其の數三千と算せらる

午前九時半入場式後優勝旗返還式終りて地方事務所伊東正氏先導の下に國歌合唱あり大石橋運動部支部長代理廣田校長始球のもとに第一回戰昭和製鋼對オール營口チームと開戰、營口軍必死の攻擊も及ばず鞍山製鋼チームの健棒冴えて八對一のスコアにて鞍山軍に凱歌揚がる

鞍山	300	200	003	8
營口	010	000	000	1

球審奧氏、壘審伊東、松木

次で午後二時十二分より不戰一勝の大石橋軍との對峙、大石橋軍投手道具の届未だ定まらざるに乘じて鞍山軍一擧に十點を入れて勝敗の數決まる、八回裏に及んで大石橋軍奮起し菊田の三壘打を筆頭に三點を報いたが結局十對三にて大石橋チーム敗る

鞍山	100	000	000	10
大石橋	000	000	030	3

球審松木、壘審櫻井、奥

斯くて四時十五分拍手裡に松田支部長より美座滿日支局長の捧呈する優勝滿日旗の授與、支部長の閉會の辭ありて散會した

尚ほ竹下指導員の指揮する大石橋少年團の甲斐々々しい奮闘で場內整理萬端落ち度なく、本大會をして和氣滿々裡に終始せしめた奉仕に對しては觀衆は勿論各チームの感謝措く能はざる所であつた（寫眞は優勝した鞍山チーム）

加茂小學生が銀紙を寄附

【奉天】奴心をも衝く「非常時日本」に絡はるうるはしい話……奉天加茂小學校の五年生の生徒達は滿日社の銀紙運動に先驅して家庭やお友達のうちから銀紙を集めて居たが、此の程スピーヤの箱に一杯になつたので鉛製の灰皿一個と共に川崎まさ子、渡邊葉子、明石美代子の三女生が十六日午後本社に屆けられた

金州秋季競馬

四日目の成績

【金州】十七日は祭日であるため朝來の風にも拘らず相當の人出であつたが成績は左の通りである

第一在鄕乙八百米　一着一飛（騎手所）一分一五秒三、配當金十圓、貫馬配當金三十錢（五圓券五倍）
第二在鄕甲乙混合八百米　一着豐原（騎手川原）一分二四秒、配當金一圓七十錢
第三在鄕乙馬一千米　一着櫻（騎手大谷）一分四二秒三、配當金二圓
第四在鄕甲乙混合八百米　一着明司（騎手秋吉）一分二四秒一、配當金五圓六十錢
第五改良馬在鄕甲乙混合一千米　一着興亞（騎手藤井）一分三三秒、配當金一圓二十錢
第六甲在鄕甲乙混合一千米　一着智野（騎手所）一分三八秒三、配當金四圓八十錢
第六乙同上　一着大江（騎手藤井）一分三二秒四、配當金一圓八十錢
第七改良在鄕甲乙混合一千二百米　一着萬福（騎手仕田）一分五〇秒一、配當金一圓二十錢
第八同上八百米　一着千秋（騎手秋吉）一分一三秒、配當金五圓
第九甲同上一千米　一着山吹（騎手秋吉）一分二六秒二、配當金
第九乙改良在鄕甲乙混合一千米　一着平安（騎手所）一分二一秒二、配當金五圓六十錢
第十同上一千二百米　一着長汀（騎手秋吉）一分五四秒一、配當金三圓六十錢
第十一在鄕甲馬一千米　一着勝山（騎手堀）一分三三秒三、配當金二圓七十錢
第十二在鄕甲乙混合一千二百米　一着武男（騎手大谷）一分四四秒三、配當金一圓三十錢
第十三改良馬在鄕甲馬混合一千二百米　一着張龍（騎手秋吉）
第十四在鄕乙馬八百米　一着燕（騎手堀）一分二〇秒一、配當金二圓二十錢

旅順鄕軍射擊

【旅順】在鄕軍人旅順分會秋季射擊會は十七日午前八時から新市街太陽溝第二堡壘麓海軍射擊場に於て分會員一三〇名、訓練生三〇名參加秋空に快音を響かせ大成功裡に擧行正午散會を告げ成績優良者には聯合支部長賞及び旅順支部長賞のメダル、賞狀が普通賞品以外に授與されたが十等迄の入賞者は左の如し

一等（四〇點）中井良太郎
二等（同點）鹽川一之進
三等（三二點）片岡光良
四等（三一點）本間孝吉
五等（同點）白木清一
六等（三〇點）中山治輔
七等（同點）松岡守義
八等（二九點）柳澤簡一
九等（同點）添田澄
十等（同點）中原新

ポン獨特の妙技を發揮しいづれも段外、有段者及び高點試合が行はれ午後五時散會した

旅大聯合武道

工大の主催で

【旅順】旅順工科大學興陽會主催旅大聯合秋季武道大會は

▲大連側　沙河口警察、同道場、大連一中、育成大商、大連警察
▲旅順側　要港部、旅警、武德會支部、旅中、旅利

の十一團體、柔劍道合して二百七十餘名の劍豪猛者が參加、工大道場に於て午前九時から行はれた、劍鞍の響、肉彈相搏つ壯觀はニッらせた

凌源民會議員補缺選擧結果

【凌源】凌源居留民會評議員補缺選擧は屆出期日のわづか一日前たる十三日に至つてはじめてしかも七名の立候補があり、四名の當選を目指して民會の向上淨化を叫び各々猛運動を展開し何人が鹿を射止めるや豫斷されぬ有樣であつたが、十五日午後一時より凌源小學校にて投票、三時半より淺田選擧長を初め各立會人土田署長並に署員立會の上群衆注視の中に開票四時半終了した、結果左の如し

當選　七三票　梶野覺衛
同　六六票　吉野芳藏
同　六三票　德永吉代郎
同　五五票　妹尾愿三
次點　五一票　長坂勉
三五票　今村長四郎
三二票　石川留作

占東邊の部下

【奉天】輯安縣第三區渾江口の鴨渾西江水上警察局出張所においては去る十月六日同地江岸飲食店において匪首占東邊の部下特務員金元奎（三）を逮捕取調べたる處此奴は十月四日占東邊が桓仁縣第三區夾皮溝より寛甸縣第五區大川溝への移動の道連れとして銃器彈藥奪取計畫を樹てたのに基き、輯安縣第三區渾江口水上警察の內情並に朝鮮側警察官の越江情況の內査を命ぜられ逮捕の前日同地に潛入したものであること判明したが

同人の自白によれば匪首占東邊は現在部下百二十餘名を有し之れを六ケ分隊に分ち各分隊に特務員一名乃至二名を配置し、常に各地の狀況を內偵せしめ主として渾江沿岸を轉々して居るとのことである

木材運賃割協會が請願

【安東】過般ハルビンで開催された滿洲木材同業組合聯合大會で創立された日滿木材協會では、日滿木材統制と木材需給の增加をはかるため滿鮮鐵道、特に開港地仕向木材に對する運賃割引方を請願する事となり、臨時總會議長近藤榮司並に滿洲木材同業組合理事長伊藤勘三郎氏より滿鐵總裁、鐵路總局長、朝鮮總督、朝鮮鐵道局長等に宛て請願書を提出した

鳳凰神社秋祭

【鳳凰城】十月十七日は鳳凰神社の秋祭りで氏子一同並に小學校兒童の一隊神前に額き都甲神職修祓執行のもとに午前十時から莊嚴な祭典が行はれた、此日兒童連の擔ぐ神輿は長野先生や父兄等に護られて市中を練り廻りお祭り氣分を漲らせた

家庭

滿洲の紅葉狩

今年はことの外うるはしい
見頃は今度の日曜から月末
名所ところぐ

秋の夕陽に全山紅に燃ゆるさいふ紅葉ぶりは滿洲では見られませんが、しかし深み行く秋に四圍の山々もポツ〳〵黄に紅に美しい秋…

趣が異なり、ゴツゴツした岩の間にポツリポツリと紅や黄や褐色の木や草や蔓草類が點在し、これを四周の風景な併せ澄み渡つた滿洲晴れの空の下に眺める時、はじめて紅葉の美しさがあるのです。で、この滿洲の秋を彩る植物のうちで一番赤くなるのは、ツタ、アメリカツタ、クヅ、ブダウ、アツパノブダウの蔓草類、木では數は少い…

梨は紫味を帶びた紅さで遠くから見るさ黝ろ黒く見えます。黄色くなるものではイヌゴシヨ、テフセンコブニレなご見上る岩山の頂きに繪具で塗つたやうに鮮かですし平地ではシンジユ、ポプラの黄が美しくわけてもポプラの黄葉に秋風のわたるのなご滿洲ならではの景色です。

今年は 夏から初秋にかけて割合に雨が多かつた爲めに、何處の谷間も水蒸氣に富んでなり氣候も南滿地方ではごく順調に徐々に寒氣を加へつつありますので紅葉も例年にない鮮かさを見せてゐます、所によつてはもうボツボツ見頃で、今度の日曜あたりから月末にかけては定めし紅葉狩りに何處も賑ふことでせう。

…寒氣の急激に來る北滿では紅葉さへ見られません。ですから滿洲でも南滿でも一部の地方だけしか紅葉は…ふほどのものはなく、南滿でも空氣中に水蒸氣の多い（水蒸氣の爲に晝と夜の氣溫の差が著るしく緩和されるから）南面の地方に美しい紅葉が見られるのです。わけても見事なのは南方の開けた谷間で南の斜面を持つた場所で、谷には川があるか池があるさいつた所即ち川や池から蒸發する水蒸氣が周圍の山に遮ぎへられて谷間に籠るやうな場所が理想的です。先づ

關東州 内でいへば大和尚山に…する響水寺、勝水寺附近の谷、旅順附近の老鐵山の谷合（營城子から入つて行く）大連近郊の凌水寺など名だたる紅葉の名所で、旅大道路附近にも龍王塘なはじめ名も知られない勝地が到るところにあります。

安奉線 では鳳凰山の紅葉を第一にそれから高麗門附近へかけて、或は連山關、五龍背、橋頭附近もよく安東を中心として鴨綠江沿ひの谷合も繁茂した木々の間、紅葉黄葉さりぐ〳〵に誠に鮮かな秋です。千山の紅葉も名がありますが、カシワやナラの紅葉で褐色のや〻冴えた程度であまり感心しません。しかし何れにしろ

滿洲の 紅葉は内地の鹽原や日光などの紅葉さは全然その…

（寫眞說明）（上）高麗門の城跡（下）金州響水寺の櫓門

奥様の手帳
古ソフトの利用

かぶり古したフエルト…椅子やテーブルの脚の大きさに切つてピン…つけて置いて御覽な…らの家具を動かす際…す、疊や床に傷な付…くて大變重寶です。

羽衣高女バザー …

近視を治すのは
…八歳から十歳まで…

▼…米國外科醫學校のハヴアード・ジヤクソン博士の說によれば今日一族の中で最も多い近視眼は、八歳から十歳の間に注意して必要な治療を施せば確實になくなるさのことですが、博士は

▼…「子供の視力は八歳乃至十歳或る場合は十三歳迄は完全に發達しない。然しこの未完成の時代には最も注意が必要なのである。生れつき近視さいふ人は五百人に一人さはないものである。大抵の近視は子供が小學校へ行く頃から始まるのである。

▼…教師や兩親が注意すべきことは、書物に限らず物は凡て兩眼から相當の距離を置いて見させる習慣をつけることであつて、この手段は近視度の強くなるのを防止する一般的な方法であつて、この時期に近視にならなければ一生涯この病氣から救はれるのである。その代り反對の場合は近視はますく〳〵度が強まり遂には盲目になる惧れがある。

▼…寢床で讀書するのは眼が普通で、健康體の人には光線さ地位さへ正しければ差支へないが、近視が直りかけの場合には絕對に不可ない。」

貴女の體の魅力
肩のない方、胸やお腹の貧弱な方
斯うして取り返せ

◆…**昔から** 「目は口ほどに」さかいふやうに、目や唇の動かし方やメーキヤツプには腐心するのは別に不思議ありませんけれど、きものを召す婦人方には日本のきものに合つた體全體の魅力さいつたものも忘れてはなりません。若しもきものを召す婦人の體が痩せこけてゴツ〳〵して、胸元が貧弱でおなかがペツコリしてゐたら、どうして婦人らしいふくよかな

◆…**優美な** 線が出ませう。婦人の體の魅力は、肩のあたりがフツクリと胸に豐な乳房の隆起があり、帶の下、おはしよりのあたりから健康なおなかのふくらみがあつてこそです。ですからあんまり肩のゴツゴツした方胸元のペコンとした方、おなかが板のやうにペツタリした方はその部分を眞綿でふくらませることです。普通の眞綿では身につけにくくもありませうから、やはらかい紅絹で胴着のやうなものを御自分の身に合はせて作り、この

◆…**胴着に** くぼんださころは特に澤山眞綿を入れてさぢつけ肌襦袢の直ぐ上からお召しになりますさ全體がふつくらさ圓味を帶びて魅力を増し、一方防寒用にもなります。なほ乳房の垂れた婦人方は、この胴着さ共に乳バンドを用ひて胸の形をと〻のへることが大切です。（内田秀子氏談）

お召物
染めに出す時の
心掛けは斯う

…その品物なよく調べること、いくら柄行が時代後れでも、色がやけてゐても、生地さへ丈夫なら問題ありませんが

▼…**第一に** …考へて見なければなりません…

▼…**だから** 何遍も染…

…捨てゝしまはずさも染物屋に頼んで染直してもらへば又再び新しく着られますが、滿洲ではわざわざ京都あたりまで染めに出す場合が多い爲に染賃も餘り安くありません。ですから染に出す場合は、果してそれだけの染賃をかけて染め直す價値があるかどうか、充分…

福助タビ代理店　冬物雜貨　メリヤス・荷物　大連吉野町　山本松商店

海と日本文學（三）　安藤盛

新刊紹介

三五、六年の危機（J）　銀波樓生

青龍から問題作を拾ふ　鋪道を行く　谷口富美枝作

(第三種郵便物認可)

スポーツ

スポーツ化したグライダー (3)

南滿洲工業專門學校 安藤武雄

ードを作り、本邦グライダー界の爲め萬丈の氣を吐きました事は耳新しい事であります。それにしても外國に於ける非常なる進歩には唯驚歎の他はありません。然し今夏の記錄等よりして本邦に於ても早晩ソアラーに依る相當な記錄が作らるゝであらうと云ふ事は信じて疑はないものであります。

つぎに グライダーの飛行場に就て申上げて見ませう。グライダーは飛行機の子供の樣なものでありますから、飛行機の飛び立つ普通の飛行場で之が飛べいな譯はありませんが、家の軒巣で育てられた雀の子は親雀のまれなしで庭に飛び下りると大變です。自力では自分の巣に歸れません。うつかりしてゐると、家の坊やや嬢ちやんの愛犬ポチが來て嚙んでしまひます。そんな事があつては大變と親雀は心配して子雀をくはへて己が巣に飛び去る。と云つた可愛らしい情景はまゝ

私達の 見受けるものでありますが、グライダーも子雀と同じで飛び下ることは出來ても自力で飛び立つ事は出來ません。ですから自ら親飛行機と異つた飛行場を必要とするのであります。本邦に於ける氣流の變化は大陸のそれに比して非常に複雜を極めてゐるため、飛行には相當の熟練飛行士でも可成り困難を感ずるとのことでありますが、滿洲は氣流はさても平穩で飛行には惠まれた地でありますから、飛行機の航空には絶好な地域ですが、グライダーには必ずしも好いとは限りません。

何故ならば適當なる氣流の **變化は** グライダー飛行には是非必要なものであるからであります。即ち上昇氣流を作るが如き丘陵、又は砂丘等がなければならないのであります。つまり風が丘に吹き當つて上向きの氣流が出來るやうな丘を必要とするのであります。圖は風が丘に當つた時にどの位の範圍で風即ち氣流に變化を來すかを示したものであります(つゞく)

圖は三種類のグライダーの滑空角を示すもので、最も好い機と云ふのは最少の降下で最も遠く進む機であります、初歩練習機では十乃至十二呎前進するのに對して一呎降下せねばなりません。然るに最近の輕快なる

滑翔機 では、一呎の降下毎に二十八呎位前進するものがあります。工大に參りましたのは初等練習機でありますから、一に對して十の滑空角に設計せられてゐます。然らばこのソアラーに依つて現在作られてゐるレコードはどんなものかと申しますと、航續十四時間四十七分二十五秒、距離において直線一六〇哩、周周飛行で二三八、〇五哩の驚くべきもの作られてゐます。

日本の それは今夏までは航續時間三十分に致らなかったのでしたが、去る本年九月十一日九州帝大の佐藤博助教授の指導になる九大グライダー研究會の會員志鶴氏が九州の高峰久住山より飛行して一時間二十七分の本邦レコ

日本棋院 大手合戰譜(十八局)

先番 三段 染谷一雄
先相先 二段 黑田幸雄

ラヂオ 十九日

奉天(MTBY)(八九〇KC)

午前の部

滿洲國皇帝陛下御巡幸奉迎特別番組

六・〇〇 (新京より)ラヂオ體操(滿語)
六・二〇 (東京より)ラヂオ體操(日語)
六・四〇 (新京より)滿語講座高宮盛逸
七・〇〇 日語講座近藤喜助
八・〇五 (東京より)經濟市況
一〇・〇〇 料理獻立
一〇・四〇 (東京より)經濟市況
一一・四〇 (東京より)ニュース
一一・五九 時報

午後の部

〇・〇五 經濟市況(日滿語)
〇・三〇 ニュース
一・〇〇 ハーモニカ合奏(一)オリエンタルダンス(二)チャイニース・パトロール(三)軍艦マーチ 奉中ハーモニカバンド、指揮宮内一夫
二・〇〇 皇帝陛下着御御模樣(日滿語)
三・〇〇 (東京より)ニュース
三・三〇 經濟市況(日滿語)
四・〇〇 公示事項ニュース(日滿語)
四・五〇 (新京より)ニュース(英語)
五・〇〇 子供の時間(日滿語)(一)齊唱滿洲國々歌 日滿兒童(二)奉迎のことば 奉天公學校 李小園、彌生小學校小松數男(三)唱歌イ、建國歌(日滿語)ロ、陸軍歌(滿語)ハ、海ホ、好朋友(滿語)奉天公學校高級二年男子十名、奉天千代田小學校六年女子十名
五・三〇 奉迎之辭(滿語)奉

京城(JODK)(九〇〇KC)

午前の部

大連(JQAK)

主婦之友
十一月號いよいよ發賣!!
ステキに
おもしろい
お子様画報つき
（別冊附録）編物と裁縫の
防寒物百種の作方
めつきりお寒くなりました。早く防寒物のお支度を願ひます。一二時間で作れる簡單な物を特に多く發表いたしました。御家族の誰方にもキツト喜んで頂ける物ばかりで、編物も裁縫もあります。
赤ちやん用の防寒物の作方集
お子様用の防寒物の作方集
婦人用の防寒物の作方集
男子用の防寒物の作方集
老人用と室內用小物の作方集
教へ子五人の身代りとなつて慘死した吉岡先生の犧牲愛
近畿地方の大颱風が生んだ涙ぐましい殉職美談。大阪府下豊津小學校女訓導吉岡先生が、幼い五人の教へ子を救つて慘死された尊い犧牲愛には、誰一人として泣かされぬものはありませぬ。遺族を弔問した特派記者の血涙の特別記事を詳しく發表いたしました。
流行新型 冬向の簡單な子供服五種の仕立方
二三歳から七八歳までの可愛らしい男兒服と女兒服の新流行型を誰方にもスグ作れるやうに一流の先生が詳しく發表してくださいましたからどうぞお早く仕立て上げてください。
大本山永平寺參詣記　太田水穗　四賀光子
幸田延子先生にピアノ上達の祕訣を聽く
新婚の月給生活者の家計の內幕
子供の謂ゆる『虫』の手當＝田村博士
近視・乱視・老眼を自分で治す祕法
肩のコリを手輕に治す按摩の仕方
南大將夫妻に『婦人と國防』を聽く（山田わか）
松竹少女歌劇の人氣スターの漫談會
良人に愛人が出來たら妻はどうするか
神經痛とリウマチスを手輕に治す家庭療法
若奥様の愛嬌術のお稽古（指導＝森律子　實演＝伏見信子）
若奥様方におすゝめしたい上品な愛嬌術を誰方もスグおてきになれるやうに美しい寫眞畫報で發表しました
菊作りの名人が苦心を語る會
若奥様とお孃樣の明朗化粧法
お惣菜向の美味しい大根料理
秋のお魚の簡單な和洋料理法
長篇小說 虹の故郷＝山中峯太郎
長篇小說 受難の生母＝子母澤寬
長篇小說 白百合屛風＝竹田敏彦作 林唯一画
繪画小說 東洋の娘＝西條八十詩
小唄画帖 農村花嫁日記＝田中比左良画
長篇小說 一つの貞操　吉屋信子
牧逸馬
ハガキ一本で出來る大懸賞發表＝ラクダの防寒ショール千枚贈呈!!
特別附録つきで
五十錢（送料八錢）
東京神田（振替東京一八〇番）
主婦之友社

けふ奉天御巡狩

忠靈塔と日滿兩衛戍病院へ　畏し・勅使を御差遣

【奉天電話】滿洲國皇帝陛下には愈々今十九日奉天に御巡狩あらせられるので、御歡迎準備全く整つた奉天市民は只管お待ち申し上げてゐるが、陛下には二十日勅使を滿洲國陸軍衛戍病院、忠靈塔、日本衛戍病院に御差遣あらせられ忠靈塔には幣帛玉串を捧げられ、傷病兵に對しては茶菓を賜る由、その御豫定日時左の如し

△二十日　午前九時四十分御泊所御發、同九時四十五分滿洲國陸軍衛戍病院御成、同十時五分同所御發、同十五分忠靈塔御着、同二十五分同所御發、十時半日本衛戍病院御成り、同十一時同所御發、十一時三分奉天驛御着

一般市民の奉迎送注意

【奉天電話】滿洲國皇帝は十九日午後二時二十分御來奉遊ばされるが、一般市民の奉迎送に關する注意事項は次の如し

一、十九日、二十日は國旗掲揚のこと

一、十九日午後二時二十分皇帝御來奉、千代田通を經て城内に向はせらるゝにつき午後一時三十分までに千代田通南側小學校兒童堵列の後側に各町内毎に整列奉迎のこと

一、二十日午前十一時二十分發御召列車で御離奉につき同十時二十分迄に浪速通南側小學生堵列後側に町内毎に整列、奉送の事

なほ十九、二十の兩日奉迎送には特に列立拜謁を賜ること〻なつてゐるが、當日禮裝にて前記時間までに驛前廣場向つて左側受付を經て參列すること

實況放送

【奉天電話】滿洲國皇帝奉天御巡狩の際ヤマトホテル前並びに放送準備を公署内に御用通信所を設け北陵、ヤマトホテルには社員を派して御用電報及びこれに準ずる公報の受付を行ひ又十九日奉天御着、二十日北陵御成りの御模樣を實況放送すると

補助憲兵應援　行幸警備に

【新京十八日發國通】皇帝陛下には十九日愈々初の地方行幸として奉天御巡狩に向はせられるが、之が御警衛の大任に當る新京憲兵隊は新京警備より補助憲兵の應援を得て各警備機關と協力、宮廷出御より新京御出發までの沿道の御警備に萬遺漏無きを期すること〻なつた

陸大戰史旅行團

【遼陽電話】陸軍大學生の戰史旅行團一行は十八日午後零時六分着列車で遼陽着、二十一日まで遼陽附近の戰史を研究する筈であるが一行中には久邇宮殿下も加はつてゐられる

新承德橋竣工　落成式擧行さる

【承德十八日發國通】承德市街と……

吉林御巡狩の御發着御豫定時刻

【吉林十八日發國通】來る廿四日皇帝吉林御巡狩の御豫定左の如し

午前七時五十分宮中發御、同八時新京驛發御、同十一時吉林驛着御、同十一時十分省公署着御、省長軍管區司令官より省狀及軍狀奏上、拜謁賜謁御晝餐、後一時三十二分省公署發御、同一時四十分吉林驛發御、同五時十分松栢山頂上御發、同二時十四分松栢山中腹御着、同二時四十分吉林驛發御、同五時五十五分松栢山中腹御着、同五時五十分宮中御歸還

關東軍司令部新廳舍

きのふ御紋章除幕式を擧行

【新京電話】關東軍司令部新廳舍正面上部に安置される菊花御紋章の除幕式は十八日午前十一時二十分より同司令部玄關前の廣場において擧行、菱刈軍司令官、西尾、岡村正副參謀長以下各幕僚、大使館守屋、谷兩參事官以下館員參集の上いと嚴粛裡に擧行された（寫眞は關東軍司令部の新廳舍＝破風中央の覆ひたかけたるが御紋章）

秋風を切る戰跡リレー

大連、埠頭、旅順高公Ａ組優勝

秋の全滿運動界を飾る關東廳體育研究所主催、第十回旅順戰跡リレー大會は十七日午後零時より旅順運動場において開始した、參する……十六、西北十一米の微風でコンディションは悪いが、國歌合唱裡に國旗の掲揚式を行ひ〻昨年度優勝チームよりそれ〴〵優勝杯の返還式あつて選手の意氣益々揚り午後一時半、第一陣を承はる十六選手は合圖の笛で共に駿足を揃へて一齊にスタートを切つたが、豫想の如く旅順高公Ａ組斷然強く悠々とゴールに入り全チーム到着さると共に午後四時半より各區記錄優秀者二名宛に賞品を、優勝チームに優勝盃をそれ〴〵授與し同五時終了したが、經過左の如し（記錄はリレー仲間）

第一區（運動場十年町派出所）

スタートと共に旅高Ａ組鉾トップを切り快足を利して他の者を引離さんとしたが埠頭の八重樫……

第二區（十年町派出所松樹山）

二區の引續ぎを受けて埠頭の近藤は力走を續けたが及ばず、高公Ａ組の選にまた旅中Ａ組の大津に拔かれ三位に落ちる、後の快走は素晴らしく松樹山に至つ……

流石に老巧味を發揮しあせらずこれに付き表忠塔を下り平地に入つてから苦もなく鉾を追拔き一位となる、三位より旅中Ａ組大連市、鐵道工場、大商、金屬倶同、大一中、高公Ｂ組、遞信倶、旅順市、マラソン倶、旅中Ｂ組、大中ＯＢの順

個人新記錄

きほひの日本刀に何れも優秀者揃ひ

第三次移民、勇躍克音河に向ふ

【清津特電十八日發】拓務省囑託市川中佐の引率する第三回拓務省特別農業移民二百七名は十八日午後一時入港天草丸にて來清、官民多數の歡迎を受け、公會堂にて休憩の後午後四時四十分發京圖線、拉濱線を經由して入植の豫定地たる黑龍江省綏稜克音河に向け出發した、いづれもリュックサックを負ひ日本刀を携へて元氣旺盛、豫定地には二十一日午後着の豫定である、統率者市川歩兵中佐は語る

今回の移民は北海道を除く全國より優秀なるものを選んだ事が前二回の移民と異り、統率上心配してゐたが、いづれもよく親しみ團結統率上の心配は杞憂であつた、入植地克音河には先遣隊五十名が既に入植して宿舍等を準備してゐる

辭めても迷惑は掛けたくない

〃敗軍の將〃寺田署長談

十八日午前八時全署員を講堂に集め進退問題を表明し悲痛な挨拶を述べて署員の自重を促した寺田大連署長は記者團に對し〃敗軍の將〃の心境を左の如く吐露した

吾々の正義の主張は遂に破れ、今は何をか謂はんやです、普通において異り、これを混淆された只中に在つて圓滿な事務を執つてゆくことは到底むつかしく、殊に堂々の主義主張が全く葬られた今日、私の執る道は只一つ殘されてゐるのみである、今日の結果に至らしめたことは後任の部下に對しても相濟まぬし、上司に向つて衷心洵に氣の毒に堪へぬので自分としては自から決するところあり、今となつて何等未練に思ふこともない、然し治安維持の重任にある警察官が勞働者の如く直ちに職を放棄し行政事務を中絶させるが如きことは官吏の本旨にあらず、又民衆に對しても迷惑を掛けることになるから、自分の出處進退に對してはその適時を充分考慮し立派な最後を遂げたいと思つてゐる、出來ることなれば後任者に事務の引繼ぎをして身を引きたい考へだ、けさも署員に對し自分と共に最後を飾つて呉れと言つて置いたが、勢ひの赴くところどうなるか判らない、私は署員が自分より先に總辭職をして呉れぬやう充分鎭撫する考へでゐる、他人の事は判らないが、全滿署長會議の申合せは敗れゝば身を退くことになつてゐるので、全滿各署長もこの際おそらく自分と同一意見であらう

と思ふ、何月何日に辭職するかは明言出來ぬが現職を去る事實は極めて近き將來であらう

現地案強行の閣議決定に對し大連水上署では十八日午前八時より同署講堂において巡査大會を開催し今後の態度決定に關する打合せを行ひ、總辭職の準備として直に各署員の恩給或は功勞調査等を開始したが、大會席上久下沼署長は我々は主義主張を通すために今日まで戰ひを續けて來たが遂に……

匪賊潰滅

東北第一自衛軍

【ハルピン十八日發國通】……省樂州縣を襲つた東北第一自衛軍と稱する匪賊は安達より出動した討伐軍のために叩き潰され、一畫夜下六道溝警察をして對策に當らしめてゐる

大滿洲帝國婦女會

二十一日盛大に發會式

【新京電話】國防の一端をか弱き婦人の肩に擔ひ、以て國家の繁榮をはからんと、非常時局に目覺めた滿洲國女性の手によつて、去る六月より着々として準備中であつた大滿洲帝國婦女會は二十一日午前十時新京ヤマトホテルに於て發會式を擧げること〻なつた、これに先だち會長張夫人は十八日午後在京記者團を……

水害義捐映畫

小銃二〇、毛糸袢五百、地下足袋五百、手袋二百、大洋二萬元

北寧鐵路幹部

滿鐵視察へ

新京支社移轉社告

社業の擴張充實を期するため豫て新築中の我社新京支社々屋は去る十日竣工、今般左の如く移轉致候間此段謹告仕候

十月十八日

滿洲日報社

新京中央通四十四番地

滿洲日報新京支社（電話四九六六番、二九八五番）

滿日印刷所新京出張所（電話三八八七番）

慶應零敗す

對法政戰

東洋體協への加盟手續

大同學院卒業生　各部に配屬さる

特に多い財政部關係

結氷期迫り　松花江船舶歸哈を急ぐ

興城溫泉ホテル

大連より長崎鹿兒島行（毎十日目）＝九州への最短連絡航路＝

千歳丸

日本郵船大連出張所

由比正雪 (61)

悟道軒圓玉 演　武田一路 畫

天勝以上の技術

鐵勢道人の源四郎は膝を乘り出して、

「破天荒の事を行うとは……。それは先生、如何なる次第でございませうか」

正雪は聊か聲をひそめて、

「いよ／＼諸人の信仰鞏固なりと見て、我は此の塵の世に長く居るを好まず、汚れたる地を去りて安養淨土の極樂に赴く、それに就いては火定して相果る。と斯樣申して、場所は道灌山邊が好いと思ふ故同所に於て猛火の中に入るのだが、此時に多くの人を濟度する爲め當所に眞言宗の寺院を開基いたしたい、是を殘して其の身は幾萬の人の罪障を一身に引受けて世を去ると斯く揚言して火に入る、是卽ち火定、さすれば信仰の善男善女は勿論、惡人と雖も道德を無視して暴富を積み良心の苛責を受けて居る輩も、寺院建立費として多くの金子を喜捨いたすは必定、是が數萬兩に上る事と思ふが、何うだ火に入つて死んでは」

「御免蒙ります、いくら金が欲しいと云つて、コンガリ燒かれては堪りません」

「イヤ、決して死ぬのではない、死ぬと見せて生きて居る」

「ヘエー、そんな器用な事が出來ませうか」

「承知とあらば其の秘傳を申し聞ける」

「何うぞ先生お願ひ申します、イエモウ金さへあれば江戸ばかり日は照りません、大阪か京都へ行つて一生贅澤をして暮します」

「然しそれまでに致すには當分身を堅固に持たねばならぬ。萬一不行跡が知れては此の苦肉の策も施す事はならぬ」

「ヘエそれは私も心得て居ります好きな猪も食はず酒も飲まず、暫く死んだ氣になつて居ります」

「然らば火に入つても命に仔細ないと云ふ秘術を授けて遣る、明日千住掃部宿の別莊へ來れ」

「ヘエ、是非お訪れ致します」

約束通り鐵勢道人は翌日正雪の寮に出て來ました。此所は掃部宿より五六丁入つたところ庭は五百坪もある、荒川から引いた瀬入りの泉水、向ふに大いなる築山がある、家は至つて瀟洒なる構造、

「オヽ鐵勢參つたか、自分が火に入つて而して生命に別條ないと云ふその秘傳を見せて遣はす、宜く見て居れ」

正雪は座を立つて泉水に架かつて居る橋を渡り築山の下に參ると穴が掘つてありまして其の上に一つの樒が置いてあつた、是は四角に出來て居る、正面が觀音開きになつてそれに海老錠が懸つてゐる

やがて正雪がそれへ來て自ら其の錠前を開き靜々と入ると、門人がその錠前を堅く鎖してしまつた

スルト小侍が七八人參つて焚木を運び、樒の見えぬ程積み上げると、四方から火を放ち、大きな團扇で煽いだから忽ち猛火は炎々と燃え上つた。それを見た鐵勢は愕然として、

「是は大變だ何うなるだらう」と呆れて居る。暫く經つて焚木が燃え切ると、其四角な樒も灰になつたか影も形も見えない、鐵勢はいよ／＼驚き、先生は何うしたかと心配して居る背後から、

「鐵勢見たか」

トンと肩を突かれて振向くとそれに立つて居るのは正雪。流石の鐵勢も眼を圓くして、

「これは先生、一體何うした譯…不思議でございますれ」

「同道いたせ、その仕掛けを見せてつかはす」

鐵勢を伴れて築山の下に來た、樒を置いてあつた下は一面の洞窟それに細い竹の簀の子が敷いてあつて、それが破れて居る。

正雪は笑みを含んで、

「何うだ鐵勢、此の樒に入つてな火がかゝると同時に樒の底を揚げ簀の子を破つて下に落ちる。スルト此の穴には横に一條の拔け道がある、それを傳はつて參れば此の家の後に出られる、それゆゑ一命には何の障りもない」